



# 岐阜市版ブルーデータブック 2023



■表紙写真

●種名	(撮影者名)
①セイタカアワダチソウ	(近藤慎一)
②シベリアイタチ	(梶浦敬一)
③ガビチョウ	(大塚之稔)
④ミシシippアカミミガメ	(楠田哲士)
⑤ウシガエル	(鈴木 彰)
⑥カダヤシ	(向井貴彦)
⑦モンシロチョウ	(室伏幸一)
⑧チャコウラナメクジ	(川瀬基弘)
⑨アメリカザリガニ	(寺町 茂)
⑩オオキンケイギク	(岐阜市)
⑪アライグマ	(梶浦敬一)
⑫ソウシチョウ	(大塚之稔)
⑬ワニガメ	(楠田哲士)
⑭ヒメジョオン	(近藤慎一)
⑮ブルーギル	(向井貴彦)
⑯ヨツモンカメノコハムシ	(酒井孝明)
⑰ヒメコハク	(川瀬基弘)
⑱カワリヌマエビ属	(寺町 茂)

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱

## 3.1 総論

### (1) ブルーリスト見直しの背景と目的

地域の生物相は、本来その地域の環境に適応した種によって構成されています。

そして、これらの中には、古くから元々生育・生息していた種（いわゆる「在来種」）と、人為の影響により、何らかの方法でその地域外から侵入した種（いわゆる「外来種」）がいます。

このうち、外来種には古い時代にその地域に侵入し、在来種と同じようにその地域に溶け込んでいる種と、近代になって侵入してきた新たな種があります。また、その中には、在来種の生育・生息を脅かし、地域の生態系にも大きな影響を与えかねない種が含まれています。

このような背景から、我が国では、2004年に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」が制定され、特定外来生物として指定された種の「飼育、栽培、保管、運搬」、「輸入」、「放つ、植える、蒔く」などの行為が原則禁止されています。

また、2015年には環境省と農林水産省によって、地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのある外来種を「侵略的外来種」として整理した「生態系被害防止外来種リスト」が作成されました。

岐阜市では、すでにオオキンケイギク、ヌートリア、アライグマ、ミシシippアカミミガメ、アメリカザリガニなど、多くの特定外来生物や侵略的外来種が広範囲に生育・生息していますが、それ以外にも、多くの外来種の侵入が考えられます。このような外来生物が市民生活、産業、市域の生物多様性などへ及ぼす影響や程度を把握するための基礎資料として、市域に生育・生息する外来生物について整理し、2015年に岐阜市版ブルーリスト（2015）を作成しました。その後、野生生物の生育・生息状況は著しく変化しており、また、野生生物についての新たな知見も得られたことから内容の見直しが必要となり2019～2021年度まで、岐阜市内の外来生物を中心に調査を行いました。

そして、これらに基づいて、2022年度に岐阜市版ブルーリストに掲載すべき各分類群の野生生物について、市内への侵入状況でランク付けしたリスト（ブルーリスト）の見直しとともに、従前のブルーリストの改訂を進め、今回、改訂版の岐阜市版ブルーデータブックとしてとりまとめました。

## (2) ブルーリスト見直しの体制

岐阜市版ブルーデータブックの改訂にあたり、岐阜市に生育・生息する野生動植物について、専門家で構成する「専門調査部会」を設置し、ブルーリスト候補種の選定を行いました。

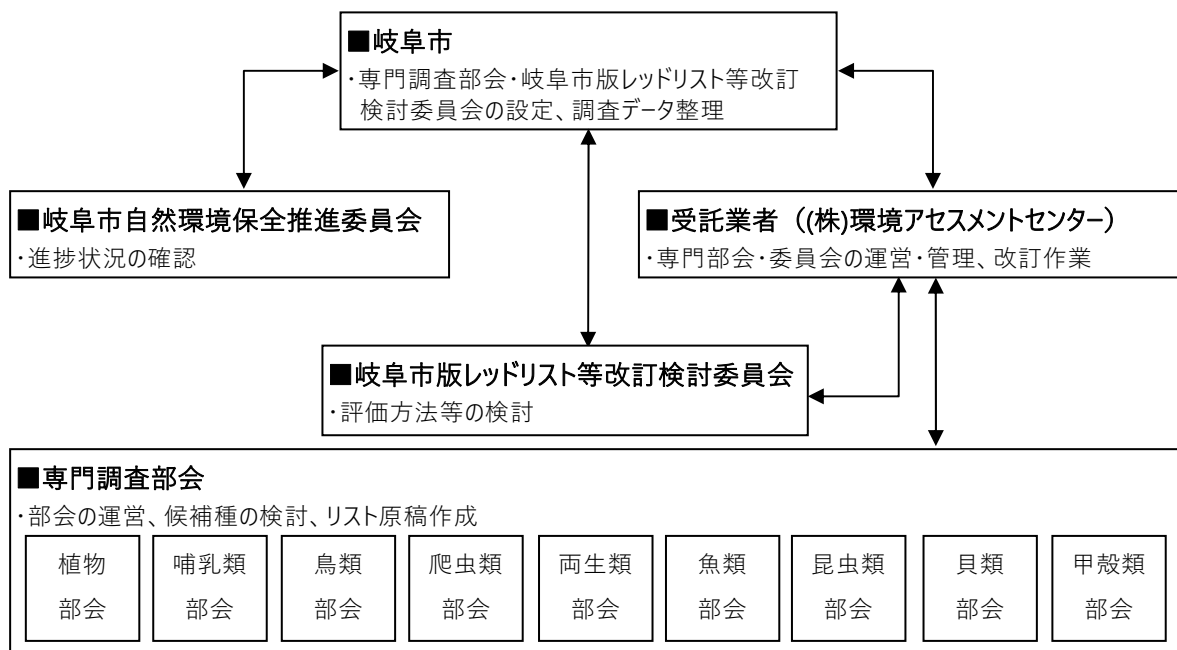
さらに6名からなる岐阜市版レッドリスト等改訂検討委員会（以下、改訂検討委員会）が評価方法等について検討しました。

また、改訂検討委員会の進捗状況は、岐阜市自然環境保全推進委員会へ報告し、承認を得ながら作業を進めました。

専門調査部会・岐阜市版レッドリスト等改訂検討委員会

分野等	委員名	所属
植物	近藤慎一	岐阜県植物研究会 会員
哺乳類	梶浦敬一	ぎふ哺乳動物研究会 会員
鳥類	◎ 大塚之稔	日本野鳥の会 岐阜 顧問
爬虫類	● 楠田哲士	岐阜大学応用生物科学部 准教授
両生類	高木雅紀	岐阜県立大垣北高等学校 教諭
魚類	兼 寺町 茂	水圏域研究会、岐阜県自然共生工法研究会 理事
昆虫類	● 野平照雄	岐阜県昆虫分布研究会 会員、一般財団法人 自然学総合研究所
貝類	● 川瀬基弘	愛知みずほ大学 人間科学部 准教授
甲殻類	兼 寺町 茂	水圏域研究会、岐阜県自然共生工法研究会 理事
自然環境全般	○ 田中俊弘	岐阜県生物多様性研究会
自然環境全般	● 野村典博	特定非営利活動法人 森と水辺の技術研究会

注) ◎・○・●：検討委員会（◎：検討委員長 ○：検討副委員長 ●検討委員）、兼：他分類群との兼務



岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 改訂体制

### (3) 改訂の経緯

岐阜市では、これまで2度に亘って自然環境に関する調査を実施し、それぞれ冊子として取りまとめ、その調査結果などを基に、岐阜市版ブルーリスト2015（以下、前回リスト2015）を作成しました。

今回、さらに現地調査と資料・文献収集を実施し、その結果を反映し、岐阜市版ブルーデータブックを改訂しました。

■1996～1999 年度	・岐阜市自然環境実態調査の実施 『自然環境と保全 ー岐阜市自然環境実態調査報告ー』発刊
■2009～2013 年度	・岐阜市自然環境基礎調査の実施 ・国、県、大学、関係機関等に働きかけて生物情報資料・文献を収集 『岐阜市の自然情報 ～岐阜市自然環境基礎調査～』発刊
■2014 年度	・第1～3回検討委員会の実施 『岐阜市の注目すべき生きものたち 岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015』発刊
■2018～2021 年度	・岐阜市の自然情報調査の実施 ・国、県、大学、関係機関等に働きかけて生物情報資料・文献を収集



■2022 年度	・第1～3回改訂検討委員会の実施 『岐阜市の注目すべき生きものたち 岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック 2023』発刊
----------	--

## (4) 選定対象の分類群

評価対象は、岐阜市内に記録がある、または今回の調査で確認された外来種（国外・国内）としました。

また、ブルーリスト選定対象分類群は、リスト2015での調査対象分類群である「植物(維管束植物)」 「哺乳類」「鳥類」「爬虫類」「両生類」「魚類」「昆虫類」「貝類（軟体動物）」 「甲殻類(十脚類)」の9分類群としました。

岐阜市版ブルーリスト 選定対象の分類群

分類群	対象
植物(維管束植物)	植栽・栽培以外の維管束植物の種、亜種及び変種を対象とした。
哺乳類	ペットの逸出事例以外の全種を対象とした。
鳥類	一時的な逸出と判断されるもの以外の全種を対象とした。
爬虫類	全種を対象とした。
両生類	全種を対象とした。
魚類	全種を対象とした。ただし、水産資源上の管理等が優先して在来・外来の判断が困難な種については、評価対象から除外した。
昆虫類	バッタ目、カメムシ目、チョウ目、ハエ目、コウチュウ目及びハチ目を対象とした。
貝類（軟体動物）	陸域・淡水域に生息するものを対象とした。
甲殻類（十脚類）	全種を対象とした。

## (5) ブルーリスト掲載種の選定要件

これまでに岐阜市では、上記の 9 分類群で、計5,809種の生育・生息記録があります。

今回のブルーリスト掲載種の選定にあたり、岐阜市内に生育・生息記録のあるこれら種のうち、次に示す選定理由による種をブルーリスト掲載種として選定しました。

岐阜市版ブルーリスト 掲載種の選定基準

選定基準
本来市内に自然分布していなかったが、人為的影響で侵入した生物。

## (6) カテゴリー定義

岐阜市版ブルーリストでは、岐阜市内への侵入状況より対象種をカテゴリー区分しました。

カテゴリー定義については、前回リスト2015を踏襲し、次のとおり整理しました。なお、前回リスト2015からカテゴリー変更があった種については、変更コードを記録しました。

表 岐阜市版ブルーリスト カテゴリー定義

カテゴリー	内 容
侵入ランクA	市内に広範囲に分布・定着しているもの。
侵入ランクB	市内への分布は局所的であるもの。
侵入ランクC	市内への侵入は初期段階もしくは未定着のもの。

表 岐阜市版ブルーリスト 変更コード

No.	ランクアップ・新規
1	広域での分布拡大・定着を確認
2	局所的に確認
No.	ランクダウン・削除
3	分布域が縮小
4	自然消滅もしくは駆除による完全排除

## (7) ブルーリスト見直しの結果総括

### ■ 岐阜市版ブルーリスト掲載種数

これまで岐阜市では5,809種の動植物の生育・生息が記録されており、今回のブルーリストでは、そのうちの276種（4.8％）を選定しました。

岐阜市内で生育記録がある種のうち、植物については1,772種のうち166種（9.4％）、動物については4,037種のうち、109種（2.7％）を選定しました。分類群ごとでは、哺乳類：8種（22.9％）、鳥類：4種（1.6％）、爬虫類：9種（40.9％）、両生類：1種（6.3％）、魚類：19種（25.7％）、昆虫類：44種（1.3％）、貝類：23種（20.4％）、甲殻類：2種（22.2％）という内訳です。

ブルーリスト2015と比較して、植物の掲載種数は減少していますが、これは前回リストでランクCに選定された種が定着せずに自然消滅したことが要因と考えられます。爬虫類、魚類の掲載種数は増加していますが、ペットなど飼育個体が野外で確認されたことによります。貝類の掲載種数の増加は、新しい知見により外来であることが明らかになった種があるためです。

カテゴリー別 ブルーリスト掲載種数一覧

カテゴリー	植物	動物								合計
		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	貝類	甲殻類	
侵入ランクA	38 (14)	7 (4)	2 (2)	2 (1)	1 (1)	8 (8)	7 (6)	10 (10)	2 (1)	77 (47)
侵入ランクB	51 (56)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (4)	15 (15)	7 (5)	0 (0)	79 (81)
侵入ランクC	77 (130)	0 (0)	2 (1)	6 (1)	0 (0)	7 (3)	22 (19)	6 (3)	0 (0)	120 (157)
合計	166 (200)	8 (5)	4 (3)	9 (2)	1 (1)	19 (15)	44 (40)	23 (18)	2 (1)	276 (285)

岐阜市内での生息・生育記録種数	1,772 (1,541)	35 (35)	254 (238)	22 (16)	16 (16)	74 (67)	3,514 (3,358)	113 (101)	9 (8)	5,809 (5,381)
ブルーリスト掲載種の割合（％）	9.4 (13.0)	22.9 (14.3)	1.6 (1.3)	40.9 (12.5)	6.3 (6.3)	25.7 (22.4)	1.3 (1.2)	20.4 (17.8)	22.2 (12.5)	4.8 (5.3)

新規	12	3	1	7	0	4	7	5	1	40
変更	47	0	0	1	0	0	0	0	0	48
削除	46	0	0	0	0	0	3	0	0	49

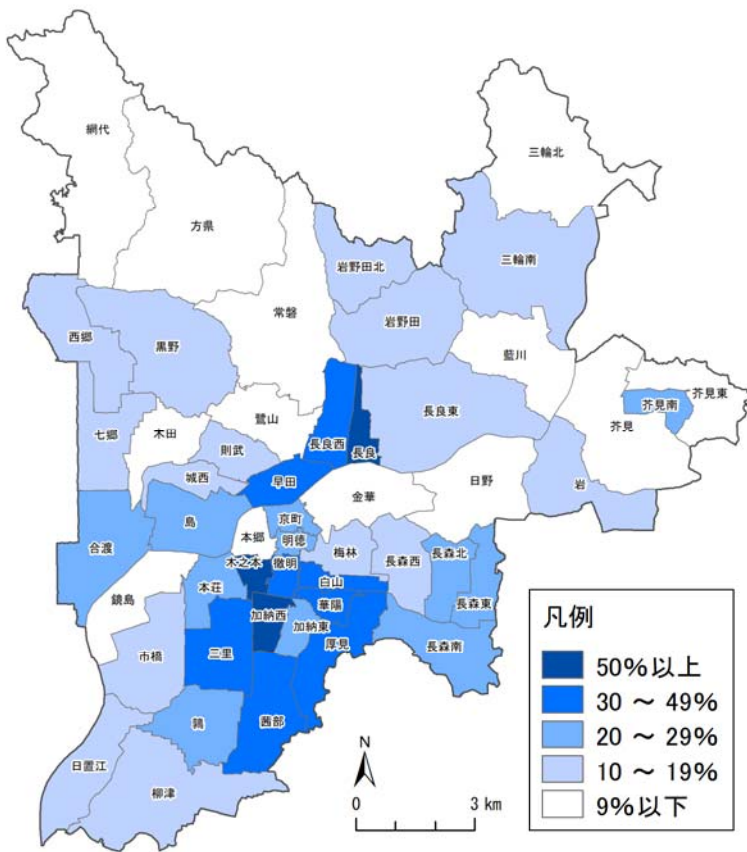
（ ）は前回リスト2015の種数を示す



## ■地区別の記録種数等

岐阜市では、自治会連合会を基準に、市域を50の地区に区分しています。この地区ごとに全記録種に対するブルーリスト掲載種の記録割合の分布状況を見ると、岐阜市の市街地に近づくにしたがい、全記録種に対するブルーリスト掲載種の占める割合が増加していることがわかります。

木之本、加納西、長良の3地区では、ブルーリスト掲載種の割合が50%を超えています。また、その周辺の三里、白山、徹明、華陽、早田、長良西、厚見、茜部の8地区ではブルーリスト掲載種の割合が30%以上となっています。



この図は、これまでの調査データに基づき、ブルーリスト掲載種について、詳細な確認地点がわかるデータから作成しました。なお、分類群によっては対象種を絞って調査を行っているため、全てのブルーリスト掲載種の正確な分布を示すものではありません。

## 地区別ブルーリスト掲載種記録種数・割合

地区名	侵入ランク A	侵入ランク B	侵入ランク C	合計	ブルー種割合
木之本	3	0	0	3	100%
加納西	21	7	8	36	75%
長良	32	18	18	68	54%
三里	34	7	6	47	47%
白山	33	16	8	57	40%
徹明	19	10	5	34	38%
華陽	34	22	9	65	36%
早田	35	13	8	56	34%
長良西	32	9	8	49	32%
厚見	52	30	17	99	31%
茜部	53	28	15	96	31%
明德	5	1	3	9	28%
加納東	41	21	16	78	28%
芥見南	4	1	0	5	26%
島	61	39	43	143	26%
長森南	54	31	21	106	25%
鶉	43	13	6	62	25%
本荘	17	0	4	21	24%
長森東	31	5	5	41	23%
合渡	62	45	59	166	23%
京町	7	1	8	16	22%
長森北	21	2	3	26	21%
七郷	27	7	6	40	19%
長森西	41	13	8	62	17%
城西	55	36	31	122	16%
西郷	30	7	4	41	16%
柳津	62	33	20	115	15%
黒野	39	11	7	57	15%
市橋	43	15	15	73	14%
岩野田	34	6	6	46	13%
日置江	62	45	44	151	12%
則武	19	4	5	28	12%
三輪南	36	15	13	64	11%
岩野田北	29	9	4	42	10%
梅林	21	5	5	31	10%
岩	50	22	18	90	10%
長良東	65	50	74	189	10%
金華	60	46	68	174	9%
鏡島	50	20	10	80	9%
藍川	50	19	20	89	9%
三輪北	58	40	23	121	7%
常磐	46	12	15	73	7%
木田	27	4	6	37	7%
日野	63	48	45	156	7%
方県	49	16	20	85	7%
網代	42	18	15	75	7%
芥見	26	11	10	47	6%
鷺山	36	9	8	53	6%
本郷	28	7	8	43	6%
芥見東	33	13	7	53	4%

## ブルーリスト掲載種記録割合の分布状況

## (8) 岐阜市版ブルーリスト

### ■植物 166種

カテゴリー	種 名		
侵入ランク A 38種	オオカナダモ ヒメコバンソウ シマスズメノヒエ セイパンモロコシ シロツメクサ オオニシキソウ ヒレタゴボウ ニワウルシ オランダミミナグサ マツバウンラン アレチハナガサ オオキンケイギク セイタカアワダチソウ	コカナダモ シナダレスズメガヤ キシウスズメノヒエ ツルマンネングサ オッタチカタバミ アメリカフウロ マツヨイグサ マメグンバイナズナ マルバルコウ タチイヌノフグリ アメリカセンダングサ ヒメジョオン セイヨウタンポポ	メリケンカルカヤ ネズミムギ タチスズメノヒエ アレチヌスビトハギ コニシキソウ ホソバヒメミソハギ コマツヨイグサ アレチギシギシ マメアサガオ オオイヌノフグリ コセンダングサ ヒメムカシヨモギ
侵入ランク B 51種	タカサゴユリ ノハカタカラクサ コバンソウ コスズメガヤ モウソウチク メキシコマンネングサ ナヨクサフジ ナンキンハゼ ナガバギシギシ コハコベ ヨウシュヤマゴボウ ヘラオオバコ ヤナギハナガサ ベニバナポロギク ハルジオン チチコグサモドキ キダチコンギク	キシヨウブ メリケンガヤツリ イヌムギ ホソムギ オニウシノケガサ イタチハギ アレチウリ ユウゲショウ イヌコムチナデシコ ホナガイヌビユ ツルニチチソウ アメリカアゼナ キキョウソウ アメリカカタカサブロウ オオアレチノギク ブタナ ヒロハホウキギク	ニワゼキショウ コヌカグサ カモガヤ ドクムギ ナギナタガヤ コマツブツメクサ ハナカタバミ オランダガラシ コムチナデシコ アリタソウ アメリカイヌホオズキ ヒメオドリコソウ オオブタクサ ダンドポロギク ウラジロチチコグサ オニノゲシ オオオナモミ
侵入ランク C 77種	ヒメヒオウギズイセン ホテイアオイ ノハラスズメノテッポウ* オオクサキビ オオスズメノカタビラ* ハリエンジュ トキワサンザシ ムラサキカタバミ アレチマツヨイグサ フウセンカズラ セイヨウアブラナ エゾノギシギシ ホソアオゲイトウ アカザ クルマバザクロソウ アサガオ ヒロハフウリンホオズキ ワルナスビ オオカワヂシャ キササゲ ブタクサ ヤグルマギク コゴメギク ククイモ オオアワダチソウ ノヂシャ	ラッキョウ コゴメイ* ハルガヤ* ツルズズメノカタビラ* ナガミヒナゲシ クスダマツメクサ ナンパンカラムシ ハイニシキソウ マツヨイグサ ムクゲ ジャクチリソバ ムシトリナデシコ ノゲイトウ コアカザ オオフタバムグラ マルバアサガオ センナリホオズキ トウネズミモチ コショウハッカ ダキバアレチハナガサ コバノセンダングサ* アレチノギク ハキダメギク フランスギク ホウキギク マツバゼリ	タマスダレ ハナヌカススキ* オオニワホコリ ナガハグサ オオフサモ ムラサキツメクサ イモカタバミ ミナトマツヨイグサ トウカエデ カラシナ ヒメスイバ マンテマ* ケイトウ オンロイバナ アメリカネナシカズラ ホシアサガオ テリミノイヌホオズキ ツボミオオバコ ヒサウチソウ* ヒナキキョウソウ* コスモス ケナシヒメムカシヨモギ* ウスベニチチコグサ* ノポロギク アカミタンポポ

\* : 前リスト2015から新規に追加した種

■哺乳類 8種

カテゴリー	種 名		
侵入ランク A 7種	ハツカネズミ* ヌートリア シベリアイタチ	クマネズミ* ハクビシン	ドブネズミ* アライグマ
侵入ランク B 1種	クリハラリス		
侵入ランク C	該当なし		

■鳥類 4種

カテゴリー	種 名	
侵入ランク A 2種	コジユケイ	カワラバト (ドバト)
侵入ランク B	該当なし	
侵入ランク C 2種	ガビチョウ*	ソウシチョウ

■爬虫類 9種

カテゴリー	種 名		
侵入ランク A 2種	ミシシッピアカミミガメ	ニホンヤモリ*	
侵入ランク B 1種	カミツキガメ		
侵入ランク C 6種	ワニガメ* ヨツユビリクガメ*	カブトニオイガメ* ギリシャリクガメ*	ケヅメリクガメ* レッドテグー*

■両生類 1種

カテゴリー	種 名	
侵入ランク A 1種	ウシガエル	
侵入ランク B	該当なし	
侵入ランク C	該当なし	

■魚類 19種

カテゴリー	種 名		
侵入ランク A 8種	ゲンゴロウブナ ギギ オオクチバス	カネヒラ カダヤシ カムルチー	タイリクバラタナゴ ブルーギル
侵入ランク B 4種	ツチフキ シマヒレヨシノボリ	ハス	カラドジョウ
侵入ランク C 7種	アリゲーターガー* レッドテールキャットフィッシュ グッピー	ショートノーズガー* マダラロリカリア	ナイルアロワナ* ニジマス*

■昆虫類 44種

カテゴリー	種 名		
侵入ランク A 7種	アオマツムシ アルファルファタコゾウムシ アメリカシロヒトリ	セイヨウミツバチ ヒトスジシマカ*	イネミズゾウムシ モンシロチョウ*
侵入ランク B 15種	アメリカジガバチ シロオビカッコウムシ ガイマイゴミシダマシ ツシマムナクボカミキリ オオタコゾウムシ	カドマルカツオブシムシ アカアシホシカムシ ヒメゴミムシダマシ ブタクサハムシ シバツトガ	コクヌスト ベダリアテントウ コクヌストモドキ ワタミヒゲナガゾウムシ ホソオチョウ
侵入ランク C 22種	トガリアメトンボ* ムギクビレアブラムシ* コルリアトクリゴミムシ クリイロデオキスイ フタトゲホソヒラタムシ コメノゴミムシダマシ アメリカミズアブ オオタバコガ	アワダチソウグンバイ セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ* ヒメマダラカツオブシムシ サビカクムネチビヒラタムシ ミスジキイロテントウ ヨツモンカメノコハムシ* ヒロヘリアオイラガ	ヨコヅナサシガメ タイワンタケクマバチ* トビイロデオネスイ ウスバキスイ ヒメコクヌストモドキ ヤサイゾウムシ タケノホソクロバ

\* : 前回リスト2015から新規に追加した種

■貝類（軟体動物） 23種

カテゴリー	種 名		
侵入ランク A 10種	タイワンシジミ ハブタエモノアラガイ チャコウラナメクジ オナジマイマイ	スクミリンゴガイ サカマキガイ コハクガイ	ウスイロオカチグサ トクサオカチヨウジ ヒメコハク
侵入ランク B 7種	コモチカワツボ ノハラノイシノシタ コハクオナジマイマイ	メリケンコザラ* ミジンマイマイ	ヒロマキミズマイマイ* ノハラナメクジ
侵入ランク C 6種	タイリクシジミ* タテヒダカワニナ	ホソマキカワニナ* カゴメカワニナ	サザナミカワニナ ヒメマルマメタニシ*

■甲殻類（十脚類） 2種

カテゴリー	種 名	
侵入ランク A 2種	アメリカザリガニ	カワリヌマエビ属*
侵入ランク B	該当なし	
侵入ランク C	該当なし	

\*：前回リスト2015から新規に追加した種

## (9) 前回リストから削除した種

専門調査部会による検討の結果、次に示す種を削除対象としました。

### 岐阜市版ブルーリスト2015から削除した種

分類群	前回 カテゴリー	種名	変更 コード	削除理由
植物 46種	侵入ランクC	コンテリクマゴケ	4	自然消滅
		ホウライシダ		
		フサジュンサイ		
		ナガバオモダカ		
		ナツズイセン		
		スイセン		
		ムラサキツユクサ		
		ヒメヌカボ		
		ネズミホソムギ		
		オニゲシ		
		ホソバヒイラギナンテン		
		オカタイトゴメ		
		ウマゴヤシ		
		エビスグサ		
		カンヒザクラ		
		ナツメ		
		アレチニシキソウ		
		サンシキスミレ		
		オオマツヨイグサ		
		ヒルザキツキミソウ		
		イチビ		
		ウサギアオイ		
		ヤノネボンテンカ		
		グンバイナズナ		
		ツルドクダミ		
		ヒメツルソバ		
		ハイミチヤナギ		
		サクラマンテマ		
		ケアリタソウ		
		ハゼラン		
		ヒメマツバボタン		
		シバザクラ		
		キウイフルーツ		
		キョウチクトウ		
		セイヨウヒルガオ		
		チョウセンアサガオ		
		ウキアゼナ		
		ヒメアメリカアゼナ		
		ニガハッカ		
		ヨウシュハッカ		
		オランダハッカ		
		マルバクマツツラ		
		ホソバノセンダングサ		
		オオバナノセンダングサ		
		イヌカミツレ		
		ウチワゼニクサ		
昆虫類  3種	侵入ランクA	シロテンハナムグリ	その他	在来種であるため（外来種に該当するのは台湾亜種のサカイシロテンハナムグリ：台湾原産で、国内では与論島以南に分布） 岐阜市内での確実な生息記録がないため
	侵入ランクC	カドゴボホソヒラタムシ ノシメマダラメイガ		

## 3.2 各論

### (1) 植物

岐阜市内で生育記録があるシダ植物以上の維管束植物は1,772種であり、今回は、そのうちの166種（9.4%）を選定しました。

カテゴリー別にみると、侵入ランク A はオオカナダモ、アレチギシギシ、オオキンケイギクなど38種、侵入ランク B はキショウブ、アレチウリ、オランダガラシなど51種、侵入ランク C はホテイアオイ、オオフサモ、オオカワヂシャなど77種でした。

岐阜市版ブルーリスト2023に新たに掲載された種は、コゴメイ、ハルガヤ、マンテマなど12種であり、これらは2015年以降の調査で新たに侵入が確認された種です。一方、岐阜市版ブルーリスト2015で掲載されていたホウライシダ、ネズミホソムギ、ウチワゼニクサなど46種は、自然消滅などによりブルーリストから除外しました。

ブルーリスト掲載種のうち、外来生物法（環境省,2005）にて指定される特定外来生物は、オオキンケイギク、アレチウリ、オオフサモ、オオカワヂシャの4種であり、特にオオキンケイギクは市内に広く定着しています。

和名及び学名、各カテゴリー内での配列は、「BG Plants植物和名-学名インデックス YList」（米倉・梶田，2011）に準拠しました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（植物）

カテゴリー区分	種名	種数
侵入ランク A	オオカナダモ、シナダレスズメガヤ、シロツメクサ、オオニシキソウ、メマツヨイグサ、アレチギシギシ、オランダミミナグサ、アレチハナガサ、オオイヌノフグリ、コセンダングサ、オオキンケイギク、セイトカアワダチソウ、セイヨウタンポポ など	38種
侵入ランク B	タカサゴユリ、キショウブ、カモガヤ、ホソムギ、オニウシノケグサ、イタチハギ、アレチウリ、オランダガラシ、ナガバギシギシ、ヨウシュヤマゴボウ、ヘラオオバコ、オオブタクサ、オオアレチノギク、オオオナモミ など	51種
侵入ランク C	ヒメヒオウギズイセン、ホテイアオイ、ハルガヤ、ナガハグサ、オオフサモ、ハリエンジュ、イモカタバミ、アレチマツヨイグサ、カラシナ、ヒメスイバ、オシロイバナ、アサガオ、ワルナスビ、オオカワヂシャ、クイモ、フランスギク など	77種
合計		166種

## オオカナダモ

トチカガミ科

*Egeria densa*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 湖沼、ため池、河川、水路などに生育する常緑多年生の沈水植物。全長は時に1mを超え、上部は盛んに分枝する。葉は3~5輪生となり、長さ1.5~4cm、幅2~4.5mm、辺縁には細かい鋸歯がある。花期は5~10月。日本には雄株だけが帰化している。花(雄花)は白色で、水面上に出て開花する。

<市内分布> 茜部、加納東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三輪南、三輪北、七郷、城西、常磐、西郷、早田、則武、長森西、長森南、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、木田、柳津、藍川、鶉で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクA  
総合対策外来種（重点）



撮影：近藤慎一

## コカナダモ

トチカガミ科

*Elodea nuttallii*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 湖沼、ため池、河川、水路などに生育する常緑多年生の沈水植物。全長は時に1mを超え、上部は盛んに分枝する。葉は3輪生となり、長さ5~15mm、幅1~2.5mm、辺縁には細かい鋸歯がある。ねじれたり反り返ったりすることも多い。花期は5~9月。日本には雄株だけが帰化している。花(雄花)は、白色でつぼみの時に花茎を伸ばし、水面で開花する。

<市内分布> 茜部、芥見、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、厚見、合渡、黒野、鷺山、三輪南、三輪北、七郷、城西、常磐、西郷、長森東、長森南、島、日置江、日野、方県、網代、木田、柳津、藍川で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクA  
総合対策外来種（重点）



撮影：加藤範夫(市外撮影)

## メリケンカルカヤ

イネ科

*Andropogon virginicus*

<原産地等> 北~中央アメリカ(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> 道端や草地に生育する多年草。稈は多数が束になって直立し、高さ50~80cm。結実する頃には葉とともに赤褐色となる。葉は長さ10~30cm、幅2~5mm。中央脈に沿って2つ折りとなり多くは稈に沿って直立する。花期は10~11月。苞葉に包まれた数本の総には白い長毛があり、これに無柄の両性小穂と無性小穂が対となってつく。

<市内分布> 華陽、芥見東、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、鷺山、三輪南、三輪北、城西、常磐、長森南、長良東、島、日置江、日野、梅林、方県、網代、柳津、藍川で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（その他）



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ヒメコバンソウ

イネ科

*Briza minor*

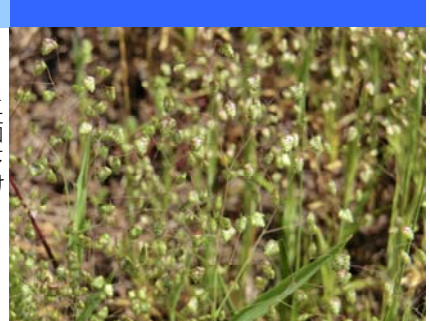
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> 明るい草地や荒地に生育する一年草。稈は高さ10~60cmで単生または束生し、基部からほぼ直立する。葉身は長さ3~12cm、幅1~6mm、縁と上面はざらつく。葉舌は白色の膜質で、高さ3~7mm。円錐花序は長さ4~20cm、花序枝は各節に2本ずつつき、2~3回分枝し、それぞれの先に下向きに1つずつ小穂をつける。小穂は卵状三角形、長さ3~5mm。4~8小花がある。

<市内分布> 加納西、加納東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、常盤、長森南、長良東、島、日置江、日野、網代、柳津、藍川で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## シナダレスズメガヤ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（重点）

*Eragrostis curvula*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> 道端や河川敷などに大群落を形成する多年草。大株になり、高さ60～120cm。葉は長さ40～60cm、幅1.5～2mmで内側に巻く。花期は8～10月。円錐花序は長さ20～40cm、開出あるいは斜上する2～5本の枝を半輪生状につけ、その上方1/3～1/2に小穂をつける。小穂は鉛色で披針形、長さ6～12mm、7～11小花からなる。英名：ウイピング・ラブグラス。

<市内分布> 華陽、岩、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、市橋、早田、長森西、長森東、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、方県、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：佐藤克則

## ネズミムギ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Lolium multiflorum*

<原産地等> ユーラシア(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> 日あたりの良いやや乾燥した場所に生育する一年草～二年草。稈は束生し高さ30～100cm。葉は長さ6～25cm、幅3～10mm、基部の両側には三日月形の葉耳が発達する。花期は5～7月。花序は穂状で、長さ10～30cm。無柄の小穂が中軸の両側に2列に交互に並ぶ。護穎には5～12mmの細い芒がある。国内では牧草や法面緑化に利用されている。英名：イタリアン・ライグラス。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、岩、岩野田、鏡島、金華、厚見、合渡、市橋、城西、黒野、三輪北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、長森南、長良、長良西、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、網代、柳津、藍川で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## シマスズメノヒエ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（その他）

*Paspalum dilatatum*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> 道端や土手に生育する多年草。茎は叢生し、高さ50～150cm。葉身は長さ10～30cm、幅5～12cm、両面共に無毛。基部の葉鞘には開出毛がある。葉舌は高さ2～4mm。花期は7～10月。花序は3～7本の総を開出またはやや下垂してつける。総は長さ5～10cm、総の基部には白色長毛があり、軸の片側に2～3列の小穂が並ぶ。開花時には黒色の柱頭と葯が目立つ。

<市内分布> 茜部、芥見東、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、長森西、長森東、長森南、長森北、長良、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、柳津、鶉で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## キシウスズメノヒエ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（その他）

*Paspalum distichum*

<原産地等> 熱帯(国外外来種)

<変更コード> 1


<種の概要> 湿地や水路に生育する多年草。稈の基部は長く匍匐し、節から根を出す。これから分枝した稈は直立し、高さ20～40cm。葉は長さ5～10cm、幅3～8mm。花期は7～10月。花序は2個の総からなり、総の長さ4～9cm、中軸の下側に淡緑色の小穂が2列に並ぶ。開花時には紫黒色の柱頭が目立つ。


<市内分布> 茜部、金華、合渡、市橋、城西、長森西、長森東、長森南、長森北、島、日置江、日野、柳津で記録がある。




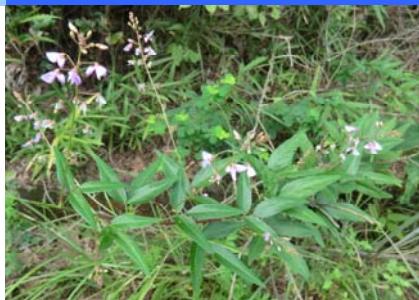
撮影：近藤慎一(市外撮影)



<b>タチスズメノヒエ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB 総合対策外来種（その他）
<i>Paspalum urvillei</i>		
<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> 1		
<p>&lt;種の概要&gt; 道端などに生育する多年草。茎は高さ70～150cm。葉身は長さ10～40cm、幅5～15mm、両面共に無毛または裏面にのみまばらに毛がある。基部の葉鞘には開出毛があるが、上部は口部を除いて無毛。葉舌は高さ2～4mm。花期は7～9月。花序は10～20本の総を直立あるいは斜上する。総は長さ4～10cm。総の基部には白色長毛があり、軸の片側に2～3列に小穂が並ぶ。開花時には黒色の柱頭が目立ち、葯は淡黄色。</p>		
<p>&lt;市内分布&gt; 茜部、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、市橋、長森西、長森南、長良東、島、日置江、日野、方県、柳津で記録がある。</p>		
		 撮影：近藤慎一

<b>セイバンモロコシ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB 総合対策外来種（その他）
<i>Sorghum halepense</i>		
<原産地等> 地中海沿岸(国外外来種) <変更コード> 1		
<p>&lt;種の概要&gt; 荒地に生育する大型の多年草。稈は東生し、高さ0.8～1.8m、基部の径は1cmにもなる。葉身は長さ20～60cm、幅1～2cm、中央脈は太くて白く、花穂の無いときはススキに似るが、葉のヘリはほとんど平滑で稈はもろくて折れやすい。花期は7～9月。花序は長さ20～50cm、枝は広く開くか、または垂れ気味で、その上半部に小穂が集まってつく。小穂は有柄と無柄のものが対になってつく。</p>		
<p>&lt;市内分布&gt; 茜部、金華、合渡、三輪北、城西、早田、長森西・南・北、長良、長良東、長良西、長良東、島、日置江、日野、方県、本郷、柳津、鶉で記録がある。</p>		
		 撮影：佐藤克則

<b>ツルマンネグサ</b>	ベンケイソウ科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
<i>Sedum sarmentosum</i>		
<原産地等> 中国北部～朝鮮半島(国外外来種) <変更コード> 1		
<p>&lt;種の概要&gt; 石垣、崖地、河原などに生育する多年草。茎は紅紫色を帯びてつる状に伸び、長さ30cmになる。葉はふつう3輪生するが、一部対生や互生になることがある。葉身は淡黄緑色で菱状狭楕円形～菱状披針形、長さ1.3～2.5cm、幅3～8mm。花期は5～6月。5数性で、茎頂の集散花序に15～30花つき、径約12mm、花弁は黄色で平開する。日本では結実しない。</p>		
<p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、城西、市橋、七郷、城西、早田、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、白山、方県、柳津、藍川、鶉で記録がある。</p>		
		 撮影：大塚英樹

<b>アレチヌスビトハギ</b>	マメ科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクA 総合対策外来種（その他）
<i>Desmodium paniculatum</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<p>&lt;種の概要&gt; 市街地～空き地、道端などに生育する多年草。茎は直立あるいは斜上し、高さ30～100cm。葉は3小葉をつけ、頂小葉は狭卵形～狭長楕円形で長さ4～10cm、幅1～3cm、両面に伏した軟毛がある。葉柄は長さ2～5cm。花期は9～10月。茎頂に円錐花序、上部の葉腋に総状花序をつける。花は紅紫色、長さ6～8mm。節果は扁平。3～5個の小節果からなり、小節果は三角形。</p>		
<p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三輪南、三輪北、市橋、城西、常磐、西郷、早田、長森西、長森東、長森南、長良、長良西、長良東、島、徹明、日置江、日野、梅林、白山、方県、網代、木田、柳津、藍川、鶉で記録がある。</p>		
		 撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## シロツメクサ

マメ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクA

*Trifolium repens*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 市街地から山地の道端、草地などに生育する多年草。茎は匍匐して、多くの節から根を出す。葉はふつう3小葉からなり、長さ6～20cmの柄がある。花期は4～10月。花は葉腋から伸びた柄の先に頭状花序を付ける。白色で、のちにやや淡紅色を帯びる。別名：クローバー。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、城西、七郷、常磐、西郷、長森西、長森南、長森東、長良、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## オッタチカタバミ

カタバミ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクA

*Oxalis dillenii*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端や空き地に生育する多年草。根茎は地表直下を横走する。茎は直立し、高さ20～50cm、細毛が多い。葉は茎に互生し、3小葉からなる。小葉は心臓形で、長さ5～18mm、幅7～25mm、葉柄は長い。花期は4～11月。花は3～10cmの長い花柄の先に付く2～6本の小花柄に付き、花弁は黄色、楕円形で長さ7～11mm。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、城西、常磐、早田、長森西、長森南、長森東、長森北、長良、長良西、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：室伏幸一(市外撮影)

## コニシキソウ

トウダイグサ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Chamaesyce maculata*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> 耕作地や道端に生育する一年草。茎は地表を匍匐し、全体的に分枝し、長さ6.5～38cm、上向きの軟毛がある。葉は対生し楕円形、長さ5～15mm、幅2～6mm、裏面に軟毛がある。花期は6～12月。杯状花序は集散状に集まり、小型化した葉または鱗片をもつ。蒴果は広卵形で径約1.3mm、上向きの圧着する短毛が密に生える。

<市内分布> 茜部、芥見東、岩、岩野田北、金華、厚見、合渡、三輪北、市橋、城西、長森西、長森南、長森東、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、柳津で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## オオニシキソウ

トウダイグサ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクA

*Chamaesyce nutans*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端、農耕地、土手などに生育する一年草。茎はアーチ状に立ち上がり、長さ18～63cm。葉は対生し、楕円形～長楕円形、長さ1.6～3.5cm、幅0.5～1.4cm、表面には長軟毛を密生する。花期は6～11月。杯状花序は、小型の葉と共に集散状に集まる。蒴果は広卵形で長さ約1.8mm、幅約2.2mmで無毛。

<市内分布> 茜部、芥見東、岩、岩野田、鏡島、金華、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪北、市橋、城西、常磐、西郷、早田、長森東、長森南、長良、長良東、島、日置江、日野、方県、本郷、柳津、鶉で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## アメリカフウロ

フウロソウ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Geranium carolinianum*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 空き地や道端に生育する一年草。茎は高さ10～60cmで、他のものに寄りかかり分枝し、微細な開出する白毛と腺毛を密生する。葉は幅3～4cm、掌状に深く切れ込み、裂片はさらに細裂する。花期は3～6月。散形花序に2～6花つき、小花柄は長さ5～12mm。花は径約2cmで淡紅色。

<市内分布> 茜部、芥見、芥見東、加納東、華陽、岩、金華、合渡、厚見、三輪北、城西、長森南、長良東、島、日置江、日野、方県、白山、網代、柳津、藍川で記録がある。



撮影：大塚英樹

## ホソバヒメミソハギ

ミソハギ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Ammannia coccinea*

<原産地等> アメリカ大陸(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 水田や川辺の泥土などに生育する一年草。茎は4稜あり、直立し、高さ20～100cm。斜上する多くの枝を出す。葉は狭被針形～線形で対生する。葉の基部はほこ型に貼り出し茎を抱く。花期は6～11月。葉腋に2～5個付く。花弁は4枚で紫紅色。

<市内分布> 茜部、金華、合渡、三輪北、長森西、長森南、長良東、日置江、日野、柳津で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## ヒレタゴボウ

アカバナ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Ludwigia decurrens*

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 休耕田や水辺に生育する一年草。茎は4稜あり直立し、高さ1mになる。葉は互生し無柄、披針形～狭楕円形で長さ5～12cm、幅1.5～3cm。花期は8～10月。4数性で、腋生する。花弁は黄色で倒卵形、長さ8～12mm、水平に開き散りやすい。蒴果は4稜あって四角柱状となり、長さ1～2cm。別名：アメリカミズキンバイ。

<市内分布> 茜部、金華、合渡、城西、長森西、長森東、長森南、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、柳津で記録がある。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## メマツヨイグサ

アカバナ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Oenothera biennis*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 道端、空き地、河原などに生育する二年草。茎は直立し、高さ0.3～2m、剛毛と基部が膨らむ長毛がある。また地上部にはロゼットを形成する。葉は倒披針形で長さ5～22cm、幅1～6cm、縁は歯状。花期は6～10月。葉腋についた花序に黄色の花をつける。しばむと橙色になる。

<市内分布> 茜部、華陽、岩、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、三輪北、市橋、城西、早田、長森東、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## コマツヨイグサ

アカバナ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（重点）

*Oenothera laciniata*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 荒地や河原などに生育する一年草～多年草。茎は高さ5～50cmで直立または平伏し、ロゼットを形成する。葉は倒披針形～長円形～狭楕円形、長さ2～10cm、幅0.4～3.5cm、縁は浅裂する。花期は4～11月。茎上部の葉腋についた花序に黄色～淡黄色の花をつける。しばむと橙色になる。花序には剛毛のほか長毛と腺毛がある。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、早田、長森西、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、柳津、藍川で記録がある。



撮影：近藤慎一

## ニワウルシ

ニガキ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（重点）

*Ailanthus altissima*

<原産地等> 中国(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 公園などに植栽されるほか河川沿いにも野生化している落葉高木。樹高は25mに達する。葉は13～25枚の小葉からなる奇数羽状複葉で、長さ40～100cm、葉柄や葉軸には短毛が密生するか無毛。小葉は長卵形で先は細く尖り、長さ7～12cm、幅2.5～5cm、縁の下部には先が腺に終わる1～2対の鈍鋸歯がある。花期は6月。枝先に数本の円錐花序を作り、多数の緑白色の花をつける。別名：シンジュ。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、鏡島、金華、厚見、合渡、早田、城西、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、梅林、木田、柳津、藍川で記録がある。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## マメグンバイナズナ

アブラナ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Lepidium virginicum*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 平地の草地や道端に生育する一年草～二年草。茎は直立し、高さ20～40cm、上部は多く分枝し、乳頭状の細毛がある。根生葉はロゼット状で羽状に破裂し、花時には枯れる。上部の茎葉は線形～線状倒披針形。花期は5～6月。総状花序には多数の花がつく。花は白色。短角果は狭隔膜方向に扁平になり、円形で長さ2.5～3mm、先が小さく凹む。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、城西、早田、長森西、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、方県、柳津、藍川、鶯で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## アレチギンギン

タデ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Rumex conglomeratus*

<原産地等> ユーラシア(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 荒地や道端に生育する多年草。茎は直立し、高さ40～120cm、枝は著しく開出する。花時には根出葉は無い。茎葉の葉身は長楕円形～長楕円状披針形で長さ8～18cm、幅2～7cm、縁は波状となる。茎の上部に向かって次第に苞葉になる。花期は5～7月。中～上部の茎や枝の節に多数束生する花序を出す。果時の3枚の内花被片は三角状舌形で、長さ2.5～3mm、幅1.3～1.8mmで全縁。

<市内分布> 茜部、芥見東、加納東、華陽、金華、厚見、合渡、黒野、三里、三輪北、市橋、城西、西郷、長森南、長良東、島、日置江、日野、白山、柳津、鶯で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## オランダミナグサ

ナデシコ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Cerastium glomeratum*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> 畑、草地、道端などに生育する越年草。茎は根際から分枝して立ち上がり、高さ10～30cm。茎、葉、萼片の外側に軟毛と腺毛が密生する。葉は対生、卵形～長楕円形で長さ5～25mm、幅2～20mm、柄は無い。花期は4～5月。花は多数が集散状に集まり、花柄は萼片よりも短い。花弁は白色で先は2浅裂。

<市内分布> 茜部、芥見、加納西、加納東、華陽、岩、金華、厚見、合渡、三輪南、三輪北、城西、長森南、長良東、島、日置江、日野、網代、柳津、藍川で記録がある。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## マルバルコウ

ヒルガオ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Ipomoea coccinea*

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> やや湿潤な草地などに生育するつる性の一年草。茎には4稜ある。葉は互生し、葉柄は細く長さ1.5～6mm。葉身は広卵形～卵円形、長さ3～7cm、幅1.5～5cm、先は鋭く尖り基部は心形。花期は8～10月。葉腋から花序を伸ばし、先に2～5個の花をつける。花冠は朱赤色、筒部の先が広く開き、長さ約2cm、幅約1.5cm。蒴果は球形で径約5mm。

<市内分布> 岩野田北、合渡、黒野、三里、三輪北、市橋、城西、西郷、長森東、長森南、長良東、島、日野、日置江、方県、柳津、鶉で記録がある。



撮影：大塚英樹

## マメアサガオ

ヒルガオ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

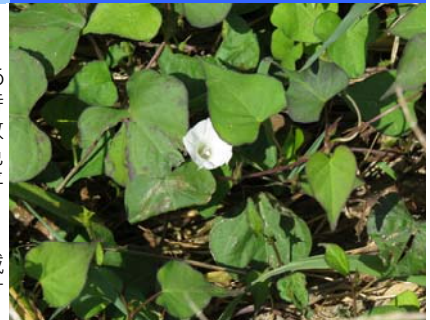
*Ipomoea lacunosa*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> 1

<種の概要> 荒地、道端、川原などに生育するつる性の一年草。茎には4稜あり、長さ1～3mになる。葉は互生し、葉柄は細く、長さ2～5cm、葉身は広卵形で時に3裂し、長さ3～8cm、幅2～7cm、先は細長く尖り、基部は心形、両面に毛が散生する。花期は7～9月。葉腋から花序を伸ばし、1～5個の花をつける。花冠は白色で漏斗形、長さ幅ともに約2cm。花柄には多数のこぶ状突起がある。蒴果はやや平たい球形で、長さ8～10mm。

<市内分布> 茜部、岩野田北、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、城西、長森西、長森南、長森北、長良東、島、日置江、日野、方県、柳津、鶉で記録がある。



撮影：近藤慎一

## マツバウンラン

オオバコ科

岐阜市2023：侵入ランクA  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Nuttallanthus canadensis*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)


<変更コード> 1


<種の概要> 造成地などの荒地に生育する一年草。茎は基部で分枝して直立、高さ30～60cm。葉は下部では対生または輪生、上部では互生。葉身は線形で、先が尖り長さ1～3cm、幅0.3～1mm、1脈がある。花期は4～5月。枝先に穂のような総状花序を出し、まばらに多数の花をつける。花冠は仮面上の唇形、長さ4mm、紫色で下唇の下部は隆起して白色。


<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、金華、岩、厚見、合渡、三輪北、城西、長森南、長良東、徹明、島、日野、白山、網代、柳津、藍川で記録がある。




撮影：加藤範夫

<b>タチイヌノフグリ</b>	オオバコ科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
<i>Veronica arvensis</i>		
<原産地等> ユーラシア(国外外来種) <変更コード> 1		
<p>&lt;種の概要&gt; 道端に生育する一年草。茎は根際で分枝し斜上、高さ7～25cm、白色の軟毛が生える。葉は対生、中部以上では無柄。葉身は卵形で長さ5～15mm、幅3～14mm、2～4個の鋸歯があり両面に毛がある。花期は4～5月。上部の小型の葉腋ごとに1花をつける。花冠は皿形で深く4裂し、淡紫色、径約2mm。蒴果は倒心臓形で幅約4mm。縁に短い腺毛がある。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納西、加納東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、城西、七郷、西郷、長森南、長良東、島、日置江、日野、白山、網代、柳津、藍川で記録がある。</p>		
		 撮影：中尾茂樹(市外撮影)

<b>オオイヌノフグリ</b>	オオバコ科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
<i>Veronica persica</i>		
<原産地等> ユーラシア(国外外来種) <変更コード> 1		
<p>&lt;種の概要&gt; 畑や道端に生育する越年草。茎は分枝して這い、長さ10～30cm。葉は茎の下部では対生、中部から上方では互生。葉柄は1～6mm。葉身は卵形～卵円形、長さ6～20mm、幅4～15mm、2～4個の大型の鋸歯がある。花期は3～5月。葉腋ごとに1花をつけ、花柄は長さ1～2cm。花冠は青紫色。蒴果は扁平な倒心臓形、径約8mm。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納西、加納東、岩、金華、厚見、合渡、三輪南、三輪北、城西、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、柳津、藍川で記録がある。</p>		
		 撮影：近藤慎一

<b>アレチハナガサ</b>	クマツヅラ科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクA
<i>Verbena brasiliensis</i>		
<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<p>&lt;種の概要&gt; 裸地や礫地、草地に生育する多年草。茎は直立し、高さ1.5mに達する。茎の断面は四角形で中実、上部で分枝し枝は開出する。葉は対生し、下部の葉は鋸歯があり、基部は細まる。花期は6～9月。穂状花序は斜上して枝先に付き、淡紫色の花を多数つける。花は花序の基部から先に向かって順次4～5個が咲く。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南、三輪北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、長森西、長森東、長森南、長森北、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、白山、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶯で記録がある。</p>		
		 撮影：中尾茂樹(市外撮影)

<b>アメリカセンダングサ</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクA 総合対策外来種（その他）
<i>Bidens frondosa</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<p>&lt;種の概要&gt; 湿った草地、休耕田などに生育する一年草。茎は直立し、高さ1～1.5m、紫褐色で多く分枝する。葉は対生し、羽状複葉。小葉は3または5枚、明瞭な柄があり、長さ8～15cm、披針形で縁に粗い鋸歯がある。花期は9～10月。頭花は径1～2cm、ごく短い黄色の舌状花がある。瘦果には頂端に逆刺のある刺が2個ある。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南、三輪北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、長森西、長森東、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、白山、方県、網代、柳津、藍川、鶯で記録がある。</p>		
		 撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## コセンダングサ

キク科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A

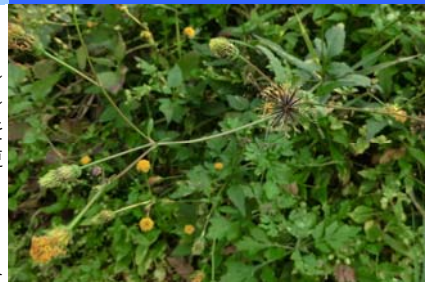
*Bidens pilosa* var. *pilosa*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 河原、空き地などに生育する一年草。茎は直立し高さ50～120cm。葉は下部で互生、上部で対生し、卵状三角形、長さ7～8cm、幅5～6cm、2～3回羽状に分裂し、小葉は卵状披針形。花期は9～11月。黄色の頭花をつける。通常筒状花のみだが時に舌状花も見られる。果体には頂端に3～4本の逆刺のついた刺があり、衣服や動物の毛について他の場所に運ばれる。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南、三輪北、市橋、城西、七郷、常磐、早田、長森西、長森東、長森南、長森北、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

## オオキンケイギク

キク科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A  
特定外来生物、総合対策外来種（緊急）

*Coreopsis lanceolata*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端や土手に生育する多年草。茎は高さ30～70cm。葉は対生、時に一部互生。根生葉は長い柄があり、花時にも残り、3～5小葉からなる。茎葉は狭倒披針形。花期は5～7月。径5～7cmの黄色い花をつける。国内では庭や花壇のほか花の咲く法面緑化などに使用され、いたるところに逸出し、群落状に広がっている。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見、芥見東、芥見南、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南、三輪北、市橋、七郷、城西、常磐、早田、長森西、長森東、長森南、長森北、長良西、長良東、徹明、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、本荘、明德、網代、木田、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：岐阜市

## ヒメジョオン

キク科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A  
総合対策外来種（その他）

*Erigeron annuus*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 市街地、農村、空き地、山地など様々な場所に生育する一年草～越年草。茎は高さ30～120cm、まばらな開出粗毛があり中実。根出葉はロゼット状で、花時に枯れる。茎葉は卵形～狭長楕円形、長さ5～15cm、幅1.5～3cm、粗い鋸歯がある。上部の葉は無柄、下部のものは有柄。花期は6～10月。頭花は径約2cm、筒状花は黄色、舌状花は白色～淡紅色。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三里、三輪南、三輪北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、長森西、長森東、長森南、長森北、長良、長良西、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：近藤慎一

## ヒメムカシヨモギ

キク科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A

*Conyza canadensis*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)


<変更コード> -


<種の概要> 道端、空き地などに生育する一年草～越年草。茎は高さ80～180cm、開出粗毛が密にある。根出葉はへら形。茎葉は線形～広線形、長さ7～10cm、幅0.5～1.5cm、まばらに鋸歯があるか全縁。花期は8～10月。頭花は径約3mm、筒状花は淡黄色、舌状花は白色、舌状部は約1mm。


<市内分布> 茜部、加納東、華陽、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、三輪北、市橋、常磐、城西、早田、長森東、長森南、長良、長良西、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。




撮影：加藤範夫

<b>セイタカアワダチソウ</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクA 総合対策外来種（重点）
<p><i>Solidago altissima</i></p> <p>&lt;原産地等&gt; 北アメリカ(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 道端、空き地、河川敷などに生育する多年草。茎は高さ50～250cm。葉は線状長楕円形で辺縁には低い鈍鋸歯がある。長さ5～15cm、幅1～2.5cm、両面に短毛があり無柄。花期は10～11月。花序は大きな円錐状で、多数の黄色の花をつける。地下部から種子発芽を抑制するアレロパシー物質を分泌するため、時に大純群落を形成する。北アメリカ原産。別名：セイタカアキノキリンソウ、ハイザンソウ。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納東、華陽、芥見、芥見東、岩、岩野田、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南、三輪北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、長森西、長森南、長森北、長良、長良東、徹明、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。</p>		
		 <p>撮影：近藤慎一</p>

<b>セイヨウタンポポ</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクA 岐阜市2015（前回）：侵入ランクA 総合対策外来種（重点）
<p><i>Taraxacum officinale</i></p> <p>&lt;原産地等&gt; ヨーロッパ(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 市街地から里山の道端などの草地に生育する多年草。花茎の高さは果時に10～45cm。葉はロゼット状につき、長さ3～50cm、幅0.5～8cm、羽状浅裂～深裂。花期は3～5月が最盛期だがほぼ年中みられる。頭花は黄色で径3.5～4.5cm。総苞外片はつぼみ時以外反転する。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納西、加納東、華陽、岩、岩野田、岩野田北、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、常磐、長森西、長森南、長良、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、網代、柳津、藍川で記録がある。</p>		
		 <p>撮影：近藤慎一</p>

<b>タカサゴユリ</b>	ユリ科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<p><i>Lilium formosanum</i></p> <p>&lt;原産地等&gt; 台湾(国外外来種) &lt;変更コード&gt; 2</p> <p>&lt;種の概要&gt; 道端、道路法面などに生育する多年草。鱗茎は球形～広卵形で、径約5cm。茎は高さ30～200cm。葉は多数が茎に互生し、無柄、線形で先は尖り、長さ10～30cm、幅4～12mm。花期は7～11月。花は茎の先の葉腋に1～数個が横からやや下向きに咲く。花被片は6枚、白色で外面の特に中肋に沿って赤紫色を帯びる。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 華陽、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、市橋、長森南、長良、長良東、日置江、日野、方県、藍川で記録がある。</p>		
		 <p>撮影：室伏幸一(市外撮影)</p>

<b>キシヨウブ</b>	アヤメ科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB 総合対策外来種（重点）
<p><i>Iris pseudacorus</i></p> <p>&lt;原産地等&gt; ヨーロッパ(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 水辺に生育する多年草。地下には横に這う太い根茎があり、分枝して繁殖する。葉は長さ60～100cm、幅2～3cm。花期は5～6月。花茎は直立し葉よりも高くなり、1～2個の黄色の花をつける。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 茜部、加納東、華陽、岩、岩野田、岩野田北、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪北、市橋、七郷、常磐、城西、西郷、早田、長森西、長森東、長森南、長良、長良東、島、日置江、日野、白山、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。</p>		
		 <p>撮影：近藤慎一</p>



## ニワゼキショウ

アヤメ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Sisyrinchium rosulatum*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 芝地や砂地に生育する多年草。高さ10～20cm。地下茎は発達せず、細いひげ根を密生する。葉は剣状、幅2.5mm以下と細く、やや鎌状に曲がる。花期は5～6月。花茎は葉よりも高く、狭い翼があり、1～2回分枝する。花は糸状の花柄があり、径約1.5cm。花被片はふつう淡紫色で下部は紫色。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、岩、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、長森西、長森南、長良東、島、日置江、日野、網代、柳津、藍川で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## ノハカタカラクサ

ツクサ科

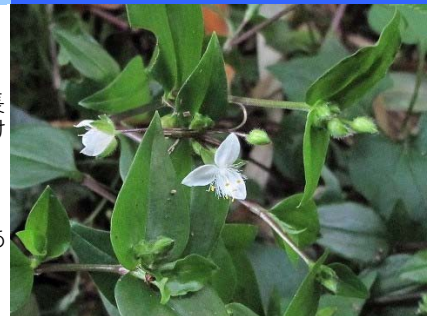
岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
総合対策外来種（重点）

*Tradescantia flumiensis*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 道端、林床などやや湿潤な日陰に生育する多年草。茎は伸長し、地面に接する場所から不定根を出し広がる。葉は互生し卵状楕円形～楕円形で長さ3～5cm、幅約2cm。花期は5～8月。茎の先にある葉の腋に数個白色の花をつける。

<市内分布> 加納東、華陽、岩、鏡島、厚見、合渡、長良東、日野で記録がある。



撮影：大塚英樹

## メリケンガヤツリ

カヤツリグサ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（重点）

*Cyperus eragrostis*

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 水田や湿地に生育する多年草。大株となり、幹は太く高さ30～100cm、鈍い三稜形で、基部は赤褐色。葉は幅5～10mm、長いものは稈とほぼ同長。花期は6～11月。苞葉は葉状で5～6枚、その上に5～10本の花序枝があり、その先に小穂が球状に集まってつく。

<市内分布> 茜部、岩野田、金華、合渡、三里、三輪南、市橋、常磐、城西、長森南、長良、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、柳津、鶉で記録がある。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

## コヌカグサ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
産業管理外来種

*Agrostis gigantea*

<原産地等> 北半球温帯(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 道端や草地に生育する多年草。太い根茎があり、稈は高さ50～100cm。葉は長さ5～20cm、幅4～7mm、両面ざらつく。葉舌は高さ3～5mm。花期は5～6月。円錐花序は直立し、長さ10～20cm、枝はざらつき、枝の基部近くから小穂をつける。小穂は1小花からなり、長さ2～2.5mm、淡緑色～淡褐色でやや光沢がある。

<市内分布> 金華、合渡、三輪北、日野で記録がある。



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## コバンソウ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Briza maxima*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> 2

<種の概要> 明るい草地や荒地に生育する一年草。単生または束生し、稈は高さ10～60cm。葉は扁平で長さ5～20cm、幅3～8mm。葉舌は高さ2～5mm。花期は5～7月。円錐花序は長さ3～10cm、先は垂れ、枝は少数で、それぞれ1～3個の小穂をつける。小穂は下垂し卵形で、両側に膨れ、長さ14～25mm、8～18花からなり、初め黄緑色、のち黄褐色。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、金華、合渡、厚見、城西、長森南、長良東、島、日置江、日野、柳津、鶉で記録がある。



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## イヌムギ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Bromus catharticus*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端や土手などに生育する越年草～短命な多年草。茎は叢生し、高さ40～100cm。葉身は長さ15～30cm、幅4～10mm、上面無毛、下面にはまばらに毛がある。葉舌は高さ3～5mm。花期は4～5月。円錐花序は大形で散開し、長さ15～25cm。小穂は6～9小花からなり扁平で無毛。長さ20～30mm。英名：ブルーリー・グラス。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、七郷、城西、西郷、長森南、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、柳津で記録がある。



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## カモガヤ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
産業管理外来種

*Dactylis glomerata*

<原産地等> ヨーロッパ～西アジア(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 道端や草地に生育する多年草。稈はほぼ直立し高さ40～120cm。葉は長さ10～40cm、幅3～14mm。花期は7～8月。円錐花序は長さ10～25cm、各節に枝を1本ずつ出し、上方に多くの小穂が塊状につく。国内では牧草として利用されている。英名：オーチャードグラス。

<市内分布> 金華、厚見、合渡、三輪北、長森南、長良東、島、日野で記録がある。



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## コスズメガヤ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Eragrostis minor*

<原産地等> ユーラシア(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端、畑、グラウンド、河川敷などに生育する一年草。茎は高さ10～50cm、節には茎を取り巻く環状の腺がある。葉身は幅2～5mm、縁に盤状の小さな腺があり、葉鞘の口部に長毛がある。葉舌は短毛の列となる。花期は8～10月。花序は長さ7～20mm、枝の所々に環状の腺がある。小穂は淡緑色で長さ3～8mm、幅1.5～2mm、4～12小花からなる。

<市内分布> 茜部、岩、合渡、三輪北、市橋、城西、長森南、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、柳津、鶉で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ホソムギ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Lolium perenne*

<原産地等> ユーラシア(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 道端や空き地に生育する短命の多年草。稈は高さ15～90cm。葉は長さ6～25cm、幅2～4mm。若い葉身は、芽の中で2つ折れになる。葉耳は時に不明。花期は5～7月。穂状花序は節ごとにわずかに屈曲し、小穂はその凹みにつき、2列に並ぶ。小穂は無柄で中軸の両側に小花をつける。小花は10小花からなるものが多い。護穎にはふつう芒がない。

<市内分布> 合渡、城西、三輪北、長森西、長森南、長良東、島、日野で記録がある。



撮影：室伏幸一 (市外撮影)

## ドクムギ

イネ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Lolium temulentum*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 道端や荒地に生育する一年草。稈は束生し、高さ30～80cm。葉は長さ20～50cm、幅3～8mm。葉鞘口部には細い三日月形の葉耳があり茎を抱く。葉舌は高さ1～2mm。花期は5～7月。穂状花序は節ごとに強く屈曲し、小穂はその凹みにつき2列に並ぶ。小穂は無柄で5～10花からなる。第2包穎は革質で厚く、小穂と同長かわずかに長い。

<市内分布> 芥見東、金華で記録がある。

NO IMAGE

## モウソウチク

イネ科

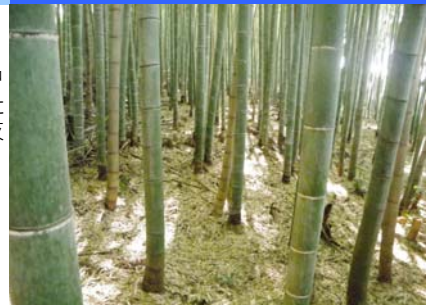
岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Phyllostachys edulis*

<原産地等> 中国(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 稈は高さ10～12m。径8～20cmに達し、節は単環状。枝は稈の中部以上の節に2本ずつ互生する。竹の皮は黒紫褐色で背面に粗毛があり、開出した著しい肩毛があり、先には葉片がつく。葉は被針形で長さ4～8cm、幅4～10mm。枝先に2～8個ずつつき、裏面基部に軟毛がある。筍は4月に出て太く、食用にされる。

<市内分布> 芥見、芥見東、芥見南、岩、金華、黒野、三輪北、長良東、日野、方県、網代、柳津で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## オニウシノケグサ

イネ科

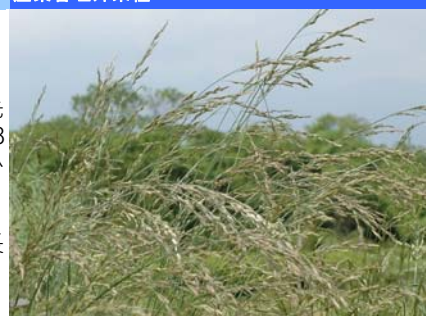
岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
産業管理外来種

*Festuca arundinacea*

<原産地等> ユーラシア(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 荒地や道端、河川敷に生育する多年草。稈は高さ40～180cm。葉は長さ10～60cm、幅3～10mm、葉脈は太く上面に著しく隆起。葉鞘の口部は先の尖った三日月形の葉耳があり稈を抱く。葉耳のへりには短毛が並ぶ。花期は6～8月。円錐花序は長さ10～50cm。1節から長短2本の枝を出し、それぞれに数個の小穂をつける。英名：トール・フェスク。

<市内分布> 金華、合渡、岩野田、三輪北、市橋、常磐、城西、長森南、長良東、島、日置江、日野、方県、網代で記録がある。



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## ナギナタガヤ

イネ科

*Vulpia myuros*

<原産地等> ヨーロッパ～西アジア(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 乾燥した道端や荒地に生育する一年草。稈は細く束生し、高さ10～70cm。葉は緑白色で長さ2～15cm、内側に強く巻き糸状で、幅0.5～2mm。葉舌は高さ1mm以下。花期は5～7月。円錐花序は長さ10～20cm、弓型に傾いて垂れる。小穂の柄は長さ1～3mm、3～7小花からなり、淡緑色、長さ7～10mm。

<市内分布> 芥見東、金華、合渡、三輪北、城西、長森西、長森南、長良東、島、日置江、日野で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
産業管理外来種



撮影：品川修二(市外撮影)

## メキシコマンネングサ

バンケイソウ科

*Sedum mexicanum*

<原産地等> メキシコ(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 日あたりの良い道端や空き地に生育する多年草。茎は地際で分枝して群生し、高さ10～20cm。葉は普通4～5輪生するが、3輪生や対生することもある。葉身は線状楕円形で長さ1.3～2cm、幅2～3mm。花期は4～5月。20～40花からなる集散花序を茎頂につける。花弁は鮮黄色、長さ約4mm、平開する。

<市内分布> 天神川で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC



撮影：室伏幸一(市外撮影)

## イタチハギ

マメ科

*Amorpha fruticosa*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 林縁部、道端などに生育する落葉性の低木。樹高は1～3m。葉は奇数羽状複葉、側小葉は6～15対。小葉は普通卵形～長楕円形、先端は中肋が突出し微突形となる。花期は4～7月。枝先に3～5個の総状花序を出し、濃紫色の花を多数密集してつける。豆果は扁平な狭楕円形、長さ5～8mm。

<市内分布> 岩、鏡島、金華、合渡、三輪北、長良東、島、日置江、日野、柳津、藍川、鶉で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種(重点)



撮影：近藤慎一

## コムツツメクサ

マメ科

*Trifolium dubium*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 市街地の道端、草地、芝地など日あたりの良い場所に生育する一年草。茎は直立または匍匐し、高さ30～60cm、初めは長軟毛があるが後無毛。葉は茎上部を除き羽状3小葉、小葉は倒卵形で長さ5～15mm、幅5～12mm、中部から先に鈍鋸歯がある。花期は4～7月。花序はほぼ球状で長さ約1cm、5～20花をつける。花弁は淡黄色～黄色。

<市内分布> 茜部、芥見東、加納西、加納東、華陽、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、常盤、長良東、島、日置江、日野、白山、網代で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC



撮影：大塚英樹

## ナヨクサフジ

マメ科

*Vicia villosa* subsp. *varia*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> 2

<種の概要> 日あたりの良い道端、畑地、草地に生育する一年草～越年草。茎は無毛で、つる状に長く伸び、150cmに達する。葉は奇数羽状複葉、5～12対の小葉をつける。小葉は長楕円形～広線形で、長さ15～30mm、幅5～10mm。花期は5～8月。花序は長さ5～18cm、10～40花を一側に偏してつける。花弁は青紫色～紅紫色、長さ10～20mm。

<市内分布> 茜部、厚見、合渡、七郷、城西、長良東、島、日野、柳津で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
産業管理外来種



撮影：大塚英樹

## アレチウリ

ウリ科

*Sicyos angulatus*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> 2

<種の概要> 河川や耕作地の土手に生育するつる性の一年草。茎は円くて稜があり、多細胞の縮毛が多い。盛んに分枝しながら長さ数mに達し、巻きひげにより絡まって広がる。葉は互生、ほぼ円形で径10～20cm、3～7浅裂し、鋸歯縁。花期は8～10月。葉腋から雄花序と雌花序をそれぞれ伸ばし、雄花序には径約1cmの白色の花をつけ、雌花序には淡緑色の花をつける。果実には長い刺毛を密生する。

<市内分布> 岩、金華、合渡、城西、早田、長良、長良東、島、日置江、日野、柳津、藍川、鶉で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
特定外来生物、総合対策外来種(緊急)



撮影：近藤慎一

## ハナカタバミ

カタバミ科

*Oxalis bowieana*

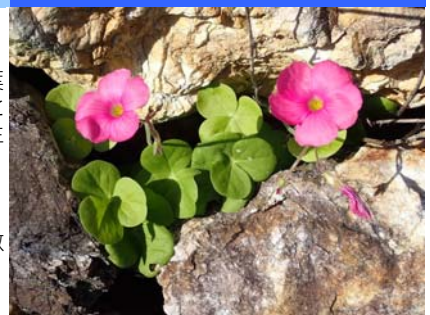
<原産地等> アフリカ南部(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端に生育する多年草。根は紡錘形。地上茎は無く、葉は3小葉で全て根生する。葉柄は長さ5～30cm、腺毛が密生する。小葉は円形で、長さ幅ともに3～8cm、先端は少し凹み腺毛がある。花期は3～4月及び8～11月。花は5数性で径3～5cm。花弁は倒卵形で長さ2～2.5cm、幅1.5～2cm、紅色または白色で、やや濃色の脈がある。花の中心は黄色。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、岩、厚見、三輪北、長森南、長良東、徹明、日置江、日野、白山、柳津、藍川で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## ナンキンハゼ

トウダイグサ科

*Triadica sebifera*

<原産地等> 中国(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 蠟の採取や用材のために栽培され、一部野生化している落葉高木。樹高15mに達する。樹皮は灰褐色で不規則に縦に裂ける。葉は互生し、革質で長さ2～8cmの柄がある。葉身は菱状卵形で、長さ3.5～7cm、葉身の基部に2個の目立つ腺点がある。花期は7月。花は枝先の長さ6～18cmになる総状花序につき、上部には多数の雄花、下部に1～3個の雌花をつける。

<市内分布> 茜部、華陽、芥見東、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、早田、長森東、長森西、長森南、長良、長良東、長良西、島、日置江、日野、徹明、白山、柳津、鶉で記録がある。

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種(その他)



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ユウゲシヨウ

アカバナ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Oenothera rosea*

<原産地等> アメリカ大陸(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 道端や草地などに生育する多年草。茎は高さ7～65cmになり、剛毛があり長毛が混ざる。葉は楕円形～卵形、長さ1～6cm、幅0.4～2.5cm、下部の葉は羽状中裂することもある。花期は5～9月。直立する茎の上部の葉腋につき、夕暮れに開花する。花弁は桃色～紅紫色を帯び、広卵形、長さ0.4～1.2cm、しばむと濃色になる。子房には剛毛がある。

<市内分布> 茜部、華陽、金華、岩、厚見、合渡、城西、三輪北、七郷、長森南、長良東、日野、柳津、藍川で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## オランダガラシ

アブラナ科

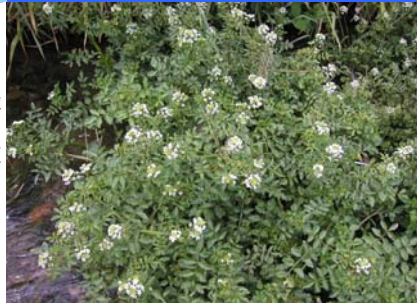
岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種(重点)

*Nasturtium officinale*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 水辺から水中に生育する多年草。茎は高さ20～60cmで中空、下方の節から根が出る。葉は奇数羽状複葉で、側小葉は1～5対、広卵形～円形、縁の浅い凹みに少数の半透明の腺点がある。沈水している葉は著しく大きくなる。花期は5月。花は総状花序につき、白色、花弁は4枚、長さ4～5mm。長角果は弓形に曲がり長さ1～1.5cm。

<市内分布> 岩野田北、金華、鏡島、合渡、黒野、鷺山、三輪南、三輪北、市橋、七郷、西郷、城西、早田、則武、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、木田、藍川で記録がある。



撮影：近藤慎一

## ナガバギンギン

タデ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
総合対策外来種(その他)

*Rumex crispus*

<原産地等> ユーラシア(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 荒地や道端に生育する多年草。茎は直立して高さ0.8～1.5m、上部で分枝し、枝はほぼ直立。根生葉と基部の葉は花時に宿存、長楕円形で長さ10～30cm、幅3～8cm。茎葉は上部に向かって小さくなり苞葉となる。花期は4～7月。茎の上部と枝の節に密に束生し、円錐状の花序を作る。瘦果は褐色で3稜形。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、長良東、島、日置江、日野、白山、柳津で記録がある。



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## イヌコモチナデシコ

ナデシコ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Petrorhagia nanteuillii*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 荒地や河川敷に生育する越年草。茎は高さ20～50cmで、腺毛が密生する。葉は対生、線形で長さ20～25mm、葉の基部は膜で合着し、幅の2倍に達する長さの鞘となる。花期は4～5月。茎頂に花茎を出し、大きな楕円形の苞に包まれた花序をつける。花は3～10個、花弁は紅紫色、弁状部は倒卵形で幅2～3mm。

<市内分布> 華陽、厚見、合渡、長良東、島、日野で記録がある。

NO IMAGE

## コモチナデシコ

ナデシコ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Petrorhagia prolifera*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> 2

<種の概要> 荒地や河川敷に生育する越年草。茎は高さ10～50cm、無毛時に逆向きの剛毛を散生。葉の基部の鞘の長さは幅とほぼ同長。花期は5～6月。茎頂に花茎を出し、大きな楕円形の苞に包まれた花序をつける。花は3～10個、花弁は紅紫色、弁状部は倒卵形で幅2～3mm。

<市内分布> 芥見、鏡島、合渡、城西、長森西、長森南で記録がある。

NO IMAGE

## コハコベ

ナデシコ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

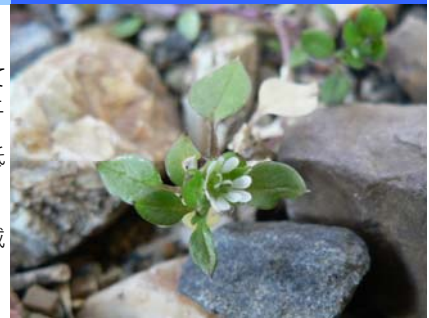
*Stellaria media*

<原産地等> ユーラシア(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 畑、草地、道端などに生育する越年草。茎は基部から枝を分けて広がり、片側に短い軟毛があって、高さ10～20cmになる。葉は下部のものは有柄、上部のものは無柄となり長さ1～2cm、幅8～15mm、両面共に無毛。花期は3～9月。花は集散花序につき、花弁は白色で2深裂する。種子は腎円形で径1～1.2mm、低いいぼ状突起がある。

<市内分布> 茜部、芥見、加納東、華陽、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、城西、三輪南、三輪北、七郷、西郷、長森西、長森南、長良東、島、日置江、日野、梅林、白山、網代で記録がある。



撮影：大塚英樹

## ホナガイヌビユ

ヒユ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Amaranthus viridis*

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端や畑地に生育する一年草。茎は高さ20～30cm、無毛で赤みを帯びる。葉は互生し長柄があり、卵形～三角形状卵形、長さ4～11cm、幅3～8.5cm、円頭～わずかに凹頭。花期は6～10月。花序は花穂状で茎と枝の頂に生じる。花は最初緑色だがのち帯褐色、花被片は3枚。別名：アオビユ。

<市内分布> 茜部、岩野田北、金華、三輪北、城西、早田、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、柳津で記録がある。



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## アリタソウ

ヒユ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Chenopodium ambrosioides*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 荒地や道路脇の法面に生育する一年草。茎や葉の裏面には黄色の腺体があり、強い匂いを放つ。茎は高さ30～80cm。葉は卵形～披針形、長さ3～13cm、幅0.5～3.5cm、不揃いの深い鋸歯縁。花期は7～11月。花は少数個が集まって、頭状の分花序を作る。

<市内分布> 茜部、華陽、鏡島、金華、厚見、合渡、三里、三輪北、市橋、城西、早田、長森南、長良、長良西、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、方県、柳津、鶉で記録がある。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## ヨウシュヤマゴボウ

ヤマゴボウ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Phytolacca americana*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端や空き地に生育する大型の多年草。茎は高さ0.7～2.5mで分枝し、帯紅色。葉は互生し、長さ2～6cmの柄があり、葉身は楕円形で長さ5～30cm、幅2.5～13cm。花期は6～10月。花序は総状で、葉と相対してつき、花時には直立し、果時には下垂する。花は白色か帯紅色、径4～6mm、花被片は5枚。果実は液果で偏球形、径約8mm、黒熟し多汁質。別名：アメリカヤマゴボウ。

<市内分布> 加納東、華陽、岩、岩野田、岩野田北、金華、厚見、合渡、三輪南、三輪北、常磐、城西、早田、長森西、長森東、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、網代、木田、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ツルニチニチソウ

キョウチクトウ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
総合対策外来種(重点)

*Vinca major*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> 2

<種の概要> 人家周辺から杉林の林床まで様々な場所に生育する常緑つる性の多年草。茎は細く、花をつける枝は立ち上がり、つけない枝は長く匍匐する。葉は対生し、葉身は卵状楕円形で長さ3～5cm、光沢がある。花期は3～5月。花茎の上部の各節に1花ずつつき、平開し、紫色で径約4cm。

<市内分布> 茜部、加納東、厚見、城西、長森南、長良東で記録がある。



撮影：室伏幸一(市外撮影)

## アメリカイヌホオズキ

ナス科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Solanum elaeagnifolium*

<原産地等> 北～熱帯アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端に生育する一年草。茎は直立または斜上し、高さ40～80cm、若枝時には伏毛がある。葉は互生、葉身は質薄く、卵形～長卵形、長さ2～12cm、幅1～5cm、先は尖る、表面と裏面脈状に短毛が散生する。花期は5～12月。枝の途中あるいは葉に対する場所に花序をだし、2～6個の花を散形につける。花冠は白色。液果は球形で径約5mm、黒熟する。

<市内分布> 芥見東、金華、合渡、三輪北、市橋、早田、長森南、長良、長良西、島、徹明、梅林、白山、柳津で記録がある。



撮影：奥田浩之(市外撮影)

## ヘラオオバコ

オオバコ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Plantago lanceolata*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> 2

<種の概要> 川原や草地など日あたりの良い場所に生育する多年草～二年草。葉は斜上し狭楕円形～倒披針形、全縁で長さ約30cm。花期は5～8月。70cmに達する花茎の先に長さ8cmほどの円柱形の穂状花序をつける。花は花序の下から上に向かって順次咲く。

<市内分布> 茜部、鏡島、厚見、合渡、城西、早田、長良東、島、日置江、本郷、柳津で記録がある。



撮影：近藤慎一



## アメリカアゼナ

アゼナ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Lindernia dubia* subsp. *major*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 水田や湿潤な場所に生育する一年草。茎は分枝して直立または斜上し、高さ10～30cm。葉は対生、上部のものは無柄。葉身は卵形～長楕円形で長さ1～3cm、幅0.5～1.3cm。花期は7～9月。上部の葉の腋ごとに1花をつける。花柄は長さ4～10mm、葉より短い。花冠は唇形、淡紫色で長さ8～10mm、下唇は上唇より長い。

<市内分布> 芥見東、金華、合渡、三輪北、城西、長森西、長森南、長良東、島、日置江、日野、柳津で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ヒメオドリコソウ

シソ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Lamium purpureum*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端などに生育する越年草。茎は下部で分枝し立ち上がり、高さ10～30cm、4稜あり下向きの短毛がある。葉は対生し、下部のものは有柄、上部のものは無柄。葉身は心形で、表面は細脈部が著しく凹入してしわとなる。花期は5～6月。花は上部の葉腋に密につき、長さ約1cm、紅紫色(稀に白色)、唇形で上唇の背には粗毛がある。

<市内分布> 芥見、厚見、合渡、金華、三輪南、三輪北、城西、長森南、長良東、日置江、日野、網代で記録がある。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## ヤナギハナガサ

クマツヅラ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Verbena bonariensis*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 裸地や礫地、草地に生育する多年草。茎は直立し高さ1.5mに達する。全体に剛毛がありざらつく。茎の断面は四角形で稜があり、中空。良く分枝し、枝は斜上する。葉は広線形～狭楕円形で対生。下部の葉には不整の鋸歯がある。花期は6～9月。枝先に密に穂状花序が散房状に集まってつく。花冠は紅紫色。萼は筒状で先はわずかに5列し、普通の毛の他に微細な腺毛がある。

<市内分布> 加納西、加納東、華陽、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、長森南、長良東、島、日置江、日野、柳津で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## キキョウソウ

キキョウ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Triodanis perfoliata*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端や公園の空き地などに生育する一年草。茎は直立し、高さ15～100cm。角ばって数本の稜がある。葉は無柄で多数が互生し、円形～広卵形で長さ1～3cm、低い鋸歯があり、基部は心形で茎を抱く。花期は5～7月。葉腋に1～2個つき無柄または短柄。花には開放花と閉鎖花があり、開放花の花冠は鮮紫色。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、長森南、長良東、島、日置江、日野、網代、柳津、藍川で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## オオブタクサ

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（重点）

*Ambrosia trifida*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 空き地や河川敷などに生育する多年草。茎は太く上部で枝分かれし、高さ1~4m。葉は対生し、長さ20~35cm、桑の葉に似ており、掌状に3~5裂し、長い柄がある。花期は7~9月。雄花序は枝の頂部に総状につき、雌花序は下方の葉腋に塊状につく。別名：クワモドキ。

<市内分布> 芥見東、岩、金華、合渡、三輪南、三輪北、城西、早田、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、本郷、藍川で記録がある。



撮影：近藤慎一(市外撮影)

## ベニバナボロギク

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Crassocephalum crepidioides*

<原産地等> アフリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端や伐採跡地などに生育する一年草。茎は直立し、高さ50~70cm、毛を散生する。葉は互生で柄があり、基部の裂片を除き楕円形~倒披針形、長さ5~15cm、幅1~8cm、辺縁には不規則な切れ込みがある。花期は8~10月。総苞は円筒形、舌状花は無く、筒状花は両性。花冠上部は鐘上に広がり、初め紅赤色、後に橙赤色になる。

<市内分布> 岩野田北、金華、三輪北、長良、長良東、方県、日置江、日野、網代、藍川で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## アメリカカタカサブロウ

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Eclipta alba*

<原産地等> アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 水田の畔、畑、道端などに生育する一年草。茎は高さ10~60cm。葉は対生し、長さ4~15cm、幅5~20mm、先端は尾状に尖り、基部は次第に狭くなり葉柄は無い。鋸歯縁で表面に伏毛がある。花期は7~9月。頭花は幅約5mm、舌状花は2列に並び白色、筒状花も白色で先が4裂する。舌状花の瘦果は三角柱形、筒状花の瘦果は平たい4稜形で、先端に1~3個の歯があり、側面全体にこぶ状突起がある。

<市内分布> 岩、金華、合渡、三輪南、三輪北、城西、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、柳津で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## ダンドボロギク

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Erechtites hieraciifolius*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> 2

<種の概要> 山地の伐採跡や都市の空き地に生育する一年草。茎は高さ1mになる。葉は互生し、葉身は広線形~狭披針形、長さ10~20cm、幅1.5~4cmで大小不揃いの鋸歯がある。花期は9~10月。頭花は茎の上方の直立する枝につく。総苞は円筒形、長さ11~15mm、花時の幅は約5mm。舌状花は無く、筒状花は白色で、長さ約14mm。瘦果は黒褐色。

<市内分布> 芥見東、岩野田、岩野田北、金華、三輪南、三輪北、長森西、長良、長良東、日置江、日野、方県、藍川で記録がある。



撮影：大塚英樹

## ハルジオン

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Erigeron philadelphicus*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端、空き地などに生育する一年草～越年草。茎は高さ30～80cm、全体に軟毛があり中空。根出葉はロゼット状で花時にも枯れない。茎葉は楕円状披針形、長さ5～15cm、幅1.5～3cm、無柄。花期は4～8月。頭花は径2～2.5cm、筒状花は黄色、舌状花は白色～淡紅色。別名：ハルシオン、ペニバナヒメジョオン。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、岩野田、鏡島、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、常磐、長森南、長良東、島、日置江、日野、網代、柳津で記録がある。



撮影：加藤範夫

## オオアレチノギク

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Conyza sumatrensis*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端、空き地などに生育する一年草～越年草。茎は高さ80～180cm、全体に開出軟毛が密にある。葉は両面に密に短毛があり、狭楕円形～線状倒披針形、長さ8～15cm、幅1～2cm、まばらに鋸歯がある。花期は8～10月。頭花は径4～5mm、筒状花は淡黄色、舌状花はきわめて短く汚白色。

<市内分布> 芥見東、岩、岩野田北、鏡島、金華、合渡、三里、三輪南、三輪北、市橋、城西、長森南、長良、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、柳津、藍川、鶉で記録がある。



撮影：加藤範夫(市外撮影)

## ウラジロチチコグサ

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Gamochaeta coarctata*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 乾いた道端、空き地、芝地などに生育する一年草～越年草。根生葉が多数あってロゼット状に広がる。茎は基部で分枝し、初め横に這い、その後立ち上がり高さ20～70cm、綿毛を密生する。葉は互生し、倒披針形～広線形、基部もほとんど狭まらず、円形～鈍頭、表面は毛が無く緑色、裏面は伏せた白綿毛が密生する。花期は4～8月。花序は高く穂状に伸び、葉腋に多数の頭花が固まってつく。総苞片は紅紫色～褐色。

<市内分布> 加納西、加納東、華陽、芥見東、岩、金華、厚見、合渡、三輪南、三輪北、城西、長森南、長良、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、柳津で記録がある。



撮影：中尾茂樹(市外撮影)

## チチコグサモドキ

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Gamochaeta pennsylvanica*

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)


<変更コード> -


<種の概要> 畑、空き地、道端に生育する一年草～越年草。茎は基部で分枝するか単純で、高さ20～60cm。全株灰白色の毛に覆われる。葉は開出しへら形で、長さ2～8cm、幅5～12mm、先は円く微凸形、両面ともに白い綿毛に覆われる。花期は4～10月。花序は上部の葉腋に短く固まってつく。頭花は長さ4～5.5mm。

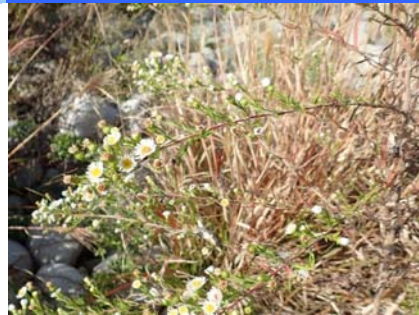
<市内分布> 茜部、加納東、華陽、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、長良東、徹明、島、日置江、日野、白山、柳津、鶉で記録がある。




撮影：中尾茂樹(市外撮影)

<b>ブタナ</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Hypochaeris radicata</i>		
＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)      ＜変更コード＞ 2		
<p>＜種の概要＞ 道端、荒地、畑地などに生育する越年草。葉は根生しロゼット状。茎は高さ25～80cm。葉は倒披針形、長さ6～11cm、幅1.5～4.5cm、羽状に浅裂～中裂、両面および縁に剛毛が密生する。花期は6～10月。頭花は黄色で径3～4cm。タンポポ類に似るが、本種は花茎から1～3本の枝を出すことで区別できる。</p> <p>＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、鏡島、厚見、合渡、長良東、白山、日置江、日野、方県、綱代で記録がある。</p>		
		
		撮影：奥田浩之(市外撮影)

<b>オノノゲシ</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
<i>Sonchus asper</i>		
＜原産地等＞ ヨーロッパ(国外外来種)      ＜変更コード＞ 2		
<p>＜種の概要＞ 道端、畑、荒地に生育する一年草～越年草。茎は太くて中空、高さ20～100cmになる。葉は羽状に中～深裂し、鋸歯縁、先は鋭い刺に中部以上の葉は無柄で、基部両側は半円形の耳となって茎を抱く。花期は4～7月。頭花は径約1.5cm、舌状花は黄色、冠毛は純白。瘦果は長さ約2.5mm、扁平で両面に縦の3稜がある。</p> <p>＜市内分布＞ 茜部、加納東、華陽、岩、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、七郷、西郷、長良東、島、日置江、日野、柳津、藍川で記録がある。</p>		
		
		撮影：中尾茂樹(市外撮影)

<b>キダチコンギク</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Aster pilosus</i>		
＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)      ＜変更コード＞ 2		
<p>＜種の概要＞ 荒地や石垣などに生育する多年草。太く短い根茎があり、茎の下部は木化する。茎は高さ40～120cm、やわらかい開出毛がある。枝は直角に出て先はしばしば下垂する。葉は線状披針形～倒披針形、しばしば鎌形に曲がる。花期は9～10月。頭花は多数、径約1.5cm、筒状花は黄色、舌状花は白色。瘦果は円柱形、黄褐色で冠毛は白色。</p> <p>＜市内分布＞ 茜部、鏡島、金華、合渡、黒野、三輪北、三輪南、西郷、城西、早田、長良、長良東、島、梅林、日置江、日野、方県、柳津で記録がある。</p>		
		
		撮影：近藤慎一(市外撮影)

<b>ヒロハホウキギク</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
<i>Aster subulatus</i> var. <i>sandwicensis</i>		
＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種)      ＜変更コード＞ -		
<p>＜種の概要＞ 道端、空き地、埋め立て地などに生育する一年草～越年草。明るくやや湿った環境を好む。茎は高さ50～120cm。葉は狭長楕円形～線状長楕円形で中央部の幅が最も広い。花序の枝は広く(60～90度)開出する。花は舌状花が淡紅桃色で冠毛より長くよく目立つ。</p> <p>＜市内分布＞ 茜部、鏡島、金華、合渡、三輪南、城西、長森南、長良東、島、日置江、柳津で記録がある。</p>		
		
		撮影：佐藤克則(市外撮影)

## オオオナモミ

キク科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB  
総合対策外来種（その他）

*Xanthium occidentale*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 河川敷や水際などやや湿潤な場所に生育する一年草。茎は短毛があつてざらつき高さ50～200cmにもなる。葉は広卵形で、長さ5～15cm、幅4.5～15cm、3～5に中裂する。花期は9～12月。雄花は黄白色、雌花は淡緑色。いが(成熟した雌花の総苞)は長さ15～25mm、幅10～18mm、頂端に長さ約5mmの2個の角があり、表面には先の曲がつた3～6mmの刺が密生する。

<市内分布> 茜部、加納東、岩、岩野田北、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南、三輪北、市橋、常磐、西郷、城西、早田、長森南、長良、長良西、長良東、島、日置江、日野、方県、藍川、鶉で記録がある。



撮影：佐藤克則(市外撮影)

## ヒメヒオウギズイセン

アヤメ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
総合対策外来種（その他）

*Crocsmia × crocosmiiflora*

<原産地等> 欧州で交雑(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 花壇周りや空き地などに生育する多年草。地下に繊維に覆われた球根があり、走出枝を出して繁殖する。葉は剣上で2列に互生する。花期は7～8月。葉束の中央から高さ80cmに達する花茎を出し、上部で分枝し多数の花を偏側的な穂状花序につける。花は朱赤色で径約3cm、斜め下向きに開き、花被片は6枚。雄蕊と雌蕊はオレンジ色～黄色。

<市内分布> 岩野田、金華、合渡、三輪南、三輪北、常磐、長森南、長良東、日野で記録がある。

## ラッキョウ

ヒガンバナ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Allium chinense*

<原産地等> 中国(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 栽培される多年草。鱗茎は狭卵形で外皮は薄い、食用となる。葉の断面は五角形、秋から冬は青く、夏には枯れる。花期は9～10月。花茎は高さ30～60cm、紫色の小花を散形花序につける。花柄は2.5～3cm。雄蕊の花糸基部に大きな歯がある。

<市内分布> 芥見、岩、柳津で記録がある。

## タマスダレ

ヒガンバナ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Zephyranthes candida*

<原産地等> ブラジル(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 園芸用に栽培され道端などに逸出する多年草。高さは15～30cm。地下に球根がある。葉は細くて肉質で厚みがある。花期は7～10月。基部から花茎を伸ばし、1花をつける。花弁は6枚で白色。花は夜には閉じる。

<市内分布> 合渡、長良東、柳津で記録がある。

## ホテイアオイ

ミズアオイ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
総合対策外来種（重点）

*Eichhornia crassipes*

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 湖沼、ため池のほか河川や水路の流れの緩やかな場所に浮遊して生育する多年草。走出枝を伸ばして子株をつくり広がる。大きさは環境条件によって変異が大きく、10～80cm、1mを超えるものもある。葉は卵心形～円心形、長さ5～20cm、幅5～18cm。葉柄の中ほどが膨れて浮囊となる。花期は6～11月。葉間から伸びる花茎の総状花序に淡紫色の花を多数つける。

<市内分布> 岩、合渡、日置江で記録がある。

<b>コゴメイ</b>	イグサ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外 総合対策外来種（重点）
<i>Juncus polyanthemus</i>		
<原産地等> 不明(国外外来種)		<変更コード> 2

<種の概要> 平野の湿地に生育する多年草。叢生し大株になり、イグサのように基部が赤紫色を帯びない。高さは40～140cmでイグサより大型。花期は6～9月。花序の枝はイグサやホソイよりも長く3～10cm程度。枝はあまり反曲しない。花はイグサより顕著に多い。蒴果は2～2.5mm程度、楕円形で花被片と同長か少し長い。

<市内分布> 日置江で記録がある。

<b>ハナヌカススキ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外
<i>Aira elegantissima</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)		<変更コード> 2

<種の概要> 路傍や空き地に生育する一年草。稈は直立し、高さ10～40cm。葉身は長さ3～10cm、幅0.3～0.6mm。葉舌は高さ3～4mm。先がとがり目立つ。花期は5～7月。複合花序は長さ5～11cm。枝は糸状で多数の枝を分け、枝全体に多くの小穂をつける。小穂は長さ1.5～2.2mm、柄の長さ小穂の2～5倍。包穎は同長。第一小花には芒がなく、第二小花のみ護穎の背面からよじれた芒が伸び出る。

<市内分布> 金華、合渡、城西、長良東、島、日置江、日野で記録がある。

<b>ノハラスズメノテッポウ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外
<i>Alopecurus aequalis</i> var. <i>aequalis</i>		
<原産地等> 不明(国外外来種)		<変更コード> 2

<種の概要> やや乾いた土地に生育する一年草。稈は斜上から直立し、高さ20～40cm。葉身は長さ5～15cm、幅2～5mm。葉舌は高さ2～5mmで目立つ。花期は4～5月。複合花序は長さ4～6cmで、小穂を密生する。小穂は長さ2～2.7mm。護穎に芒があるが、小穂の先からあまり伸び出ず目立たない。

<市内分布> 金華、合渡、長良東、島で記録がある。

<b>ハルガヤ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外 総合対策外来種（その他）
<i>Anthoxanthum odoratum</i>		
<原産地等> ユーラシア(国外外来種)		<変更コード> 2

<種の概要> 草地に生育する多年草。稈は直立し、高さ20～80cm。葉身は長さ3～10cm、幅2～5mm。葉舌は高さ2～4mm。花期は5～7月。複合花序は枝が短く穂状にみえ、長さ4～10cm。小穂は長さ7～10mm。第一小花と第二小花は護穎のみに退化し、先はやや深く2裂し鈍頭、芒がある。第三小花のみ稔性小花で、花柱は長く小穂の外に伸び出る。

<市内分布> 合渡、城西、長良東、島、日置江で記録がある。

<b>オオニワホコリ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Eragrostis pilosa</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 水田の畔などやや湿った場所に生育する一年草。稈は硬く細く束生し、高さ30～70cm。葉は長さ7～20cm、幅2～4mm。葉舌は微細な短毛の列。円錐花序は狭卵形で長さ10～30cm、先はやや傾き、枝や小枝の上半分に小穂をまばらにつける。小穂は長さ3～5mm、5～10小花からなり、灰緑色で一部紅紫色に染まる。

<市内分布> 金華、合渡、長良東、島、日置江、柳津で記録がある。

<b>オオクサキビ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種（その他）
<i>Panicum dichotomiflorum</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 傍道端、荒地、河川敷に生育する一年草。稈は太くて束生し、高さ40～100cm。葉は長さ20～40cm、幅8～15mm。葉鞘は平滑で時に紅紫色を帯びる。葉舌は低く、縁に1列の毛が生える。花期は8～10月。花序は長さ幅とも12～25cm、枝は斜上し、その上半部に小穂をつける。小穂は有柄で枝に寄り添い、長さ2.5mm。淡緑色～黒紫色。

<市内分布> 金華、合渡、三輪南、三輪北、城西、長良東、島、日置江、日野、方県、網代で記録がある。

<b>ツルスズメノカタビラ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外
<i>Poa annua</i> var. <i>reptans</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)	<変更コード>	2

<種の概要> 平地、畑、人家周辺に生育する一年草～越年草。スズメノカタビラの変種で稈の基部が寝て、節から発根する型で全体が淡緑色。葉身は線形で長さ2～10cm、幅1.5～4mm、中央脈に沿って軽く二つに折れ、先はボート形。葉舌は高さ2～5mmで目立つ。花期は3～11月。複合花序は直立し、枝にわずかな上向きの刺毛がある。小穂は3～5小花からなり、長さ3.5～5mm。  
<市内分布> 金華、合渡、城西、長良東、島、日置江で記録がある。

<b>ナガハグサ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Poa pratensis</i>		
<原産地等> ユーラシア(国外外来種)	<変更コード>	-

<種の概要> 明るい草地に生育する多年草。細長い根茎がある。稈は束生し、直立、高さ30～80cm。葉は10～30cm、幅2～4mm、葉先は急に狭くボート型。葉舌は切形で高さ0.5～1.2mm。花期は5～7月。花序は長さ8～15cm、幅4～9cm、枝は各節から2～6本出て、それぞれ数個以上の小穂をつける。小穂は長さ4～6mmで2～5小花がある。  
<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、金華、厚見、長森南、長良東、白山で記録がある。

<b>オオスズメノカタビラ</b>	イネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外
<i>Poa trivialis</i>		
<原産地等> ユーラシア(国外外来種)	<変更コード>	2

<種の概要> 道端、草地などに生育する多年草。りん片におおわれた匍匐茎を伸ばして増える。稈は寝た基部から立ち上がり、高さ40～100cm。葉身は線形で長さ10～20cm、幅2～5mm、先はしばしばボート状になる。葉舌は高さ3～8mmで目立つ。花期は5～7月。複合花序は長さ10～20cm、枝はざらつく。小穂はふつう2小花からなり、時に3小花、長さ2.8～4.2mm。護穎は明瞭な中脈をもつ。内穎竜骨はほぼ平滑。  
<市内分布> 金華、合渡、城西、長良東、島、日置江で記録がある。

<b>ナガミヒナゲシ</b>	ケシ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Papaver dubium</i>		
<原産地等> 地中海沿岸(国外外来種)	<変更コード>	-

<種の概要> 市街地の空き地に生育する一年草～越年草。茎は直立し、高さ10～60cm。茎や葉には開出毛や伏毛がやや密生して生える。葉は1～2回羽状深裂し、茎葉では基部の裂片が大きくなり3出状。花期は4～5月。枝の先端に単生し、径約5cmの朱赤色の花をつける。花弁は十字対生し4枚。  
<市内分布> 茜部、加納西・東、華陽、金華、厚見、長森南、長良東、白山で記録がある。

<b>オオフサモ</b>	アリノトウグサ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 特定外来生物、総合対策外来種(緊急)
<i>Myriophyllum aquaticum</i>		
<原産地等> ブラジル(国外外来種)	<変更コード>	-

<種の概要> 湖沼、ため池、河川、水路に生育する多年生の抽水植物。雌雄異株で、日本には雌株のみ帰化。茎は径5mm前後と太く、水中を横走しながら分枝する。葉は5～6輪生。沈水葉は繊細で、長さ6cmに達する。気中葉は1.5～4.5cm、羽状に細裂し、粉を吹いたような緑白色で柔らかい。花期は6月。気中葉の腋につく。  
<市内分布> 黒野、合渡、常磐で記録がある。

<b>ハリエンジュ</b>	マメ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 産業管理外来種
<i>Robinia pseudoacacia</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)	<変更コード>	-

<種の概要> 荒地、土手などに生育する落葉性の高木。樹高は25mに達する。葉は奇数羽状複葉で、5～10対の側小葉があり、托葉は刺となっている。小葉は狭卵形～楕円形、長さ2.5～5cm、両面に伏した短毛がある。花期は4～6月。枝に総状花序を垂らし、芳香のある白色の花を多数つける。豆果は広線形、長さ5～10cm、幅1.5～1.8mm。  
<市内分布> 茜部、芥見、加納東、金華、厚見、合渡、三里、三輪南、市橋、長良、長良東、日野、鶉で記録がある。

## クスダマツメクサ

マメ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Trifolium campestre*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 市街地の空き地に生育する一年草。茎は直立または匍匐し、長さ5～30cm。葉は3小葉からなり、小葉は倒卵形、長さ8～15mm、幅5～8mm、中部より先に鋸歯がある。花期は6～8月。花序は卵円形で長さ1.5cm、径8～13mm、普通20花以上つける。花弁は鮮黄色で後褐色、長さ3.5～6mm。

<市内分布> 加納西、加納東、長良東、日置江で記録がある。

## ムラサキツメクサ

マメ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Trifolium pratense*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 平地から山地までの畑地、道端、法面など日あたりの良い場所に生育する多年草。茎は直立または斜上し高さ30～60cm、開出した褐色の軟毛がある。葉は3小葉からなり、小葉は楕円形～卵形、長さ2～3.5cm、多くは表面に緑白色の斑がある。花期は4～9月。総状花序には淡紅色の30～70花がつき、頭状花序のように見える。

<市内分布> 岩、金華、合渡、長良、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、藍川で記録がある。

## トキワサンザシ

バラ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Pyracantha coccinea*

<原産地等> 西アジア(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 庭や公園などに植栽される常緑小高木。樹高は7mになる。葉は狭卵形～倒披針形で長さ3～4.5cm、幅0.8～2.5cm、円鋸歯縁。花期は5～6月。枝先に出る散房花序に直径1cm未満の白い花を多数つける。果実は赤熟する。

<市内分布> 金華、合渡、長良、長良東、島、柳津、藍川で記録がある。

## ナンバンカラムシ

イラクサ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Boehmeria nivea* var. *nivea*

<原産地等> 中国中南部(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 道端や荒地に生育する多年草。高さ2mにもなる。茎、葉柄、葉の裏面脈状に開出する粗い毛が目立つ。葉は互生、葉身は卵円形、先は急に細くなって尾状、裏面に白色の綿毛を密生する。花期は7～9月。花序は小さい円錐形で葉腋につき、上方に雌花序、下方に雄花序がある。別名：ラミー。

<市内分布> 合渡、三輪南、城西、長良東、島、日置江で記録がある。

## イモカタバミ

カタバミ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Oxalis articulata*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 空き地や道端に生育する多年草。塊茎は球形で径3cmになり、鱗片葉の跡が多数らせん形につく。葉は叢生し、大きな株となる。葉は3小葉からなり、小葉は長さ幅共に1.5～4cm。裏面に淡黄赤色の小斑点が散在。花期は4～10月。花は5数性。花弁は淡紅色で濃紅色の筋がある。

<市内分布> 茜部、厚見、長良東、日置江、柳津で記録がある。

## ムラサキカタバミ

カタバミ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Oxalis debilis* subsp. *corymbosa*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 空き地、畑、道端に生育する多年草。鱗茎は褐色の鱗片に包まれ、卵形で径20～25mm。鱗茎から長い柄のある3小葉の葉をつける。小葉は心臓形で長さ幅とも1.5～4cm、両面有毛で、裏面辺縁に淡黄赤色の小斑点がある。花期は2～11月。葉柄より少し長い花茎の先端に1～15個の淡紅紫色の花をつける。

<市内分布> 加納西・東、金華、厚見、合渡、城西、長森南、長良東、日野で記録がある。



<b>ハイニシキソウ</b>	トウダイグサ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Chamaesyce prostrata</i>		
<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 道端や芝生に生育する一年草。茎は地上を這い、全体的に分枝し長さ6.5～20cm、上面に短軟毛があり下面は無毛。葉は対生し楕円形、長さ3.2～8mm、幅1.8～4.5mm。花期は9～10月。杯状花序は葉の節に1つずつ生じる。蒴果は広卵形、長さ約1.2cm、3稜に白い微細剛毛がある。		
<市内分布> 金華、市橋、長森南、長良東、日野、方県で記録がある。		

<b>ミナトマツヨイグサ</b>	アカバナ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Oenothera indecora</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 海岸、砂地、空き地、草地などに生育する一年草。ロゼットをつくり直立し、高さ20～40cmになる。茎には短軟毛や腺毛が密にあり、時に長軟毛もある。茎葉は線状楕円形～披針形、長さ5～7cm。花期は5～9月。茎の上部の葉腋につき、花弁は黄色、広楕円形～広倒卵形で長さ0.4～1cm。		
<市内分布> 鏡島、合渡、長良東で記録がある。		

<b>アレチマツヨイグサ</b>	アカバナ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Oenothera parviflora</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 海岸、空き地、河原などに生育する二年草。ロゼットをつくり直立し、高さ0.3～1.5mになる。茎には剛毛、腺毛、基部が膨らんだ毛がある。茎葉は披針形～狭楕円形、長さ4～18cm、幅1～3cm。花期は7～9月。穂状花序につき、花弁は黄色でしばむと橙色～汚黄色となり、長さ0.8～2cm。子房には剛毛、長軟毛、基部が膨らむ毛や腺毛がある。		
<市内分布> 金華、合渡、長良、長良東、日置江、日野、方県で記録がある。		

<b>マツヨイグサ</b>	アカバナ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Oenothera stricta</i>		
<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 道端や河原に生育する一年草～二年草。茎は直立または平伏し高さ0.3～1.5m。茎には剛毛と長軟毛があり、花序を除き腺毛も混ざる。茎葉は狭楕円形～披針形、長さ6～10cm、幅0.6～1.2cm。花期は5～11月。花は茎上部の葉腋につき、夕暮れに開花する。花弁は黄色、基部に赤斑が1つあり、しばむと赤橙色。		
<市内分布> 金華、合渡、城西、長良東、島、日置江、日野で記録がある。		

<b>トウカエデ</b>	ムクロジ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Acer buergerianum</i>		
<原産地等> 中国(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 街路樹などとして植栽される落葉高木。樹高15mに達する。葉は対生で、有花枝に1対、無花枝に1～5対つく。葉身は倒卵形で長さ3～8cm、幅2～5cm、掌状の3脈があり3浅裂する。葉柄は長さ2～6cm。花期は4月。花序は複総状で有花枝に頂生し、約20花をつけ、全体に白毛を密生する。分果は長さ約2cm、果翼は平行ないし鋭角に開く。		
<市内分布> 加納東、厚見、長良東で記録がある。		

<b>フウセンカズラ</b>	ムクロジ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Cardiospermum halicacabum</i>		
<原産地等> 熱帯地方(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 庭などに植栽される常緑つる性の一年草～二年草。つるは他物に巻きついて上がり、長さ2～3m。葉は3出複葉で、粗い鋸歯縁。花期は7～9月。散房花序で花は白色で、径約5mm。果実は膨らんで風船状、径約3cm。		
<市内分布> 合渡、三輪北、長森南で記録がある。		

<b>ムクゲ</b>	アオイ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Hibiscus syriacus</i>		
<原産地等> 中国、インド(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 公園などに植栽され、土手などに逸出する落葉低木。樹高は2～4m。若い枝には星状毛がある。葉は互生し、花枝の葉は浅い鋸歯があり、下部の葉は浅く3裂する。脈は表裏に突出する。花期は6～10月。花は淡青紫色、白色、桃色などで基部付近に濃紅色の斑紋があり、早朝に開花し夕方しぼむ。

<市内分布> 金華で記録がある。

<b>カラシナ</b>	アブラナ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
<i>Brassica juncea</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)		<変更コード> 3

<種の概要> 耕作地、荒地、道端などに生育する一年草。茎は直立し上部で分枝し高さ30～100cm。葉は下部のものは大型で長さ30cmに達する。上部の茎葉は次第に小型になり無柄となる。花期は3～4月。花は黄色で径約1cm。花弁は4枚。果体は長さ3～6cmの長角果となり、5～15mmの細い果柄がある。別名：セイヨウカラシナ。

<市内分布> 茜部、加納東、岩、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、長良、長良東、島、日置江、日野、柳津、藍川で記録がある。

<b>セイヨウアブラナ</b>	アブラナ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Brassica napus</i>		
<原産地等> 地中海沿岸(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 河川敷などに生育する一年草～二年草。茎は粉緑白色で直立し、高さ30～150cm、上部で分枝する。葉は波状鋸歯縁で、脈上に毛を散生する。下部の葉は有柄で大型、茎葉は無柄で基部は広がって耳状となり茎を抱くが、上方の葉は茎を抱かない。花期は3～4月。花弁は鮮黄色、狭卵形で長さ10～18mm。長角果は斜上または開出し、長さ5～10cm。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、岩、金華、厚見、合渡、城西、七郷、長良東、島、日置江、日野、白山、藍川で記録がある。

<b>シャクチリソバ</b>	タデ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種(その他)
<i>Fagopyrum dibotrys</i>		
<原産地等> インド北部～中国(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 林縁や川沿いなどの半陰地に生育する多年草。地下茎は木質で太い。茎は多数出て高さ50～120cm。葉は互生し、三角状広卵形で長枝があり、葉身は長さ5～15cm、幅4～14cm。花期は7～10月。花序は葉腋から出た枝に2～4個ずつ生じ、花穂状でややまばらに白色の花をつける。

<市内分布> 金華、長森西、長森南、長森北、長良、長良東、徹明、白山、日野で記録がある。

<b>ヒメスイバ</b>	タデ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種(その他)
<i>Rumex acetosella</i> subsp. <i>pyrenaicus</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 道端や荒地、芝地に生育する多年草。高さは10～40cm。根茎は地下を横走して多く分枝する。根出葉は多数あり、基部は鈍型で左右に突起が張り出す。茎葉は上部のものほど小型。花期は4～7月。雌雄異株。花序は茎頂に生じ、円錐状、多数の微小な花をつける。花被片は6枚、帯赤色。

<市内分布> 金華、長森南、島、日野で記録がある。

<b>エゾノギンギン</b>	タデ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種(その他)
<i>Rumex obtusifolius</i>		
<原産地等> ユーラシア(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 畑地や道端に生育する多年草。茎は直立し、高さ50～130cm、中部以上で分枝する。葉は長卵形～長楕円状長卵形、長さ12～25cm、幅5～12mm、縁は著しく波状となる。花期は5～7月。茎の上部や枝の節にやや密な円錐状の花序をつける。

<市内分布> 岩、金華、合渡、三輪北、城西、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、藍川で記録がある。

## ムシトリナデシコ

ナデシコ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC  
総合対策外来種（その他）

*Silene armeria*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 荒地や河川敷などに生育する一年草～越年草。茎は高さ20～50cm、上方の2～3の節間上半部に5～15mmにわたり粘着部がある。葉は対生、楕円形～長楕円形、長さ1.5～5cm、幅0.5～1.8cm、基部は左右に張り出して茎を抱く。花期は5～8月。花序は茎頂及び枝頂に生じ、集散状で倒円錐形。多数花。花冠は紅紫色。

<市内分布> 加納東、華陽、金華、厚見、合渡、早田、長良、長良東、長良西、島、白山、日置江、日野で記録がある。

## マンテマ

ナデシコ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：ランク外  
総合対策外来種（その他）

*Silene gallica* var. *quinquevulnera*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)

<変更コード> 2

<種の概要> 道端などに生育する一年草～越年草。茎は高さ20～50cm、短毛と長毛、および腺毛がある。葉は茎の下部ではへら形、上部では線形、両面に毛があり、長さ1.5～4.5cm。花期は5～6月。花は枝の上部から総状につく。萼は長毛と腺毛があり、先は5裂し、長さ8～10mm。花弁は周辺部を除き暗赤色。花柱は3個。蒴果は卵形で先が6裂する。シロバナマンテマは花弁が白色あるいは淡紅色。

<市内分布> 金華、合渡、長良東、島、日置江で記録がある。

## ホソアオゲイトウ

ヒコ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Amaranthus hybridus*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 荒地や道端に生育する一年草。茎は直立し、高さ0.5～2m。葉は長さ2～7cmの柄があり、葉身は卵形～菱形卵形、長さ4.5～13cm、幅2～8cm、下面脈上に毛がある。花期は6～10月。花序は頂生および腋生し円錐状で緑色または紅紫色。花穂は、長さ2.5～12cm、幅0.5～1cm。果胞は長さ1.5～2mm、熟すと横に開裂する。

<市内分布> 金華、合渡、三輪北、城西、早田、長良、長良東、長良西、島、日置江、網代で記録がある。

## ノゲイトウ

ヒコ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Celosia argentea*

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 荒地や道端に生育する一年草。茎は直立し、高さ30～120cm。葉は互生し、葉身は披針形～卵形、長さ4.5～15cm、幅0.6～4.5cm。花期は6～10月。花序は茎と枝に頂生し、密な花穂状で長さ2～17cm、径12～18mm、円錐形～円柱形。花被片は5枚、白色で基部帯緑色ときに帯紅色。

<市内分布> 金華、三輪北、長良東で記録がある。

## ケイトウ

ヒコ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Celosia cristata*

<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 民家周辺の荒地や河川敷に生育する一年草。茎は高さ30～90cm。葉は互生し長楕円形、先は尖る。花期は6～9月。花序は茎と枝に頂生し、鶏冠のような形状となる。花は赤色、桃色、橙色など多様。

<市内分布> 金華、三輪北、島、日野で記録がある。

## アカザ

ヒコ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Chenopodium album* var. *centrorubrum*

<原産地等> 中国(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 荒地や原野に生育する一年草。茎は1mになり、よく分枝する。葉は互生し、菱形状の卵形、歯牙は尖る。若い葉は表面下部に赤色の粉粒を密布する。花期は8～10月。円錐状花序で、頂生か腋生。種子は円形で嘴状突起を出さない。

<市内分布> 岩、金華、合渡、鷺山、市橋、城西、常磐、長森東、長森南、長良東、島、日置江、日野、方県、網代、藍川で記録がある。

<b>コアカザ</b>	ヒコ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Chenopodium ficifolium</i>		
<原産地等> ユーラシア(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 荒地や道端に生育する一年草。茎は直立し多く分枝し、高さ20～60cm。葉は柄があり、長卵形～広披針状卵形、長さ2～5cm、幅1～3cm、3浅裂し先は鈍形。質薄く、裏面は粉白色。花期は6～8月。花は円錐状花序に密につく。		
<市内分布> 金華、合渡、長良東、島、日置江で記録がある。		

<b>オシロイバナ</b>	オシロイバナ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Mirabilis jalapa</i>		
<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 道端の空き地や河川敷に生育する多年草。分枝して枝を広げ、高さ1mになる。花期は7～10月。花は紅色、黄色、白色など様々で、夕方に開花し翌朝にしぼむ。果実は黒色で球形、硬く表面にはしわがある。		
<市内分布> 合渡、鷺山、常磐、長森南、日野、柳津で記録がある。		

<b>クルマバザクロソウ</b>	ザクロソウ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Mollugo verticillata</i>		
<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 畑、空き地、砂地に生育する一年草。茎はよく分枝し、斜上または匍匐して広がり、長さ35cmになる。葉は4～7枚輪生し、葉身は倒披針形、長さ12～25mm、1脈がある。花期は7～10月。葉腋に白色の花を数個ずつ束生する。花弁は無い。		
<市内分布> 金華、合渡、長良東、島、日置江、日野で記録がある。		

<b>オオフトバムグラ</b>	アカネ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種(その他)
<i>Diodia teres</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 海岸や河原の砂地に生育する一年草。茎は地上を匍匐または斜上し、長さ10～50cm、細毛が密生する。葉は対生し、広線形～線状披針形、長さ1～3cm、幅2～4mm。花期は7～8月。葉腋に白色あるいは淡桃色の花をつける。		
<市内分布> 金華、合渡、早田、長良、長良西、長良東、島、日置江で記録がある。		

<b>アメリカネナシカズラ</b>	ヒルガオ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種(その他)
<i>Cuscuta campestris</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> つる性で一年生の寄生植物。全体黄褐色で宿主を選ばず様々な草に寄生する。茎は針金状で葉は無く、吸盤を出して宿主の茎にからみつく。遠目には、黄色い糸くずのようなものが広がっているように見える。花期は8～9月。茎にある小さな鱗片の腋に、短い集散花序を出し白色の小さな花を多数頭状につける。		
<市内分布> 金華、合渡、三輪南、三輪北、城西、長良、長良東、島、日置江で記録がある。		

<b>アサガオ</b>	ヒルガオ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Ipomoea nil</i>		
<原産地等> ヒマラヤ、インド(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 栽培するつる性の一年草。茎には下向きの毛があり1～5mになる。葉は互生しほこ型。花期は7～10月。葉腋に花序をだし、1～2花つける。花柄は長さ2～5cm、花は瑠璃色のほか多様、花冠は漏斗型で長さ5cm前後、幅10cm前後。蒴果は球形で径約1cm、3室からなる。		
<市内分布> 合渡、長良東で記録がある。その他栽培されている。		

<b>マルバアサガオ</b>	ヒルガオ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
<i>Ipomoea purpurea</i>		
<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)		<変更コード> 3

<種の概要> 道路や荒地などに生育するつる性の一年草。茎には下向きの長毛がある。葉は互生、葉柄は長さ2～10cm、短く伏した毛が生える。葉身は卵円形で長さ3～10cm、幅2.5～10cm、先は短く尖り、基部は心形。両面に短毛がやや密に生える。花期は8～9月。葉腋に花序をだし、1～5個の花を散形につける。花冠は漏斗形で、長さ4～7cm、幅5～7cm、白色、淡紅色、紅紫色、青紫色など様々。蒴果は球形、花後下向きになる。

<市内分布> 茜部、三輪北、城西、早田、長森南、島、本郷、柳津で記録がある。

<b>ホシアサガオ</b>	ヒルガオ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種(その他)
<i>Ipomoea triloba</i>		
<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 道端や草地に生育するつる性の一年草。茎(つる)は4稜あり無毛。葉は互生、葉柄は長さ1.5～6cm、花柄と共にこぶ状突起が散生する。葉身は広卵形で、全縁または浅く3裂し、長さ3～8cm、幅2.5～8cm。花期は7～9月。葉腋から長さ3～10cmの花柄を伸ばし、1～7個の花を散形につける。花冠は漏斗型で上から見ると星形。径約1.5cm。

<市内分布> 金華、合渡、城西、長良東、島、日置江、日野、方県で記録がある。

<b>ヒロハフウリンホオズキ</b>	ナス科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Physalis angulata var. angulata</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 畑や荒地に生育する一年草。高さ20～90cm。茎はほぼ四角で角に稜がある。葉は互生し卵形、長さ4～10cm、幅3～6cm、縁には少数の鋸歯がある。花期は7～9月。葉腋に1花をつける。花柄は長さ1～1.5cm、花冠は杯形で径約8mm、黄白色、花冠の奥は褐色を帯びる。液果は球形で径8～14mm。

<市内分布> 長良東で記録がある。。

<b>センナリホオズキ</b>	ナス科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Physalis angulata auct. non</i>		
<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 畑や荒地に生育する一年草。全体に毛が生え、腺毛が混じる。高さ20～90cm。茎はほぼ四角で角に稜がある。葉は互生し卵形、長さ2.5～6cm、縁には少数の鋸歯がある。花期は7～9月。葉腋に1花をつける。花柄は長さ1～1.5cm、花冠は杯形で径約10mm、黄白色、基部に紫褐色の斑がある。液果は球形で径12～15mm。

<市内分布> 金華、合渡、島で記録がある。

<b>テリミノイヌホオズキ</b>	ナス科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Solanum americanum</i>		
<原産地等> アメリカ大陸(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 畑や道端に生育する一年草。茎は角張って直立し枝分かれして高さ20～60cm、短い刺がまばらにつく。葉はやや大きく広卵形で先は尖る。花期は8～10月。茎の途中から花序をだし、花軸先端のほぼ一か所に集まって4～7花をつける。

<市内分布> 岩野田北、金華、合渡、長良東で記録がある。

<b>ワルナスビ</b>	ナス科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Solanum carolinense</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 荒地や道端に生育する多年草。茎は分枝して斜上し、高さ30～70cm、小さな星状毛があるほか、まばらに黄色の鋭い刺がある。葉は互生し、卵形～卵状長楕円形、長さ6～12cm、2～4個の大型の鋸歯があり、両面に星状毛がある。花期は6～9月。枝先に6～11cmの花序を伸ばし、5～15個の花を散房状につける。液果は橙黄色で径約1cmの球形。

<市内分布> 島、方県、本郷、網代で記録がある。

<b>トウネズミモチ</b>	モクセイ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種（重点）
<i>Ligustrum lucidum</i>		
<原産地等> 中国(国外外来種)	<変更コード> -	

<種の概要> 生垣や庭木として植栽され、逸出している常緑小高木。枝はよく分枝し、粒上の皮目がある。葉は対生で厚く卵状楕円形で大きく、先端は細長く尖る。花期は6月。長さ5～12cmほどのまばらな円錐花序で白色の花をつける。在来のネズミモチに比べ、葉・花序共に大きい。栽培個体からの逸出が見られる。

<市内分布> 金華、三里、市橋、城西、島、梅林、柳津、鶉で記録がある。

<b>ツボミオオバコ</b>	オオバコ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Plantago virginica</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)	<変更コード> -	

<種の概要> 空き地や道端に生育する一年草～二年草。全体に白い短毛があり、高さ10～30cm。葉は横に広がり、広倒披針形で長さ3～10cm、幅1～2cm、3～5脈が目立つ。花期は5～6月。花茎は根元から直立し、葉よりも長く、長さ10～50cm、細長い穂状花序をつける。花には稔性花と不稔性花がある。

<市内分布> 茜部、加納西、加納東、華陽、金華、厚見、合渡、長森南、長良東、島、日野で記録がある。

<b>オオカワヂシャ</b>	オオバコ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 特定外来生物、総合対策外来種（緊急）
<i>Veronica anagallis-aquatica</i>		
<原産地等> ユーラシア(国外外来種)	<変更コード> -	

<種の概要> 河川、水路などの水際に生育する越年草。茎は直立し、30～100cm。葉は対生し長楕円形、長さ3～7cm、幅1～2cm、基部は無柄で茎を抱く。鋸歯は微小で全縁に近い。花期は4～9月。上部の葉の腋に総状花序を伸ばし径約5mmの淡紫色の花を多数つける。

<市内分布> 岩、金華、合渡、長良東、島、日野、藍川で記録がある。

<b>コショウハッカ</b>	シソ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Mentha × piperita</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)	<変更コード> -	

<種の概要> あぜや川原などに生育する多年草。茎はよく分枝し、高さ50～80cm。葉は長楕円形で長さ2.5～3cm、幅0.8～2cm、鋭頭で鋸歯縁。花期は7～9月。花序は長い穂状となって茎や枝の先につく。仮輪は10～25個あり、互いに少し離れてつく。花冠は淡紅紫色。

<市内分布> 合渡、七郷、長良東、方県で記録がある。

<b>ヒサウチソウ</b>	ハマウツボ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外
<i>Bellardia trixago</i>		
<原産地等> 地中海沿岸(国外外来種)	<変更コード> 2	

<種の概要> 堤防や路傍に生育する一年草。茎は直立して分枝せず、高さ20～30cm。全草に軟毛と腺毛があって粘る。葉は茎の上部で対生し、無柄、線形～広披針形、数個の粗い鋸歯がある。花期は5～6月。茎の上部に短い穂状花序をつける。花冠は唇形、上唇は淡紫色、下唇は上唇より長く白色。

<市内分布> 合渡、城西、長良東、島、日置江で記録がある。

<b>キササゲ</b>	ノウゼンカズラ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Catalpa ovata</i>		
<原産地等> 中国(国外外来種)	<変更コード> -	

<種の概要> 川岸などに生育する落葉高木。樹高は10mになる。葉は広卵形でしばしば浅く3～5裂し、長さ10～25cm、幅7～20cm、分岐する太い3～5脈がある。両面脈状に短毛があり、裏面の葉柄との付け根ならびに主脈の脈腋に腺がある。花期は6～7月。花冠は淡黄色で内面に濃紫色の斑紋がある。蒴果は花序軸から多数下垂し細長く、長さ30～40cm。

<市内分布> 金華、合渡、長良東、藍川で記録がある。

**ダキバアレチハナガサ**

クマツヅラ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC*Verbena × incompta*

&lt;原産地等&gt; 南アメリカ(国外外来種)

&lt;変更コード&gt; -

<種の概要> 裸地や礫地、草地に生育する多年草。葉は対生し広線形～狭楕円形、対生する葉の基部は接する。花期は6～9月。穂状花序は花時明らかな円錐状で、長さ約5cm。花は花穂の基部から先端に向かって4～5花が同時に開き、花穂は開花に伴って伸び、果時には3cm内外。花冠は淡紫色。

<市内分布> 華陽、厚見、市橋、長森南、柳津で記録がある。

**ヒナキョウソウ**

キキョウ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：ランク外*Triodanis biflora*

&lt;原産地等&gt; 南北アメリカ(国外外来種)

&lt;変更コード&gt; 2

<種の概要> 日当たりの良い道端などに生育する一年草。茎は高さ20～40cm、分枝は基部ですることがある。葉は互生し、卵形から披針形、縁に少数の低い鋸歯があり、無柄で茎を抱かない。花期は5～7月。花は開放花と閉鎖花ある。花は葉腋に1～2個の花をつけるが、茎の中部以下ではほとんど閉鎖花。開放花は花冠が5深裂し、通常紫色だが白色や濃紫色のものもある。

<市内分布> 金華、合渡、城西、長良東、島、日置江、柳津で記録がある。

**ブタクサ**

キク科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC*Ambrosia artemisiifolia*

&lt;原産地等&gt; 北アメリカ(国外外来種)

&lt;変更コード&gt; -

<種の概要> 空き地や裸地、河川敷などに生育する一年草。茎は直立し高さ30～120cm。茎の下部の葉は対生して長い柄があるが、上部のものは互生しほとんど無柄。葉は三角状卵形で、長さ6～12cm、中肋近くまで羽状に裂け、裂片はさらに深裂する。花期は7～10月。雄性花序は枝の先に総状につき、雌性花序はその下の葉腋に2～3個つく。

<市内分布> 鏡島、金華、合渡、長良東、島、日置江、日野で記録がある。

**コバノセンダングサ**

キク科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：ランク外*Bidens bipinnata*

&lt;原産地等&gt; 北アメリカ(国外外来種)

&lt;変更コード&gt; 2

<種の概要> 空き地や路傍に生育する一年草。茎の高さは30～90cm、4稜あってほとんど無毛。葉は羽状に深裂する。花期は8～10月。頭花は径6～10mm、黄色。舌状花は1～3個あり不稔、筒状花は両性で結実する。瘦果の芒は3～4本。

<市内分布> 金華、長良東、日野で記録がある。

**コスモス**

キク科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC*Cosmos bipinnatus*

&lt;原産地等&gt; メキシコ(国外外来種)

&lt;変更コード&gt; -

<種の概要> 道端や川原に生育する一年草。茎は直立し良く分枝して高さ2mに達する。葉は2～3回羽状に細裂し、裂片は線状。花期は8～10月。茎の頂が分岐して、その先に直径約7cmの頭状花序を多数つける。舌状花は先端が3裂し、白～淡紅紫色、筒状花は黄色。瘦果は線形で長さ約1cm。

<市内分布> 金華、合渡、長森南、長良、長良東、日野で記録がある。

**ヤグルマギク**

キク科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC*Centaurea cyanus*

&lt;原産地等&gt; 地中海沿岸東部(国外外来種)

&lt;変更コード&gt; -

<種の概要> 庭などに植栽され、逸出する越年草。茎は高さ30～100cm。葉は互生し、下部の葉は幅の広い倒卵形で羽状に裂け、上部の葉は線状披針形。花期は4～6月。花は青色、紫色、桃色、白色などで、筒状花のみからなる。長い筒状花が周辺に一列に並び、中心部には筒の短い筒状花がある。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、岩、金華、厚見、長良東、日置江、日野、藍川で記録がある。

<b>アレチノギク</b> <i>Conyza bonariensis</i>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<原産地等> 南アメリカ(国外外来種)	<変更コード>	-

<種の概要> 道端、荒地に生育する一年草～越年草。茎は高さ30～60cm、開出長毛が混じった細かい軟毛を密生する。葉は両面に灰白色の軟毛が密にあり、下部の葉は倒披針形で羽状に中～深裂する。上部の葉は倒披針形～線形。花期は7～11月。頭花は径約5mm。筒状花は灰黄色、舌状花は白色～暗紫色。

<市内分布> 金華、合渡、長森南、長良、徹明、島、白山、方県、柳津で記録がある。

<b>ケナシヒメムカシヨモギ</b> <i>Erigeron pusillus</i>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外 総合対策外来種(その他)
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)	<変更コード>	2

<種の概要> 道端や荒地に生育する一年草～越年草。ヒメムカシヨモギよりも全体がやせた感じで、茎も葉もほとんど無毛。葉も細くて鋸歯は不明。花期は9～11月。頭花もヒメムカシヨモギより小さめで、総苞片は無毛、総苞片先端近くに暗紫色の斑点がある。舌状花の舌状部の長さは1mm以下。

<市内分布> 金華、合渡、城西、長良東で記録がある。

<b>コゴメギク</b> <i>Galinsoga parviflora</i>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<原産地等> 熱帯アメリカ(国外外来種)	<変更コード>	-

<種の概要> 道端や畑に生育する一年草。茎は高さ15～60cm、ハキダメギクに似るが全体的に細く葉も小さい。葉身にはまばらに伏毛があり、3脈は顕著で低い波状鋸歯がある。花期は6～10月。頭花は径約5mm、舌状花は白色、筒状花は黄色。舌状花には冠毛がなく、筒状花の冠毛は先が房状に裂ける。

<市内分布> 三輪北、長森西、長森南で記録がある。

<b>ハキダメギク</b> <i>Galinsoga quadriradiata</i>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)	<変更コード>	-

<種の概要> 畑、道端、空き地などに生育する一年草。茎は直立し、高さ15～60cm、基部で分岐し花柄と共に開出毛時に腺毛がある。葉は対生し、卵形～卵状披針形、長さ3～6cm、幅1.5～4cm、両面に毛があり、3行脈がある。花期は6～11月。頭花は径約5mm、舌状花の冠毛は芒状で花筒と同長。筒状花の冠毛は黄白色～白色。

<市内分布> 三輪北、長森西、長森南で記録がある。

<b>ウスバニチチコグサ</b> <i>Gamochaeta purpurea</i>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：ランク外
<原産地等> アメリカ(国外外来種)	<変更コード>	2

<種の概要> 道端や荒地に生育する一年草～越年草。高さ10～40cm、茎は綿毛が密に覆う。根出葉は開花時にないか、残存する。茎葉はさじ形から倒披針形、先は鈍形か鋭形、基部は次第に細くなるが葉柄はなく、表面は綿毛がやや薄くあり、裏面には綿毛が密生、長さ2～5cm、幅3～8mm。花期は5～7月。頭花は頭状に集まり、それらが茎の上部にコンパクトに穂状に並ぶ。花冠の先端部は紫色。瘦果は淡褐色。

<市内分布> 金華、合渡、城西、長良東、島、日野で記録がある。

<b>キクイモ</b> <i>Helianthus tuberosus</i>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<原産地等> アメリカ大陸(国外外来種)	<変更コード>	-

<種の概要> 空き地や土手などに生育する多年草。茎は高さ1～3m、上部で分枝し、開出または下向きの剛毛がありざらつく。葉は卵状披針形、中脈を含め3脈が目立つ。裏面は毛が密にあり、無柄の腺点が多い。花期は8～11月。外観はヒマワリに似て、舌状花は黄色。根の先に塊茎ができ、カライモと呼ばれ味噌漬けにして食する。

<市内分布> 金華、三輪北、城西、長良東、島、日置江、日野、方県、網代で記録がある。



<b>フランスギク</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種（その他）
<i>Leucanthemum vulgare</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 道端や空き地に生育する多年草。茎は高さ30～50cm。葉は倒卵形～倒披針形で長い柄があり、両面共に無毛。花期は6～7月。頭花は径約5cmになり枝頂に単生する。舌状花は白色。冠毛は合着して皿状の突起となる。瘦果は黒色。

<市内分布> 茜部、加納東、金華、厚見、三輪北、長良東、日置江で記録がある。

<b>ノボロギク</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Senecio vulgaris</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 道端や畑の畔などに生育する越年草。茎は高さ20～40cmになり、葉をまばらにつける。葉は広線形～倒披針形、長さ2～10cm、幅0.5～4cm、不規則に羽状に裂ける。花期はほぼ通年。頭花は茎頂の葉腋から出る枝の先につく。花は筒状花のみからなる。花冠は黄色、冠毛は白色。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、金華、厚見、合渡、城西、長良東、白山、日置江、柳津で記録がある。

<b>オオアワダチソウ</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種（重点）
<i>Solidago gigantea</i> subsp. <i>serotina</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 原野、道端、空き地に生育する多年草。長い地下茎を伸ばし、栄養繁殖する。茎は高さ50～150mm。葉は線状楕円形で長さ10～15cm、幅1.5～2cm、上半部には鋸歯がある。花期は7～9月。花序は円錐花序、枝はまばらで、頭花は径6～7mm、筒状花、舌状花共に黄色、瘦果は稜のある円柱形、冠毛は長さ約3.5mm。

<市内分布> 合渡で記録がある。

<b>ホウキギク</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Aster subulatus</i> var. <i>subulatus</i>		
<原産地等> 北アメリカ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> やや湿った道端、空き地、埋め立て地に生育する一年草～越年草。茎は高さ50～120cm。葉は線形、長さ6～10cm、幅3～6mm、不明瞭な鋸歯縁。花期は9～10月。花序の枝は30～50度で斜上する。頭花は径4～5mm、筒状花は黄色、舌状花は白色～淡桃色、舌状部はごく短い。瘦果は稜のある円柱形、冠毛は淡紅色。

<市内分布> 茜部、金華、合渡、三里、市橋、城西、長良、長良東、島、日置江、柳津、鶉で記録がある。

<b>アカミタンポポ</b>	キク科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC 総合対策外来種（重点）
<i>Taraxacum laevigatum</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 道端や空き地に生育する多年草。花茎の高さは花時で10～25cm。葉は長さ3～25cm、幅0.5～6cm、中肋近くまで不規則に羽状に深裂し、裂片は三角形～狭三角形で、先は下方を向く。花期はほぼ通年。頭花は黄色で径2～3cm。総苞外片はつぼみの時以外反転する。瘦果は長さ3mm内外、暗赤色、冠毛は白色。

<市内分布> 金華、日置江、日野で記録がある。

<b>ノヂシャ</b>	スイカズラ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
<i>Valerianella locusta</i>		
<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種)		<変更コード> -

<種の概要> 湿った草地に生育する一年草～二年草。茎は4稜形で稜に白毛があり、高さ40cmに達する。葉は対生し、長楕円形で長さ1.5～9.5cm、幅0.5～3cm、下部の葉は有柄、上部の葉は無柄。花期は4～6月。枝先に集散花序をつけ、花冠は淡青色、裂片は不同に5裂し長楕円形、平開し径1.5mm。

<市内分布> 加納西、加納東、金華、厚見、合渡、三輪北、城西、長森南、長良東、島、日置江で記録がある。

## マツバゼリ

セリ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Cyclosporum leptophyllum*

<原産地等> エジプト(国外外来種)

<変更コード> -

<種の概要> 空き地、道端などに生育する一年草。茎は高さ15～70cm。葉は互生し、2～4回羽状に細裂し、上部の葉の裂片は糸状。花期は4～9月。葉と対生する位置に小さい複散形花序をつける。花弁は5個で白色。果実は広卵形～球形、径約1.5mm。分果には5脈あり、脈は隆起する。

<市内分布> 合渡、長良東、日置江、日野で記録がある。

## (2) 哺乳類

岐阜市内で生息記録がある哺乳類は35種であり、今回は、そのうちの8種（22.9％）を選定しました。

カテゴリー別にみると、侵入ランク A はハツカネズミ、ドブネズミ、クマネズミなど7種、侵入ランク B はクリハラリス、侵入ランク C に該当する種はいませんでした。

岐阜市版ブルーリスト2023に新たに掲載された種は、ハツカネズミ、ドブネズミ、クマネズミの3種でした。これら3種は、今までの調査でも岐阜市での生息が確認されていた種ですが、広域での分布拡大・定着を確認されたことから選定されました。

ブルーリスト掲載種のうち、外来生物法（環境省,2005）にて指定される特定外来生物は、ヌートリア、クリハラリス、アライグマの3種であり、特にアライグマは市内に広く定着しています。

和名及び学名、各カテゴリー内での配列は「世界哺乳類標準和名目録」（川田ほか，2018）に準拠しました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（哺乳類）

カテゴリー区分	種名	種数
侵入ランク A	ハツカネズミ、ドブネズミ、クマネズミ、ヌートリア、アライグマ、ハクビシン、シベリアイタチ	7種
侵入ランク B	クリハラリス	1種
侵入ランク C	該当なし	－
合計		8種

## ハツカネズミ

ネズミ科

*Mus musculus*

<原産地等> 不明 <変更コード> 1

<種の概要> 頭胴長57~91mm、尾長42~80mm、後足長13~14mm、体重9~23g。小型のネズミ類で、体色は背面が茶色、腹面が白色。家屋、水田、畑、河川敷などに生息し、野草、野菜、昆虫類などを食べる。周年にわたり繁殖する。

<市内分布> 市橋、岩野田、合渡、西郷、常盤、長森西、長良、長良東で記録がある。

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： -  
総合対策外来生種（重点）



撮影：梶浦敬一

## ドブネズミ

ネズミ科

*Rattus norvegicus*

<原産地等> シベリア南東部、中国北部と考えられている <変更コード> 1

<種の概要> 頭胴長110~280mm、尾長175~220mm、後足長27~42mm、体重40~500g。ゴミ捨て場、地下街など湿った場所を好み、よく泳ぐ。主に動物性のものを食べる。

<市内分布> 金華、長良、長良東で記録がある。

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： -  
総合対策外来生種（重点）



撮影：梶浦敬一

## クマネズミ

ネズミ科

*Rattus rattus*

<原産地等> 東南アジア <変更コード> 1

<種の概要> 頭胴長150~240mm、尾長150~260mm、後足長22~35mm、体重150~200g。ビルや天井裏などの乾燥した高所を好む。主に種実類を食べる。

<市内分布> 藍川、岩、京町、長良、長良東、日野、本郷で記録がある。

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： -  
総合対策外来生種（緊急）



撮影：梶浦敬一

## ヌートリア

ヌートリア科

*Myocastor coypus*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 頭胴長68~70cm、尾長39cm、後足長13cm、体重7kg。大きなドブネズミのような体つきで、目や耳は小さく尾は円筒状。後足の第1指から第4指の間に水掻きがある。年2~3回出産し平均5頭、仔は6~7ヶ月で成熟する。

<市内分布> 市内の丘陵地を除く広い範囲で記録がある。

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A  
特定外来生物、総合対策外来種（緊急）



撮影：梶浦敬一

## アライグマ

アライグマ科

*Procyon lotor*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 頭胴長50~60cm、尾長30~40cm、体重6~7kg。体毛は灰白色の毛で、目の周囲にははっきりした黒いマスク模様があり、尾には黒の輪模様がある。雑食性で、果実、昆虫、魚、養鶏場の鶏なども食べる。

<市内分布> 市内の市街地と丘陵地の広い範囲で記録がある。

<特記事項> 1962年に犬山市の研究施設から逃げだし、可児市では捕獲後に家庭で飼育・放逐した経緯がある。

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A  
特定外来生物、総合対策外来種（緊急）



撮影：梶浦敬一

## ハクビシン

ジャコウネコ科

*Paguma larvata*

<原産地等> 中国大陸ほか(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 頭胴長60~66cm、尾長40cm、体重3kg程度。体色は灰褐色で、顔面と四肢の下部は黒褐色。額下部から鼻鏡部中央に白線が入り他種と容易に区別できるとされているが、アナグマと混同されることがきわめて多い。耳介は大きく目立つ。金華山の頂上付近から市内の住宅地まで生息しており、木登りが得意で、電線を渡って移動することができ、よく樹上生活を行う。食性の幅は広くネズミ類、カエル類、昆虫類のほかイチゴやブドウなど果実も食べる。

<市内分布> 市内の広い範囲で記録がある。

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A  
総合対策外来種（重点）



撮影：梶浦敬一

## シベリアイタチ

イタチ科

*Mustela sibirica*

<原産地等> アジア大陸、ヨーロッパ東部(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 頭胴長は雌雄で異なるが、おおむね25~39cm、尾長13~21cm、体重360~820g。頭胴長に対して尾長の長さが半分以上。全体がやや褐色がかつた山吹色をしているが、やや汚れて黒く見えることが多い。額の中央部から鼻鏡部にかけて濃褐色の斑紋がある。ネズミ類、鳥類、甲殻類、魚といった動物食のほか、果実なども食べる。

<市内分布> 長森、京町、正木、長良、黒野、常盤、三田洞で記録がある。

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A



撮影：梶浦敬一

## クリハラリス

リス科

*Callosciurus erythraeus*

<原産地等> 中国からマレー半島(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> <種の概要> 頭胴長20~22cm、尾長17~20cm、体重360g程度。背面は黒と黄土色の霜降り、腹面は淡い黄土色である。樹木の種子、栗、イチジク、柿、葉、樹皮を菜食する。木の枝の間に小枝を集めて丸い巣を作る。年1回、1~3頭の仔を出産する。別名：タイワンリス。

<市内分布> 金華山一帯や舟伏山、三峰山、雛倉で記録がある。

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B  
特定外来生物、総合対策外来種（緊急）



撮影：梶浦敬一

### (3) 鳥類

岐阜市内で生息記録がある鳥類は254種であり、今回は、そのうちの4種（1.6%）を選定しました。

カテゴリー別にみると、侵入ランクAはコジュケイ、カワラバト（ドバト）、侵入ランクCはガビチョウ、ソウシチョウ、侵入ランクBに該当する種はありませんでした。

岐阜市版ブルーリスト2023に新たに掲載された種は、ガビチョウ1種でした。ガビチョウは2015年以降の調査で新たに侵入が確認された種です。

ブルーリスト掲載種のうち、外来生物法（環境省,2005）にて指定される特定外来生物は、ガビチョウとソウシチョウの2種であり、2種ともに未定着です。

和名及び学名、各カテゴリー内での配列は「日本産鳥類目録 第7版」（日本鳥学会編，2012）に準拠しました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（鳥類）

カテゴリー区分	種名	種数
侵入ランクA	コジュケイ、カワラバト（ドバト）	2種
侵入ランクB	該当なし	—
侵入ランクC	ガビチョウ、ソウシチョウ	2種
合計		4種

## コジユケイ

キジ科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A

*Bambusicola thoracicus*

<原産地等> 中国南部(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 大正年代に放鳥された個体が自然繁殖し、また、狩猟鳥として放鳥された個体が分布を広げ、平地から山林にかけて生息するようになった。数羽の群れで生活しているが、下藪の中に隠れていることが多く、鳴き声でその存在を知る。

<市内分布> 市北部の山林に広く分布する。特に百々ヶ峰一帯では普通に生息し、繁殖している。市内における個体数の大きな変動は見受けられない。



撮影：大塚之稔

## カワラバト（ドバト）

ハト科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A

*Columba livia*

<原産地等> ヨーロッパ、中央アジア、北アフリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> カワラバトの家禽化したもので日本では平安時代から記録がある。江戸時代に呼ばれた堂鳩が訛ってドバトと呼ばれるようになったと言われている。式典での放鳥やレースバトが野生化したものも多く、原種と異なる色彩を持ったものもいる。

<市内分布> 山林を除いてほぼ市内全域で見られる。市街地の公園でも普通である。あまりにもごく普通に見られるため、確認地点を記録されることが少ない。



撮影：大塚之稔

## ガビチョウ

メチドリ科

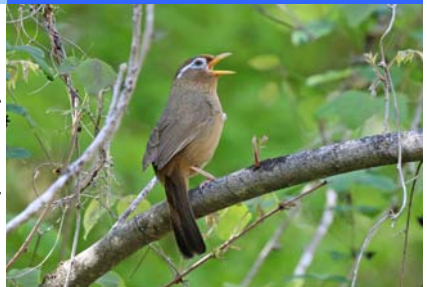
岐阜市2023：侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）：-  
特定外来生物、総合対策外来種（重点）

*Garrulax canorus*

<原産地等> 中国、台湾、ラオス、ベトナム（国外外来種） <変更コード> 2

<種の概要> 愛玩用の飼育個体が逃げ出し、野生下で繁殖を始めている。渡りをせず、多雪地では定着できないようだが、平野部で分布を広げている。大きな声で囀り、その声で存在に気がつくが、藪の中において姿はあまり現さない。

<市内分布> 2019年に市内で初めて囀りが記録され、2020年には繁殖期に観察されたが、繁殖には至っていないようだ。今のところ分布が拡大している傾向はない。



撮影：大塚之稔

## ソウシチョウ

メチドリ科

岐阜市2023：侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク C  
特定外来生物、総合対策外来種（重点）

*Leiothrix lutea*

<原産地等> 東アジア、東南アジア(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 標高500～1,000mのササ原で繁殖し、冬は低い山の林に移動する。登山者によって餌付けされていることもある。美しい色彩と大きな声で囀ることから、ペットとして多く輸入された。

<市内分布> 百々ヶ峰や金華山で数羽から十羽程度が越冬しているのが観察されている。今のところ繁殖期の定着は見られない。



撮影：大塚之稔

## (4) 爬虫類

岐阜市内で生息記録（ペットの一時的な逸走と思われる発見記録を含む）がある爬虫類は、在来・外来を含め計22種であり、今回は、そのうちの9種（40.9%）を選定しました。カテゴリー別にみると、侵入ランクAはミシシippアカミミガメ、ニホンヤモリ、侵入ランクBはカミツキガメ、侵入ランクCはワニガメ、カブトニオイガメなど6種でした。

クサガメとニホンヤモリは、長らく在来種と考えられてきましたが、近年、外来種の可能性が高いとの研究報告がなされています。クサガメは、今回のブルーリストには挙げませんでした。前回の岐阜市版レッドリスト2015（情報不足として）に掲載されていたため、今回のレッドリストの評価対象からは除外しました。

クサガメは、江戸時代に大陸から持ち込まれた個体が野外に広がった可能性があると考えられています。それ以降も、ペットとして養殖された輸入個体が放出や逸走により野外で定着していることはおそらく間違いのないでしょう。クサガメは国外外来種である可能性は高いものの、日本（もしくは岐阜県）に元々いなかったかどうかは一部議論が残っていることから、今回のブルーリストの評価対象からは除外しました。ただし、国外外来種であるとすれば侵入ランクAとなります。クサガメの外来性の議論とは別に岐阜市内にはニホンイシガメしかいなかった可能性の高い地域があるため、少なくともそういった場所ではクサガメの駆除対応が必要です。

カミツキガメについては、以前から野外での発見・捕獲例が散見されていましたが、これまで繁殖を示す証拠は見つかっていませんでした。しかし、孵化後すぐと思われる幼体が産卵地と思われる陸上で2022年10月に見つかっており（2019年にも背甲長12cmの未成熟個体が捕獲されている）、定着していることが強く疑われます。

侵入ランクCに選定した種は、単発的な遺棄または逸走の可能性が高く、多くは岐阜県警察の各所轄署で拾得物件として扱われたものです。特にギリシャリクガメとレッドテグーについては、早い段階で所有者が見つかり返還されており、明らかなペットの一時的な逸走事例です。ミシシippアカミミガメやカミツキガメ等の定着も、当初は遺棄や逸走に端を発しており、外来種拡大への原点情報として、一時的な逸走事例と思われるものも記録を兼ねてあえて区別なく扱うこととしました。侵入ランクCの選定種の中でも、ワニガメとカブトニオイガメは全国的には野外発見例が散見されるため、特に注意が必要です。

和名及び学名、各カテゴリー内での配列は、「日本産爬虫両生類標準和名リスト（2022年7月19日版）」（日本爬虫両棲類学会，2022）と「飼育動物検索」（日本動物園水族館協会）を参考にしました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（爬虫類）

カテゴリー区分	種名	種数
侵入ランクA	ミシシippアカミミガメ、ニホンヤモリ	2種
侵入ランクB	カミツキガメ	1種
侵入ランクC	ワニガメ、カブトニオイガメ、ケヅメリクガメ、ヨツユビリクガメ、ギリシャリクガメ、レッドテグー	6種
合計		9種



## ミシシippアカミガメ

ヌマガメ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A  
総合対策外来生物（緊急）

*Trachemys scripta elegans*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 雌は背甲長22～27 cm、雄は18～21 cmまで成長し、雌は雄よりも大型になる。耳の上に朱色の斑紋があり、特に幼体時は甲羅や体色が緑と黄色で鮮やかな模様がある。雄は成長に伴い、前肢の爪が長く伸びる。高齢の雄の甲羅や体色は黒化し、アカミガメの特徴である耳上の朱色の斑紋もなくなる。配偶期は秋と春で、6～7月頃を中心に1回当たり1～23個の楕円体の卵を年数回産む。孵化幼体は、9月頃に出巣する場合と産卵巣で越冬し翌春出巣する場合があります、産卵時期に関係していると思われる。雑食性であるが、大型の個体は草食傾向が強い。

<特記事項> 海外から幼体が大量に輸入され、ミドリガメという商品名で非常に多く販売されてきた。岐阜市内を含む全国各地に定着しており、池や堀などの観賞用のバスやオコバス、水田の食用レンコンなど水生植物の食害が甚大である。外来生物法改正により、新たに「条件付特定外来生物」を指定可能になり、同法施行令でアカミガメが指定された（2023年6月1日施行）。特定外来生物として規制されることになるが、飼育者が非常に多いため、一般家庭等での飼養等や無償での譲渡し等は適用除外という条件が付される予定になっている。

<市内分布> 市の南部を中心に市内全域に生息している。近年の岐阜市の調査（2019～2020年）では、10年前の調査結果（2009～2013年）に比べて市の南部で本種の割合が非常に拡大している。



撮影：楠田哲士

## ニホンヤモリ

ヤモリ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： -

*Gekko japonicus*

<原産地等> 朝鮮半島南部、中国中東部(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 全長100～140mm、頭胴長50～73mmで尾長は頭胴長とほぼ同じである。体の背面は灰色や灰褐色であるが、体色の個体差や日内的変化が大きい。指趾が非常によく発達し、指趾裏の趾下薄板という微細毛のファンデルワールス力によって、壁面に吸着する。5～7月に1回2個の卵を産み、8月末～9月に孵化する。孵卵中の温度が28℃付近で雄に、それより高温と低温で雌に偏る。夜に家屋の外壁などで身近にみられるため、日本の爬虫類としては、もっともメジャーな種といえる。

<特記事項> 本種は古い時代に大陸から持ち込まれた外来種である可能性が指摘されてきた。ゲノム解析と古文書を用いた最近の研究から、約3000年前に中国から九州に渡来し、平安時代頃から人流や物流に伴い、徐々に全国へ拡大したという推定結果が報告されている。

<市内分布> 家屋を中心に市内全域に生息していると思われる。



撮影：小野ゆきな

## カミツキガメ

カミツキガメ科

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク C  
特定外来生物、総合対策外来種（緊急）

*Chelydra serpentina*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 背甲長30～50 cmになる大型種で、頭部が大きく尾が長いので、全長はその倍ほどになる。四肢や頭部は太く、背甲後部はギザギザしている。主に肉食性である。長い首を急激に伸ばして噛み付く習性があり、扱いには注意を要する。1回の産卵数は20～40個と多い。水生傾向が強い。

<特記事項> 2005年に外来生物法に基づく特定外来生物に指定され、原則飼養等が禁止され、輸入または譲渡し等と放し等も原則禁止されている。産卵数が多いため、野外で一旦繁殖し始めると増殖速度は非常に速く、アカミガメに次いで問題となりつつある地域が増えている。千葉県、東京都、静岡県などで定着しており、特に千葉県印旛沼水系では深刻な事態となっている。隣県の愛知県でも野外繁殖している。

<市内分布> 市内では少なくとも2004年、2007年、2019年（右写真）に各1匹、2020年に2匹が捕獲されている。2022年には、初めて孵化幼体が伊自良川の河川敷の畑（岐阜市下尻毛）で発見されており、繁殖している可能性がきわめて高い。カミツキガメは、岐阜市を含む県内全体で2004～2022年にほぼ毎年1～3匹が捕獲されている。



撮影：楠田哲士

## ワニガメ

カミツキガメ科

岐阜市2023：侵入ランクC

岐阜市2015（前回）：－  
定着予防外来種（その他）

*Macrochelys temminckii*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 背甲長50～80 cmになる大型種で、頭部が大きく尾が長いので、全長はその倍ほどになる。捕食方法は特徴的で、水底で口を大きく開けて待ち伏せし、口の中のミズ様のルアーを動かして魚類などをおびき寄せて捕食する。1回の産卵数は8～52個と多い。水生傾向が強い。本来の生息地のアメリカでは、絶滅危惧種（IUCNレッドリストVulnerable）に指定されている。

<特記事項> 動物愛護管理法の特定動物（人に危害を加える恐れのある危険な動物）に指定されており、飼育するには専用の飼養施設と共に許可が必要である。2020年からは愛玩目的での新たな特定動物の飼養等は禁止されている。各地の野外で発見され捕獲されているが、カミツキガメほど多くはなく、定着事例は今のところ聞かれない。ただし、2006年に東京都、2014年に千葉県、2021年に茨城県で産卵中の個体が発見されている。産卵数が多いため、一旦繁殖し始めると増殖速度は非常に速いため、着実な駆除が不可欠である。

<市内分布> 市内では少なくとも2012年と2022年に各1匹が発見され捕獲されている。岐阜市を含む県内全体で2003～2022年に計9匹が捕獲されている。2022年に捕獲された個体（右写真）は飼養保管中に産卵している。



撮影：楠田哲士

## カブトニオイガメ

ドロガメ科

岐阜市2023：侵入ランクC

岐阜市2015（前回）：－

*Kinosternon carinatu*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 背甲長10～15 cmの小型種。ニオイガメ属の中では最大種であるが、幼体の背甲長は2～3 cmほどしかなく、ペットとして幼体の人気が高い。背高の中央が高く、頭部から見ると三角形に近い。雑食性であるが、水生昆虫や貝類を好んで捕食する。水生傾向が強い。

<特記事項> 小型種で人気があり、販売されているのを見かけることも少なくない。野外での発見例も散見され、東京都、神奈川県、愛知県などでそれぞれ複数の市町村で捕獲報告例がある。日本でも冬季に屋外での越冬が可能であるため、今後定着の可能性も考えられる。

<市内分布> 市内では2021年に1匹が発見され捕獲されている（右写真）。県内では2007年に多治見市でも捕獲されているが、その後所有者が見つかり返還されている。



撮影：楠田哲士

## ケヅメリクガメ

リクガメ科

岐阜市2023：侵入ランクC

岐阜市2015（前回）：－

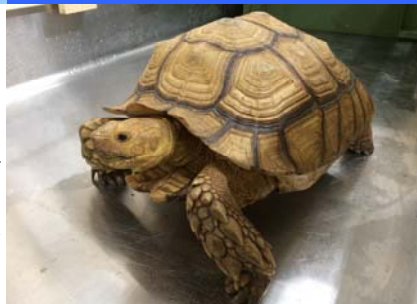
*Centrochelys sulcata*

<原産地等> アフリカ北部 <変更コード> 2

<種の概要> 背甲長50～80 cmの大型種。IUCNレッドリストVulnerable（危急）、ワシントン条約附属書Ⅱ。アフリカやアメリカからペット用に繁殖された幼体が安定して輸入され、リクガメ類の中では流通量が多い。環境変化にも比較的強いことから飼いやすい一方で、成長スピードが速く、ゾウガメ類に次いで大型になる。

<特記事項> 全国的に飼育数も多く、また大型で力が強いため、野外での飼育中に逸走される例が多いようである。リクガメが野外で繁殖しても、発見も捕獲も容易であることから、着実な対応により定着は防げる。

<市内分布> 市内では少なくとも2012年、2015年、2016年（右写真）、2022年に各1匹が発見され捕獲されている。県内では2010年に養老町でも捕獲されている。2015年と2022年の個体は所有者が見つかり返還されている。



撮影：楠田哲士

## ヨツユビリクガメ (別名：ロシアリクガメ、ホルスフィールドリクガメ)

リクガメ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：－

*Testudo horsfieldii*

<原産地等> 中東 <変更コード> 2

<種の概要> 背甲長12～22 cmの小型種。IUCNレッドリストVulnerable（危急）、ワシントン条約附属書Ⅱ。複数の亜種に分けられ、日本で流通しているものはアフガニスタンヨツユビリクガメと考えられている。多くの個体が輸入されている。本種は丈夫であることや冬眠も可能なことから比較的飼育しやすい。

<特記事項> 土に穴を掘る習性があるため、庭などで飼育していると穴を掘って脱走する可能性がある。リクガメが野外で繁殖しても、発見も捕獲も容易であることから、着実な対応により定着は防げる。

<市内分布> 市内では少なくとも2017年に1匹が発見され捕獲されている（右写真）。県内では2009年に多治見市と2017年に加茂郡白川町で各1匹が捕獲されている。



撮影：楠田哲士

## ギリシャリクガメ

リクガメ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：－

*Testudo graeca*

<原産地等> ヨーロッパ南部から中東、アフリカ北部 <変更コード> 2

<種の概要> 背甲長16～38 cm。IUCNレッドリストVulnerable（危急）、ワシントン条約附属書Ⅱ。分布域が広く、多くの亜種に分けられている。亜種により背甲の色や模様が多样である。日本にも多く輸入されている。低地から高標高地まで様々な環境に生息するため、冬眠する個体群もいる。

<特記事項> 全国的に飼育数も多いが、逸走例は稀である。リクガメが野外で繁殖しても、発見も捕獲も容易であることから、着実な対応により定着は防げる。

<市内分布> 市内では少なくとも2022年に1匹が発見され捕獲されている。（右写真）



撮影：発見者

## レッドテグー

テグーカゲ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：－

*Tupinambis rufescens*

<原産地等> 南米 <変更コード> 2

<種の概要> 全長90 cm以上になる大型のトカゲ類で、雌より雄のほうが大きくなる。ペットとしての人気が高く、現地で安定的に繁殖され、幼体が多く輸入されている。幼体時や若い個体は、黒い縞模様や斑紋が明瞭であるが、成長につれて不明瞭になり、全身レンガ色を呈するようになる。

<特記事項> 南米原産ではあるが、冬季に低温にすることで、春先の交尾を促せる飼育法が知られているため、場所によっては日本の野外でも越冬できる可能性がある。

<市内分布> 市内では少なくとも2020年に1匹が発見され捕獲されている（右写真）。その後、所有者が見つかり返還されている。



写真：岐阜新聞社提供

## (5) 両生類

岐阜市内で生息記録がある両生類は16種であり、今回は、そのうちの1種（6.3%）を選定しました。

カテゴリー別にみると、侵入ランクAはウシガエルで、侵入ランクB及びCに該当する種はありませんでした。また、岐阜市版レッドリスト2023に新たに掲載された種、及び岐阜市版レッドリスト2015から除外した種はありませんでした。

ウシガエルは、外来生物法（環境省,2005）にて指定される特定外来生物の該当し、市内に広く定着しています。

和名及び学名、各カテゴリー内での配列は、「日本産爬虫両生類標準和名リスト（2022年7月19日版）」（日本爬虫両生類学会，2022）に準拠しました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（両生類）

カテゴリー区分	種名	種数
侵入ランクA	ウシガエル	1種
侵入ランクB	該当なし	－
侵入ランクC	該当なし	－
合計		1種

## ウシガエル

アカガエル科

*Lithobates catesbeianus*

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A  
特定外来生物、総合対策外来種（重点）

<原産地等> カナダ南部から北米東部(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長は雄111～178mm、雌120～183mm。体色は褐色から緑色。大型で後肢は長く、水掻きがよく発達している。移動性にも富み、小型の若齢個体から大型のものまで、雨天時などに路上を移動しているものが発見される。繁殖期は5～9月と長く、卵数は6,000～40,000個と非常に多い。幼生で越冬するものも多い。昆虫類やザリガニ、他のカエル、魚類、水鳥の雛、ネズミなど多様な動物を捕食する。繁殖力が高く、水の汚れに強く、貪食で分布を広げる能力も高いため、在来の生物に与える影響は大きく脅威である。

<市内分布> 都市部を除く地域に広く分布する。



撮影：鈴木 彰

## (6) 魚類

岐阜市内で生息記録がある魚類は74種であり、今回は、そのうちの19種（25.7%）を選定しました。

カテゴリー別にみると、侵入ランクAはゲンゴロウブナ、カネヒラ、タイリクバラタナゴなど8種、侵入ランクBはツチフキ、ハス、カラドジョウなど4種、侵入ランクCはアリゲーターガー、ショートノーズガー、ナイルアロワナなど7種でした。魚類の外来種の主な由来は、釣り目的の放流、及びそれに混入して岐阜市内に侵入した種、飼育しきれなくなって遺棄されたと考えられる観賞魚でした。また、国内外来種が多いことも特徴として挙げられます。


岐阜市版ブルーリスト2023に新たに掲載された種は、アリゲーターガー、ショートノーズガー、ナイルアロワナ、ニジマスの4種でした。この4種は2015年以降の調査で新たに侵入が確認された種です。

ブルーリスト掲載種のうち、外来生物法（環境省,2005）にて指定される特定外来生物は、アリゲーターガー、ショートノーズガー、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバスの5種で、特にカダヤシ、ブルーギル、オオクチバスの3種は市内に広く定着しています。


和名及び学名、各カテゴリー内での配列は「日本産魚類全種リスト エクセル版 2022年11月21日 ver. 18」（本村，2022）及び「岐阜県の魚類 第二版」（向井，2019）を参考にしました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（魚類）


カテゴリー区分	種名	種数
侵入ランクA	ゲンゴロウブナ、カネヒラ、タイリクバラタナゴ、ギギ、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバス、カムルチー	8種
侵入ランクB	ツチフキ、ハス、カラドジョウ、シマヒレヨシノボリ	4種
侵入ランクC	アリゲーターガー、ショートノーズガー、ナイルアロワナ、レッドテールキャットフィッシュ、マダラロリカリア、ニジマス、グッピー	7種
	合計	19種

<b>ゲンゴロウブナ</b> <i>Carassius cuvieri</i>	コイ科	岐阜市2023： 侵入ランク A 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A
<p>&lt;原産地等&gt; 琵琶湖(国内外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 全長40cm程度。体高が高く、鰓耙数は100前後。釣りを目的として全国に放流されている。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 市街地の河川およびため池。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 在来フナ類と交雑し、遺伝的攪乱を引き起こす。また本種を目的とした釣り(ハラブナ釣り)は練りえさを多く投入するため、水質への影響が懸念される。</p>		
		


撮影：鈴木 彰

<b>カネヒラ</b> <i>Acheilognathus rhombeus</i>	コイ科	岐阜市2023： 侵入ランク A 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A
<p>&lt;原産地等&gt; 琵琶湖水系以西(国内外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 全長12cm程度。口ひげは短く、体高が高い大型のタナゴ類。繁殖期は秋で、夏の終わりごろから雄の背部は青緑色に、腹部は桃色の婚姻色が現れる。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 主に市域北中部から南部の平野部の河川に分布する。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 岐阜県では1970年代以降に確認しており移殖によるものと考えられる。</p>		
		


撮影：向井貴彦

<b>タイリクバラタナゴ</b> <i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	コイ科	岐阜市2023： 侵入ランク A 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A 総合対策外来種（重点）
<p>&lt;原産地等&gt; 中国大陸(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 全長5cm程度。口ひげは無く体高が高い。明治期以降に食用魚の種苗に混入してきたと考えられており、現在は全国に広く分布している。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 流れの緩やかな河川や水路に広く分布する。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 在来タナゴ類と競合し、悪影響を与えていると考えられる。</p>		
		

撮影：寺町 茂

<b>ギギ</b> <i>Tachysurus nudiceps</i>	ギギ科	岐阜市2023： 侵入ランク A 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A 国内 総合対策外来種（重点）
<p>&lt;原産地等&gt; 琵琶湖水系以西(国内外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 全長20cm程度。鱗が無く、ひげが4対、脂鰭がある。河川の中・下流域や湖沼に生息する。琵琶湖産アユの放流に混入して侵入したと考えられている。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 長良川および境川で確認された。</p>		
		

撮影：向井貴彦

<b>カダヤシ</b> <i>Gambusia affinis affinis</i>	カダヤシ科	岐阜市2023： 侵入ランク A 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A 特定外来生物、総合対策外来種（重点）
<p>&lt;原産地等&gt; 北アメリカ(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 雄は全長3cm程度。雌は4cm程度。在来のミナミダカに似るが、雄の臀鰭は交尾器として変形しており、雌の臀鰭も小さい。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 岐阜大学周辺および荒田川、新荒田川で特に個体数が多い。</p> <p>&lt;特記事項&gt; ミナミダカとの競合が懸念されている。</p>		
		

撮影：向井貴彦

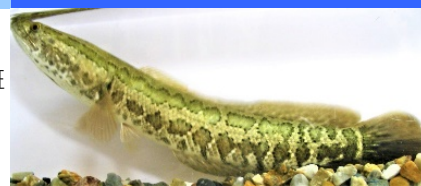
<b>ブルーギル</b>	サンフィッシュ科	岐阜市2023： 侵入ランク A 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A 特定外来生物、総合対策外来種（緊急）
<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i>		
＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
＜種の概要＞ 全長20cm程度。体高が高く、背鰭前半の棘が発達する。釣りを目的として全国に放流された。		
＜市内分布＞ 市内のため池に広く分布しており、河川では幼魚が各所で確認されている。		
＜特記事項＞ 湖沼、ため池などの止水域を好み、著しく増加することで在来生態系に大きな影響を与えている。		
		撮影：向井貴彦



<b>オオクチバス</b>	サンフィッシュ科	岐阜市2023： 侵入ランク A 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A 特定外来生物、総合対策外来種（緊急）
<i>Micropterus nigricans</i>		
＜原産地等＞ 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -		
＜種の概要＞ 全長40cm程度。口が大きく、背鰭が第一背鰭と第二背鰭に分かれている。体側に不定型な黒色斑が並ぶ。釣りを目的として全国に放流されている。		
＜市内分布＞ 市内のため池に分布し、長良川のワンドや支流河川の排水機場周辺にも多い。		
＜特記事項＞ 湖沼、ため池などの止水域を好み、小型魚類、甲殻類、水生昆虫などを捕食し、在来生態系に大きな影響を与えている。		
		撮影：向井貴彦



<b>カムルチー</b>	タイワンドジョウ科	岐阜市2023： 侵入ランク A 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A
<i>Channa argus</i>		
＜原産地等＞ 朝鮮半島(国外外来種) <変更コード> -		
＜種の概要＞ 全長80cm程度。頭部に黒色の縦条が入り、体側には丸い黒色斑が連なる。空気呼吸を行い、流れの緩やかな河川や池沼に生息する。		
＜市内分布＞ 流れの緩やかな河川に分布する。		
＜特記事項＞ 1920年代に食用のため日本に持ち込まれたのが最初とされており、現在は北海道～九州まで定着している。		
		撮影：寺町 茂




<b>ツチフキ</b>	コイ科	岐阜市2023： 侵入ランク B 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B
<i>Abbottina rivularis</i>		
＜原産地等＞ 濃尾平野以西(国内外来種) <変更コード> -		
＜種の概要＞ 全長8cm程度。類似種のカマツカやゼゼラよりも頭部や背鰭が大きく、ずんぐりした体形をしている。流れの緩やかな泥底を好み、川底の小動物などを食べる。雄親が川底に巣をつくり、卵を保護する。		
＜市内分布＞ 伊自良川水系の一部でのみ確認されている。		
＜特記事項＞ 自然分布は濃尾平野以西と考えられてきたが、遺伝的解析の結果、濃尾平野のツチフキは外来個体群の可能性が高い。		
		撮影：向井貴彦





<b>ハス</b>	コイ科	岐阜市2023： 侵入ランク B 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B 国内 総合対策外来種（重点）
<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>		
＜原産地等＞ 琵琶湖水系(国内外来種) <変更コード> -		
＜種の概要＞ 全長30cm程度。琵琶湖原産の魚食性コイ科魚類で、岐阜県には琵琶湖産アユの放流に混じって侵入したと考えられる。長良川本流に定着しているが、現在では個体数はそれほど多くない。		
＜市内分布＞ 長良川本流で捕獲記録がある。		
＜特記事項＞ 全国の河川やダム湖に侵入定着しており、魚食性であることから在来生態系への影響が危惧されている。		
		撮影：岐阜市自然環境課







<b>カラドジョウ</b>	<b>ドジョウ科</b>	<b>岐阜市2023： 侵入ランク B</b> 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B 総合対策外来種（その他）
<i>Misgurnus dabryanus</i>		
<原産地等> 中国大陸、朝鮮半島(国外外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 全長10cm程度。ドジョウに類似するが、口ひげが長く、尾柄高が高い。日本国内では古くから記録があるが、特に近年著しく分布が広がっている。		
<市内分布> 新荒田川・境川流域と板屋川で確認されている。		
<特記事項> 愛知県では条例で野外への放流が禁止されている。		
		
		撮影：向井貴彦

<b>シマヒレヨシノボリ</b>	<b>ハゼ科</b>	<b>岐阜市2023： 侵入ランク B</b> 岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B
<i>Rhinogobius tyoni</i>		
<原産地等> 瀬戸内海周辺(国内外来種) <変更コード> -		
<種の概要> 全長4cm程度。腹鰭は吸盤状。尾鰭中央部に赤色の縞模様があり、雄の尾鰭下部には赤色斑が現れる。第一背鰭は伸長しない。主に止水域に生息する。東海地方へは、コイやゲンゴロウブナの放流に混入したと考えられる。		
<市内分布> 岐阜市東部のため池にのみ分布する。		
<特記事項> 在来種のトウカイヨシノボリと交雑し、遺伝的攪乱を生じさせる。		
		
		撮影：向井貴彦

<b>アリゲーターガー</b>	<b>ガー科</b>	<b>岐阜市2023： 侵入ランク C</b> 岐阜市2015（前回）： - 特定外来生物、定着予防外来種（その他）
<i>Atractosteus spatula</i>		
<原産地等> 北アメリカ <変更コード> 2		
<種の概要> 全長2m程度。吻が短めで幅広く、顔はワニに似る。背鰭、臀鰭、尾鰭に暗褐色の斑紋がある。以前は養殖個体が安価で流通しており、茨城県から鹿児島県までの各地で大型化して飼育しきれずに遺棄されたと考えられる個体の発見例が報告されている。		
<市内分布> 岐阜市折立の新堀川排水機場で目撃事例がある。		
<特記事項> 2018年から特定外来生物に指定され、飼育が規制されている。		
		
		撮影：白井大喜

<b>ショートノーズガー</b>	<b>ガー科</b>	<b>岐阜市2023： 侵入ランク C</b> 岐阜市2015（前回）： - 特定外来生物、定着予防外来種（その他）
<i>Lepisosteus platostomus</i>		
<原産地等> 北アメリカ <変更コード> 2		
<種の概要> 全長75cm程度。吻が短く幅が広い（吻長は吻幅の10倍）。体側の斑紋は後方に少しある程度。		
<市内分布> 岐阜市芋島の境川で捕獲記録がある。		
<特記事項> 2018年から特定外来生物に指定され、飼育が規制されている。		
		
		撮影：向井貴彦

<b>ナイルアロワナ</b>	<b>アロワナ科</b>	<b>岐阜市2023： 侵入ランク C</b> 岐阜市2015（前回）： -
<i>Heterotis niloticus</i>		
<原産地等> アフリカ <変更コード> 2		
<種の概要> 全長1m程度。口はやや下向きにつき、プランクトンや小型の底生動物を捕食する。		
<市内分布> 2015年に岐阜市鏡島精華の論田川で捕獲記録がある。		
<特記事項> アロワナよりも南米のピラルクに近縁である。		
		
		撮影：向井貴彦

## レッドテールキャット

ピメロドゥス科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク C

*Phractocephalus hemiliopterus*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 全長1m程度にまで成長する。南米原産の観賞魚として流通しており、口髭は3対。背面は黒く、生きている時は尾鰭が赤い。

<市内分布> 長良川で捕獲記録がある。

<特記事項> 2008年9月に捕獲された標本が長良川漁協に展示されている。幼魚が安価で売られているが、大型化するために持て余して捨てられやすい。



撮影：向井貴彦

## マダラロリカリア

ロリカリア科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク C  
総合対策外来種（その他）

*Pterygoplichthys disjunctivus*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 全長40cm程度にまで成長する。南米原産の観賞魚として流通しており、体側部が大型の固い鱗で覆われ、吸盤状の口が下面に開き、口角部に左右1対のヒゲがある。

<市内分布> 2008年に長良川で捕獲記録がある。

<特記事項> 2008年9月に捕獲された標本が長良川漁協に展示されている。幼魚が非常に安価で売られているが、大型化するために持て余して捨てられやすい。



撮影：向井貴彦

## ニジマス

サケ科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： -  
産業管理外来種

*Oncorhynchus mykiss*

<原産地等> 北アメリカ <変更コード> 1

<種の概要> 全長50cm程度。腹部以外の全身および背鰭と尾鰭に黒点が散在し、鰓蓋から体側にかけて朱紅色の縦条がある。

<市内分布> 2016年に岐阜市藍川橋から鶴飼大橋の間の長良川で捕獲記録がある。

<特記事項> 県内の様々な水系に放流されている。長良川で捕獲された個体は、釣り大会で放流されたものと考えられる。



撮影：寺町 茂（市外撮影）

## グッピー

カダヤシ科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク C

*Poecilia reticulata*

<原産地等> 南米、西インド諸島(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 雄は全長3cm程度。雌は4cm程度。カダヤシに似るが、雄は鮮やかな色彩があり、雌はカダヤシよりも背鰭が前方に（臀鰭の直上に）あることで区別できる。

<市内分布> 戸石川で捕獲記録、タベが池で目撃事例がある。

<特記事項> 2005年に戸石川で捕獲された。安価な観賞魚であり、家庭の水槽でも繁殖させやすいために、持て余したものが野外に捨てられやすい。



撮影：古田健也

## (7) 昆虫類

岐阜市内で生息記録がある昆虫類は3,514種であり、今回は、そのうちの44種（1.3%）を選定しました。

カテゴリ別にみると、侵入ランクAはアオマツムシ、セイヨウミツバチ、イネミズゾウムシなど7種、侵入ランクBはアメリカジガバチ、カドマルカツオブシムシ、コクヌストなど15種、侵入ランクCはトガリアメトンボ、アワダチソウグンバイ、ヨコヅナサシガメなど22種でした。

岐阜市版ブルーリスト2023に新たに掲載された種は、トガリアメトンボ、ヨツモンカメノコハムシなど7種でした。

一方、岐阜市版ブルーリスト2015で掲載されていたシロテンハナムグリ、カドコブホソヒラタムシ、ノシメマダラメイガの3種は、在来種である、または岐阜市内での確実な記録がないことにより、ブルーリストから除外しました。

ブルーリスト掲載種のうち、外来生物法（環境省,2005）にて指定される特定外来生物に該当する種はありませんでした。

和名及び学名、各カテゴリ内での配列は「岐阜県昆虫目録Ⅰ～Ⅳ」（岐阜県昆虫分布研究会，2013，2014，2015，2018）と「日本産昆虫総目録」（九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター共同編，1998，1990）を参考にしました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（昆虫類）

カテゴリ区分	種名	種数
侵入ランクA	アオマツムシ、セイヨウミツバチ、イネミズゾウムシ、アルファルファタコゾウムシ、ヒトスジシマカ、モンシロチョウ、アメリカシロヒトリ	7種
侵入ランクB	アメリカジガバチ、カドマルカツオブシムシ、コクヌスト、シロオビカッコウムシ、アカアシホシカムシ、ベダリアテントウ、ガイマイゴミムシダマシ、ヒメゴミムシダマシ、コクヌストモドキ、ツシマムナクボカミキリ、ブタクサハムシ、ワタミヒゲナガゾウムシ、オオタコゾウムシ、シバツトガ、ホソオチョウ	15種
侵入ランクC	トガリアメトンボ、アワダチソウグンバイ、ヨコヅナサシガメ、ムギクビレアブラムシ、セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ、タイワンタケクマバチ、コルリアトキリゴミムシ、ヒメマダラカツオブシムシ、トビイロデオネスイ、クワイロデオキスイ、サビカクムネチビヒラタムシ、ウスバキスイ、フタトゲホソヒラタムシ、ミスジキイロテントウ、ヒメコクヌストモドキ、コメノゴミムシダマシ、ヨツモンカメノコハムシ、ヤサイゾウムシ、アメリカミズアブ、ヒロハリアオイラガ、タケノホソクロバ、オオタバコガ	22種
合計		44種

## アオマツムシ

マツムシ科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A

*Trujalia hibionis*

<原産地等> 中国大陸(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長20～25mmのコオロギの仲間。メスは体全体が緑色であるが、オスは背中を中心部分が褐色。幼虫、成虫とも樹上で生活をし、8月下旬頃から、夜になると「リーリーリー」という甲高い声で鳴く。国内には、明治31年(1898年)に中国大陸から入ってきたとされている。

<市内分布> 詳細な記録は少ないが、市内に広く分布している。

<特記事項> 岐阜県では1980年代から街路樹や庭木など身近なところにある樹木で見られるようになった。



撮影：野平照雄

## セイヨウミツバチ

ミツバチ科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A

*Apis mellifera*

<原産地等> ヨーロッパ、北アメリカなど(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長13mm程度のミツバチ。茶褐色で、腹部に縞模様がある。日本ミツバチに似ているが、腹部上部がオレンジ色であることで見分けることができる。花粉を集めるために、後脚は平たく周囲に毛が生えている。活動期は3～11月。

<市内分布> 詳細な記録は少ないが、市内に広く分布している。

<特記事項> 国内には、養蜂に利用するため北米から移入された。



撮影：野平照雄

## イネミズゾウムシ

イネゾウムシ科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A

*Lissorhoptrus oryzophilus*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長3mm程度のゾウムシの仲間。体は灰白色の鱗片で覆われ、胸部、腹部の背面には黒色の斑紋がある。幼虫、成虫ともイネ科植物を食害するため、稲の害虫として知られている。成虫は4月中旬から活動を始め、6月下旬には姿を消す。このため、5月下旬までに田植えを終える早植え水稻に被害が大きい。

<市内分布> 秋沢、奥、鏡島、金華山、達目洞、茶屋新田、長良古津、則松、正木、溝口童子、三田洞百々ヶ峰、三輪、山県北野で記録がある。

<特記事項> 国内では1976年に初めて愛知県で発見された。



撮影：野平照雄(市外撮影)

## アルファルファタコゾウムシ

ゾウムシ科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A

*Hypera postica*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長約4～6mmのゾウムシの仲間。体は淡褐色で、頭部、胸部、腹部背面の中央部は黒褐色、全身が毛状の鱗片に覆われる。成虫で越冬し、早春産卵。幼虫はレンゲなどのマメ科植物を食害して5月初旬頃から羽化する。新成虫は、6月頃から樹皮下や建物の隙間などで集団になって夏眠する。

<市内分布> 出屋敷、友利、石田、三田洞、佐野、太郎丸、柳津町佐波で記録がある。

<特記事項> 国内では1982年に初めて発見された。



撮影：野平照雄

## ヒトスジシマカ

カ科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：-

*Stegomyia albopicta*

<原産地等> 東南アジア (国外外来種) <変更コード> 1


<種の概要> 体長4.5mm程度の吸血性のカの一種で、一般に「ヤブカ」と呼ばれる。胸部背面の中央に縦筋が1本あり、足には白い斑がある。市街地の公道路に設けられている雨水枡のほか、発泡スチロールの箱や古タイヤなどの人工的な水溜が発生源となる。


<市内分布> 詳細な記録は少ないが、市内に広く分布している。


<特記事項> デング熱やジカウイルス感染症などのウイルス性疾患を媒介する。



撮影：酒井孝明(市外撮影)

<b>アメリカシロヒトリ</b> <i>Hyphantria cunea</i>	ヒトリガ科	<b>岐阜市2023：侵入ランク A</b> <b>岐阜市2015（前回）：侵入ランク A</b>
<p>&lt;原産地等&gt; 北アメリカ(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 翅を広げた大きさが30mm程度の蛾。前翅は白色で、多数の小黑斑が点在している。後翅は白色。体は赤味を帯びている。5～10月頃までに2～3回発生する。幼虫は3齢までは白い巣網の中で集団生活をしている。幼虫はサクラ、ヤナギ、コナラ、リンゴ、カキなど100種類以上の樹木の葉を食べる。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 詳細な記録は少ないが、市内に広く分布している。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 国内では1945年に初めて東京で発見された。</p>		
		
		撮影：野平照雄(市外撮影)

<b>モンシロチョウ</b> <i>Artogeia rapae crucivor</i>	シロチョウ科	<b>岐阜市2023：侵入ランク A</b> <b>岐阜市2015（前回）：-</b>
<p>&lt;原産地等&gt; ユーラシア大陸北部(国外外来種) &lt;変更コード&gt; 1</p> <p>&lt;種の概要&gt; 翅を広げた大きさが20～30mm程度の蝶。翅は白く、黒色の斑紋が前翅の表に2つ、後翅の表に1つある。キャベツやダイコンなどアブラナ科の農作物の害虫として有名である。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 詳細な記録は少ないが、市内に広く分布している。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 国内への侵入時期は明らかになっていないが、アブラナ科の農作物が持ち込まれたときに侵入したなどの諸説がある。</p>		
		
		撮影：室伏幸一

<b>アメリカジガバチ</b> <i>Sceliphron (Sceliphron) caementarium</i>	アナバチ科	<b>岐阜市2023：侵入ランク B</b> <b>岐阜市2015（前回）：侵入ランク B</b>
<p>&lt;原産地等&gt; アメリカ(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 体長が20～25mmのジガバチ。体は黒色で橙赤色の斑紋がある。斑紋出現に変化が多く、前胸背板に1対、幅胸楯板に1対出ることある。北アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリアに分布。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 木田、鏡島、鷺山、城西、則武、本郷、三田洞で記録がある。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 国内には1945年に侵入してきた。</p>		
		
		撮影：中島和典

<b>カドマルカツオブシムシ</b> <i>Dermestes haemorrhoidalis</i>	カツオブシムシ科	<b>岐阜市2023：侵入ランク B</b> <b>岐阜市2015（前回）：侵入ランク B</b>
<p>&lt;原産地等&gt; 不詳(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 体長9mm程度の小さな甲虫。体は長卵形で黒褐色。背面は黒褐色毛、腹面は黄褐色毛に覆われる。翅の末端部の会合部は角張って針状である。頭部中央部にある単眼はない。乾燥した動植物を食べているが、乾燥した肥料やペットフードから発生することもある。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 山県北野、長良川河川敷で記録がある。</p>		

<b>コクヌスト</b> <i>Tenebroides mauritanicus</i>	コクヌスト科	<b>岐阜市2023：侵入ランク B</b> <b>岐阜市2015（前回）：侵入ランク B</b>
<p>&lt;原産地等&gt; 不詳(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 体長6～10mmの甲虫。体は栗色で触角、脚、腹部は赤褐色。頭部中央部には点状のくぼみがある。翅には7条の点刻溝、その間には2列の点刻列と横皺がある。米穀の害虫として有名。世界各地に分布。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 茜部、本荘で記録がある。</p>		

<b>シロオビカッコウムシ</b>	カッコウムシ科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
-------------------	---------	--------------------------------------

*Tarsostenus univittatus*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長5mm程度の小さな甲虫。体は黒～黒褐色の細長い円筒状。翅の中央部後方には白色の横帯がある。幼虫はキクイムシなどの穿孔虫を捕食している。世界各地に分布。

<市内分布> 本荘で記録がある。

<b>アカアシホシカムシ</b>	カッコウムシ科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
------------------	---------	--------------------------------------

*Necrobia rufipes*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長6mm程度の小さな甲虫。体は黒色で、背面は光沢の強い青藍色で黒色の毛がある。触覚基部、口、脚は赤褐色～黄褐色。触覚の先端3節は膨らむ。幼虫は肉類の燻製品、魚粉、ペットフードなどの乾燥動物を食べる。全世界共通種。

<市内分布> 早田で記録がある。

<b>バダリアテントウ</b>	テントウムシ科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
-----------------	---------	--------------------------------------

*Rodolia cardinalis*

<原産地等> オーストラリア(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 4mm弱の小さなテントウムシ。翅は黄白色の微毛でおおわれた橙赤色で、会合部は黒く中央部で広がる。このほか2対の黒紋があり、外縁に達することがある。腹部は橙赤色。幼虫はイセリアカイガラムシ、ワタフキカイガラムシなどを捕食する。

<市内分布> 金華山、百々ヶ峰で記録がある。目撃情報はその他の地域でも多数ある。

<特記事項> ミカンの大害虫であるイセリアカイガラムシ防除用にオーストラリアから世界各国に移入され、全世界に分布している。



撮影：野平照雄(市外撮影)

<b>ガイマイゴミムシダマシ</b>	ゴミムシダマシ科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
--------------------	----------	--------------------------------------

*Alphitobius diaperinus*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長5mm程度の小さな甲虫。体は光沢のある黒色～黒褐色。触覚、口、脚は赤褐色。翅には縦の点刻列がある。年に3～4回発生し、成虫で越冬する。幼虫は飼料、穀粉、小麦粉、鶏糞などを食べる。世界各地に分布。

<市内分布> 山県北野、達目洞で記録がある。

<b>ヒメゴミムシダマシ</b>	ゴミムシダマシ科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
------------------	----------	--------------------------------------

*Alphitobius laevigatus*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長5mm程度の小さな甲虫。体は黒褐色で触覚、口、脚は赤褐色。ガイマイゴミムシダマシによく似ているが、体の光沢が弱いのが識別点。貯穀の害虫であるがガイマイゴミムシダマシほど多くはない。世界各地に分布。

<市内分布> 長森、三田洞で記録がある。

<b>コクヌストモドキ</b>	ゴミムシダマシ科	岐阜市2023：侵入ランクB 岐阜市2015（前回）：侵入ランクB
-----------------	----------	--------------------------------------

*Tribolium castaneus*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長3～4mmの小さな甲虫。体は赤褐色で細長く、光沢は弱い。頭部は小さく、両側が眼の前方で広がり、眼の前半部を上下に分ける。触覚は先端3節が強く広がる。前胸は上翅と同幅で、前方へ丸みを帯びて狭まる。貯穀の害虫。世界各地に分布。

<市内分布> 茜部で記録がある。

## ツシマムナクボカミキリ

カミキリムシ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Cephalallus unicolor*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長16～28mmの中型のカミキリムシ。体は褐色で黄褐色の微毛で覆われる。背面はざらざらした感じで、前胸背中央には広い陥没部がある。成虫は夜間に活動し、マツ類の伐倒木に集まる。幼虫はマツの材内を加害して育つ。朝鮮半島、中国、インドシナに分布。

<市内分布> 山県北野、百ヶヶ峰で記録がある。



撮影：野平照雄(市外撮影)

## ブタクサハムシ

ハムシ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Ophraella communa*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が4mm程度のハムシ。体は淡黄褐色～黄褐色で、微細な毛に覆われる。上翅には黒色の縦縞模様がある。脚は黄褐色、触角は黒色。幼虫はブタクサ、オオブタクサなどキク科植物を食べる。

<市内分布> 日野、彦坂、金華山で記録がある。

<特記事項> 国内では1996年に確認され、以降急速に分布を広げている。



撮影：中島和典

## ワタミヒゲナガゾウムシ

ヒゲナガゾウムシ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Araecerus coffeae*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長3mm程度の小さなヒゲナガゾウムシ。体は灰褐色から黒褐色で微毛をまだら状に密生する。後脛節には黒い環状紋がある。幼虫は乾燥したニンニク、トウモロコシ、芋などを食害。世界各地に分布。

<市内分布> 秋沢、曾我野で記録がある。



撮影：野平照雄

## オオタコゾウムシ

ゾウムシ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB

*Hypera punctatus*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長8mmの中型のゾウムシ。体は分厚く丸みを帯び茶褐色で白い筋状の紋がある。吻は前胸より短い。成虫は春季と秋季に発生。幼虫はシロツメクサ、レンゲ、カラスノエンドウなどを食べる。ヨーロッパ、北アメリカに分布。

<市内分布> 三田洞、出屋敷で記録がある。

<特記事項> 国内では1978年に横浜市で発見された。



撮影：野平照雄(市外撮影)

## シバツトガ

ツトガ科

岐阜市2023：侵入ランクB  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクB


*Parapediasia tetarella*


<原産地等> アメリカ中東部(国外外来種) <変更コード> -


<種の概要> 体長10mm程度、翅が灰褐色の小さな蛾。翅は体を巻き込むように覆っているので細長い姿となっている。芝の害虫として有名である。成虫は年に3～4回発生し、日中は芝草内に潜み。夜間に芝生上を飛び回る。成虫の寿命は約1週間。


<市内分布> 山県北野で記録がある。

<特記事項> 国内には、1964年にゴルフ場の芝生について入ってきたと言われている。

<b>ホソオチョウ</b> <i>Sericinus montela</i>	<b>アゲハチョウ科</b>	<b>岐阜市2023：侵入ランクB</b> <b>岐阜市2015（前回）：侵入ランクB</b>
<p>&lt;原産地等&gt; 中国、朝鮮半島、ロシア南東部(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 前翅長は3cm程度。後翅後端に細長い尾状突起を持つ。羽色は春型は白色と黒色、夏型は黄色と黒色のまだら模様。日本での食草はウマノスズクサ。成虫は5～9月に2～3回発生。河川敷などの日当たりのよい草地に生息する。蛹で越冬。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 鏡島、柳津町佐波、青柳町、下川手、忠節橋付近で記録がある。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 国内には1970年後半頃から東京近郊で発生が確認され、韓国から持ち込まれた可能性が高いとされている。</p>		 <p>撮影：中島和典</p>

<b>トガリアメンボ</b> <i>hagadotarsus (Rhagadotarsus) kraepelini</i>	<b>アメンボ科</b>	<b>岐阜市2023：侵入ランクC</b> <b>岐阜市2015（前回）：-</b>
<p>&lt;原産地等&gt; ニューギニア(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 体長4mm程度のアメンボ。腹端が棒状に伸びる。雌雄とも有翅型と無翅型の二型がある。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 洞で記録がある。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 国内では2001年に兵庫県淡路島で発見された。岐阜県では2006年に恵那市・瑞浪市で発見された。</p>		 <p>撮影：環境アセスメントセンター(市外撮影)</p>

<b>アワダチソウグンバイ</b> <i>Corythucha marmorata</i>	<b>グンバイムシ科</b>	<b>岐阜市2023：侵入ランクC</b> <b>岐阜市2015（前回）：侵入ランクC</b>
<p>&lt;原産地等&gt; 北アメリカ(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 体長3mm程度のグンバイムシ。翅は半透明で、泡が立っているような模様で、前翅の前の縁が角張っている。アワダチソウの他、サツマイモ、ナス、キクなどの害虫としても知られている。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 旦島、長良古津、彦坂、日野、大洞、三田洞、柳津町佐波で記録がある。</p>		 <p>撮影：野平照雄(市外撮影)</p>

<b>ヨコヅナサシガメ</b> <i>Agriosphodrus dohrni</i>	<b>サシガメ科</b>	<b>岐阜市2023：侵入ランクC</b> <b>岐阜市2015（前回）：侵入ランクC</b>
<p>&lt;原産地等&gt; 中国、インドシナ半島(国外外来種) &lt;変更コード&gt; -</p> <p>&lt;種の概要&gt; 体長16～24mmの中型のカメムシ。体は光沢のある黒色で、頭部が細長く、腹部には白い横線がある。翅は外側に張り出して反り返っている。サクラなどの幹に集団で生息し、幼虫、成虫とも毛虫など他の昆虫を捕え、細長い口吻を突き刺して体液を吸う。中国、東南アジア、インドに分布。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 日置江、山県北野、旦島、柳津町下佐波で記録がある。</p> <p>&lt;特記事項&gt; 国内には昭和初期に侵入したと言われている。</p>		 <p>撮影：野平照雄(市外撮影)</p>

<b>ムギクビレアブラムシ</b> <i>Rhopalosiphum padi</i>	<b>アブラムシ科</b>	<b>岐阜市2023：侵入ランクC</b> <b>岐阜市2015（前回）：-</b>
<p>&lt;原産地等&gt; 不詳(国外外来種) &lt;変更コード&gt; 2</p> <p>&lt;種の概要&gt; 体長2.0mm程度のアブラムシ。体は卵球形で後半は暗褐色。春から晩夏にかけて雌だけで繁殖する。小麦、大麦の黄萎病、トウモロコシの黄化病の病原体である オオムギ黄萎ウイルスを媒介する。</p> <p>&lt;市内分布&gt; 大洞で記録がある。</p>		



### セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ

アブラムシ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：－

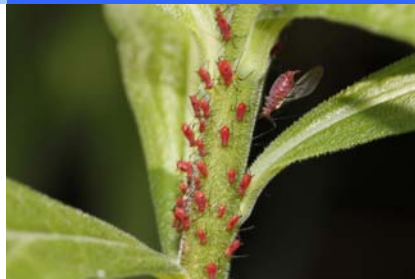
*Uroleucon nigrotuberculatum*

<原産地等> 北アメリカ（国外外来種） <変更コード> 2

<種の概要> 体長2.5mm程度のアブラムシ。体が赤い。セイタカアワダチソウの葉裏や茎に密生する。

<市内分布> 達目洞、太郎丸野田で記録がある。

<特記事項> 国内では1991年に千葉県で発見された。



撮影：安達 修(市外撮影)

### タイワンタケクマバチ

ミツバチ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：－

*Xylocopa (Biluna) tranquebarorum*

<原産地等> 台湾（国外外来種） <変更コード> 2

<種の概要> 体長2.3mm程度のハナバチ。在来種のクマバチに似るが、胸部背面がクマバチでは黄色であるのに対して黒色であることで区別できる。

<市内分布> 達目洞、長良、日野、太郎丸中島、山県北野で記録がある。

<特記事項> 国内には2006年に愛知県・岐阜県で発見された。枯死した竹材に穴を開けて巣をつくるため、竹材とともに日本に侵入した可能性が高い。

### コルリアトキリゴミムシ

オサムシ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Lebia viridis*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長3.5～5mmの小さな甲虫。体は青緑色で光沢があるので大変綺麗なゴミムシである。近年北米から人為的に移入され、急速に分布を広げている。草むらの地表に活動し、昆虫などを食べて生活している。

<市内分布> 長良古津、彦坂、山県北野で記録がある。

<特記事項> 国内では1989年に発見された。



撮影：野平照雄(市外撮影)

### ヒメマダラカツオブシムシ

カツオブシムシ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Trogoderma inclusum*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長2.5～4.0mmの小さなカツオブシムシ。体は黒褐色で翅に暗赤色斑紋がある。オスよりメスの方が大きく、体色はやや明るい。貯穀物害虫であるが、乾燥した動物質のものも食べる。世界各地に分布。

<市内分布> 雑倉、新加納で記録がある。

### トビイロデオネスイ

ネスイムシ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Monotoma picipes*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が2.5mmの小さな甲虫。体は暗赤褐色で、触角、脚は赤褐色。頭は目の後で鋭く歯状に突出し、胸背の中央後半には1対の縦溝がある。翅は点刻列の間に1列の短毛がある。世界各地に分布。

<市内分布> 雑倉で記録がある。

### クリイロデオキシイ

ケシクスイ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Carpophilus marginellus*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が3mmの小さな甲虫。体は光沢のある褐色で、背面には黄色の毛が密生している。中胸板は正中部に縦隆線がある。貯穀を食べて生活している。世界各地に分布。

<市内分布> 日野、柳津町佐波で記録がある。

<b>サビカクムネチビヒラタムシ</b>	チビヒラタムシ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
----------------------	----------	--------------------------------------

*Cryptolestes ferrugineus*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が1.7~2.3mmの小さな甲虫。体は光沢ある赤褐色。触角は太くて短く、先端3節は数珠状。頭楯縫合線は不明瞭。前胸背は幅より長く、後方に狭まる。樹皮下や枯木で生息している。世界各地に分布。

<市内分布> 達目洞で記録がある。

<b>ウスバキスイ</b>	キシムシ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
---------------	-------	--------------------------------------

*Cryptophagus cellaris*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が2.0~2.7mmの小さな甲虫。前胸背板の吸盤状部は縦斜位で、後端はわずかに突出し、側縁は緩やかな弧状となっている。翅の点刻はかなり強く密である。

<市内分布> 長良古津で記録がある。

<b>フタトゲホソヒラタムシ</b>	ホソヒラタムシ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
--------------------	----------	--------------------------------------

*Silvanus bidentatus*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が2.5~3.5mmの小さな甲虫。体は光沢のない赤褐色で、平たくて細長い。野外では枯木や樹皮下で生息しているが、室内でも貯穀貯蔵所などにいる。カビを食べているらしい。世界各地に分布。

<市内分布> 雛倉、古津、金華山で記録がある。



撮影：野平照雄(市外撮影)

<b>ミスジキイロテントウ</b>	テントウムシ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
-------------------	---------	--------------------------------------

*Brumoides ohtai*

<原産地等> 台湾、タイ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が3mm程度の小さなテントウムシ。頭部は黒色、前胸背が橙色で翅は黄色で黒の縦模様のある綺麗なテントウムシである。幼虫は芝生を食害する。

<市内分布> 日野長良川左岸堤防で記録がある。



撮影：中島和典

<b>ヒメコクヌストモドキ</b>	ゴミシダマシ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
-------------------	---------	--------------------------------------

*Palorus ratzeburgii*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が2~2.5mmの小さな甲虫。体は赤褐色で触角脚は淡褐色。頭には小点刻があり、目が両側に突き出ている。前胸背、背中には点刻列がある。穀物を食べて生活している。世界各地に分布。

<市内分布> 金華山で記録がある。

<b>コメノゴミシダマシ</b>	ゴミシダマシ科	岐阜市2023：侵入ランクC 岐阜市2015（前回）：侵入ランクC
------------------	---------	--------------------------------------

*Tenebrio obscurus*

<原産地等> 不詳(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長が14~18mmの大型のゴミシダマシ。体は黒褐色で、腹部は赤みを帯び、触角、脚、口は赤褐色。翅には小点刻と浅い溝があり、皺状の細かい顆粒を密布する。貯穀、特に穀粉類の大害虫である。世界各地に分布。

<市内分布> 茜部で記録がある。

## ヨツモンカメノコハムシ

ハムシ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：－

*Lacoptera quadrimaculata*

<原産地等> 沖縄本島以南の琉球列島（国内外来種） <変更コード> －

<種の概要> 体長7.5-9.0mm程度のカメノコハムシ。背面は褐色で外縁は透明な黄褐色。前翅側辺に大きな黒い斑紋が4つある。サツマイモの害虫として知られるが、アサガオやヒルガオなどのヒルガオ科植物の葉も食べる。

<市内分布> 柳津で記録がある。

<特記事項> 自然分布域は沖縄本島以南の琉球列島であるが、近年になって九州およびその周辺諸島、本州、四国で分布が拡大している。



撮影：酒井孝明(市外撮影)

## ヤサイゾウムシ

ゾウムシ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Listroderes costirostris*

<原産地等> ブラジル(国外外来種) <変更コード> －

<種の概要> 体長が10mm程度のゾウムシ。体は赤褐色で背面は鱗片と暗色の毛で覆われている。中胸、後胸および腹部腹面は淡黄色。吻には3隆線がある。日本ではメスだけで繁殖し、オスはいない。白菜、ほうれん草などの葉を食べる害虫。世界各地に分布。

<市内分布> 三田洞で記録がある。



撮影：野平照雄(市外撮影)

## アメリカミズアブ

ミズアブ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Hermetia illucens*

<原産地等> 北・中部アメリカ(国外外来種) <変更コード> －

<種の概要> 体長15～18mmのアブ。体は黒色で細長い。腹部には白色または褐色の斑紋がある。触角は短くりボン状で第3節は扁平で大きい。5～9月に発生。幼虫は草や果実、動物の死体、糞などを食べて育つ。

<市内分布> 彦坂、旦島で記録がある。

<特記事項> 国内には1950年頃侵入してきた。



撮影：野平照雄(市外撮影)

## ヒロヘリアオイラガ

イラガ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Parasa lepida lepida*

<原産地等> 南アジア、東南アジア～中国(国外外来種) <変更コード> －

<種の概要> 翅を広げた大きさが30～40mmのイラガの仲間。触角はオスが櫛歯状、メスが糸状である。前翅の基部および外縁部と後翅は黒褐色で前翅中央部は緑色。幼虫は緑色で全身に毒の棘がある。サクラ、カシ、ケヤキなどいろいろな樹木の葉を食害する。東南アジア、中国に分布。

<市内分布> 木造町、福富天神前で記録がある。

<特記事項> 国内には1920年頃侵入したと言われている。



撮影：野平照雄(市外撮影)

## タケノホソクロバ

マダラガ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Fuscartona martini*

<原産地等> 中国、朝鮮半島(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 翅を広げた大きさが20mm程度の小さな蛾。体は全身黒色。触角はオスが櫛状で、メスがやや太めの糸状。翅には黒い脈状の模様がある。幼虫はイネ科のササやタケの葉を食害する。幼虫の体毛には毒があり、触れると激しい痛みや発疹が出ることもある。中国、朝鮮半島に分布。

<市内分布> 金華山周辺で記録がある。



撮影：安達 修(市外撮影)

## オオタバコガ

ヤガ科

岐阜市2023：侵入ランクC  
岐阜市2015（前回）：侵入ランクC

*Helicoverpa armigera*

<原産地等> 東南アジア(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 翅を広げた大きさが30mm程度の蛾。体は太く、触角は雌雄ともに糸状。前翅黄色地に黒褐色の波状の線がある。後翅も黄色で、先端部は幅広く、黒褐色である。幼虫はナス、キュウリ、キャベツなどの野菜やバラ、カーネーションなど花卉類を食べる重要害虫である。朝鮮、中国、台湾、ミクロネシア、オーストラリア、アフリカに分布。

<市内分布> ばんが池、椿洞で記録がある。



撮影：安達 修(市外撮影)

## (8) 貝類

岐阜市内で生息記録がある貝類は113種であり、今回はそのうちの23種（20.4％）を選定しました。

カテゴリー別にみると、侵入ランクAはスクミリンゴガイ、ウスイロオカチグサ、ハブタエモノアラガイなど10種、侵入ランクBはコモチカワツボ、コハクオナジマイマイ、ノハラノイシノシタなど7種、侵入ランクCはイボカワニナ、カゴメカワニナ、タテヒダカワニナなど6種でした。

岐阜市版ブルーリスト2023に新たに掲載された種は、メリケンコザラ、ヒロマキミズマイマイなど5種でした。新規に追加された外来種について、ヒロマキミズマイマイやタイリクシジミなど新たに確認されたの種のほか、メリケンコザラのような遺伝的・形態的研究の進展によって外来種であることが判明した種もみられました。

ブルーリスト掲載種のうち、外来生物法（環境省,2005）にて指定される特定外来生物に該当する種はいませんでした。

和名及び学名、各カテゴリー内での配列は「Biology and Evolution of the Mollusca で提唱された軟体動物の分類体系と和名の対応」（福田，2021）と「岡山県野生生物目録2019 Ver1-3（2022年6月14日更新）」（福田，2022）を参考にしました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（貝類（軟体動物））

カテゴリー区分	種名	種数
侵入ランクA	スクミリンゴガイ、ウスイロオカチグサ、ハブタエモノアラガイ、サカマキガイ、オナジマイマイ、チャコウラナメクジ、トクサオカチョウジ、ヒメコハク、コハクガイ、台湾シジミ	10種
侵入ランクB	コモチカワツボ、コハクオナジマイマイ、ノハラノイシノシタ、ノハラナメクジ、ミジンマイマイ、メリケンコザラ、ヒロマキミズマイマイ	7種
侵入ランクC	イボカワニナ、カゴメカワニナ、タテヒダカワニナ、ホソマキカワニナ、タイリクシジミ、ヒメマルマメタニシ	6種
合計		23種

## タイワンシジミ

シジミ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Corbicula fluminea*

<原産地等> 中国、朝鮮半島(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> マシジミに非常によく似ているが、本種は殻表面の輪肋間がマシジミより広く規則的に配列する、小月面や楕面が色分け色分けされる、輪郭が明瞭である、幼貝時に茶褐色の細い放射状線がある、殻表面が鮮黄色から濁黄色・オリーブ色などの淡色系が多いなどの特徴をもつ。

<市内分布> 茜部、加納西、芥見、岩野田、七郷、常磐、長森東、長良、長良西・東、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本荘、網代、木田、柳津、藍川など、ほぼ市内全域の河川や水路に分布を広げており各地点で多産する。

<特記事項> 日本各地に分布を広げ在来種との交雑が懸念されている。



撮影：川瀬基弘

## スクミリンゴガイ

リンゴガイ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Pomacea canaliculata*

<原産地等> 南アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻径30～40mm程度の球形で、温暖地では60～70mmに成長する。殻は黄褐色から黒褐色の地に濃色のラインを多数巡らす。初夏から秋にかけて水際から50cmほどの高さのコンクリート壁などに赤桃色の卵塊を産み付ける。通称ジャンボタニシ。

<市内分布> 茜部、加納西、華陽、岩、鏡島、厚見などで記録があり、南部全域のやや水質の悪い水田・水路に多産する。北部地域にも分布を拡大しつつある。

<特記事項> 国内へは1981年に台湾を経由し食用として導入されたものが野生化した。稲への食害が著しく、深刻な問題を引き起こしている。



撮影：川瀬基弘

## ウスイロオカチグサ

カワザンショウ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Solenomphala debilis*

<原産地等> 奄美諸島・沖永良部島・沖縄(国内外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻はやや高い塔形。殻高5.8mm、殻径4mm、7層。淡い赤橙色。体層の周縁にはわずかに鋭い角状が現れる。殻口は洋梨形。軸唇は肥厚し、ごくわずかに臍孔上にひろがる。臍域の周囲に角がない。蓋はうすく膜状。巻き数は2と1/2で、核は偏在する。

<市内分布> 茜部、加納西・東、華陽、芥見、芥見南、岩、鏡島、厚見、合渡、黒野、鷲山、三里、市橋、城西、常磐、西郷、早田、則武、長森西・北、長良西・東、島、日置江、梅林、白山、本郷、本荘、木田、柳津、鶉などで記録があり、市内中部から南部に生息する。北部地域には分布を拡大していない。



撮影：川瀬基弘

## ハブタエモノアラガイ

モノアラガイ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Pseudosuccinea columella*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻は細高く、殻表面の成長脈は比較的明瞭で、顕微鏡で見ると成長脈上に長い三角形の殻皮毛を有する。殻表に浅い亀甲様の彫刻をもつ個体もいる。明らかな外来種であるが複数種が混在している可能性も否定できない。

<市内分布> 芥見、芥見南、岩、鏡島、金華、合渡、黒野、三里、三輪南、三輪北、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、長森東、長森南、長森北、島、日野、方県、本郷、網代、柳津、藍川、鶉の市内各地に記録がある。



撮影：川瀬基弘

## サカマキガイ

サカマキガイ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Physella acuta*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻は左巻き、殻高10～15mm前後の紡錘形、透明感のある黄白色から鉛色。都市の下水路など汚水中でも生息することができ、大量に繁殖することがある。水田や溜池、水路、湿地などの人工的な有機物が多い浅い水路に多産する。

<市内分布> 加納西、三里、市橋、七郷、城西、常磐、西郷、早田、則武、長良、白山、方県、木田、木之本、柳津、藍川、鶉など市内ほぼ全域で記録がある。

<特記事項> 被害事例の報告はないが驚異的な繁殖力で、局所的な圧迫を受けている生物がいる可能性が指摘されている。



撮影：川瀬基弘(市外撮影)

## トクサオカチョウジ

アフリカマイマイ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Paropeas achatinaceum*

<原産地等> 東南アジア(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> オカチョウジガイに似るが、殻表の特徴は、殻皮が汚れたクリーム色を帯び、光沢がない。成長脈に沿った殻皮の欠落があり、成長脈が粗く見える。殻自体の透明感は低い。これらの特徴から在来種のおかチョウジガイと区別できる。

<市内分布> 茜部、加納東、芥見、芥見南、岩、岩野田、岩野田北、京町、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、七郷、城西、常磐、早田、則武、長森西・東・南・北、長良、長良西・東、徹明、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、本荘、明德、網代、木田、木之本、柳津、藍川、鶉の市内全域で記録がある。



撮影：川瀬基弘

## チャコウラナメクジ

チャコウラナメクジ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Ambigolimax valentianus*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体は中～大形で湿った天候の時は7～8cmに達する。背中に殻(こうら)を有する。茶褐色～灰褐色のゼラチン質で透明感がある。外套膜の後方の中央の両側に2個の暗い側帯がある。足の下面は灰白色。体色は変化に富み、暗い帯は斑紋状となる。

<市内分布> 茜部、加納東、華陽、鏡島、金華、厚見、合渡、黒野、鷺山、三里、市橋、城西、常磐、西郷、早田、長森西・南・北、長良西・東、島、梅林、白山、本郷、本荘、網代、鶉の市内各地に記録がある。

<特記事項> 農作物害虫であり、畑の作物を食害する。本種が這い回るだけでも作物表面に粘液が残るため作物が出荷できない状態になる場合があることも報告されている。



撮影：川瀬基弘

## コハクガイ

コハクガイ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Zonitoides arboreus*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 丘陵地から平野部の樹木の根元の腐葉土の堆積した所に生息する。また、温室や庭園内の植木鉢の下などにも生息する。殻高2mm、殻径5mm程度、小形、黄茶褐色で光沢がある。臍孔が大きく、周縁は少し角張るが、成長とともに周縁に円みができる。

<市内分布> 茜部、加納東、芥見東、岩野田、岩野田北、京町、鏡島、金華、厚見、黒野、鷺山、三里、三輪北、市橋、常磐、早田、則武、長森西・南、長良東、徹明、島、日野、梅林、白山、本郷、本荘、明德、柳津、藍川、鶉の市内各地に記録がある。

<特記事項> 明治時代、東京上野で発見されて以来、全国各地の庭園や圃場に生息し、種苗を害することがある。



撮影：川瀬基弘

## ヒメコハク

エゾエンザ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Hawaia minuscula*

<原産地等> 北アメリカ、オハイオ州(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻はうすく小さく、殻高1.3mm、殻径2.1mm、4層。白く、やや透明。螺塔は低く、螺層はふくれ、緩やかに増大する。体層の周縁は円く、縫合はやや深い。殻口は円い。広い臍孔がある。軟体の背部は淡い青色で、足部は灰白色である。

<市内分布> 茜部、加納西・東、芥見、岩野田、岩野田北、京町、鏡島、金華、厚見、黒野、鷺山、三里、三輪南・北、市橋、城西、常盤、西郷、早田、則武、長森東・南、徹明、島、日置江、日野、梅林、白山、方県、本郷、本荘、明德、木田、木之本、柳津、鶉の市内各地に記録がある。



撮影：川瀬基弘

## オナジマイマイ

ナンバンマイマイ科

岐阜市2023： 侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク A

*Bradybaena similaris*

<原産地等> 東南アジア(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻はうすく半透明で広い円錐形。殻高12mm、殻径18mm程度。江戸時代に東南アジアから来た外来種。現在では、ほぼ日本全国に分布している。都市環境に良く適応しており、畑の作物やスーパーの野菜などに付着していることが多い。

<市内分布> 芥見、金華、厚見、合渡、黒野、三輪北、七郷、城西、常盤、西郷、長森南、島、日置江、日野、方県、網代、木田、柳津、藍川などに記録がある。市内の分布はやや点的である。

<特記事項> 農作物害虫であり、畑の作物を食害する。本種が這い回るだけでも作物表面に粘液が残るため作物が出荷できない状態になる場合があることも報告されている。



撮影：川瀬基弘

## コモチカワツボ

ミズツボ科

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B

*Potamopyrgus antipodarum*

<原産地等> ニュージーランド(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻高4.5mm、殻径2.5mm程度の塔形で、臍孔は隙間状。成熟個体の殻口上縁と体層は密着することなく段状になる。殻色は半透明の淡黄色～濁白色。近年、日本各地において頻繁に報告され、非常に繁殖力の強い侵略的な種として生態系への影響が懸念されている。

<市内分布> 茜部、市橋、日置江、柳津、鶉に記録がある。市の南部に記録が偏る。

<特記事項> 遺伝子解析の結果から、市内に分布するコモチカワツボは三重県や滋賀県に分布する個体と遺伝的に同じ集団を起源とする個体が侵入した可能性が高い。



撮影：川瀬基弘

## メリケンゴザラ

ヒラマキガイ科

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： -

*Ferrissia californica*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 長径2.5mm、短径1.3mm程度、きわめて薄質、半透明で傘型の巻貝。長楕円形で殻頂は中央より少し後方にあり、殻頂部はやや丸味をおび、殻は淡灰褐色。殻表には微細な成長線がある。

<市内分布> 芥見、芥見東、厚見、市橋、岩、加納、黒野、常盤、長森西、三輪北で記録がある。

<特記事項> 分子系統学的検討がなされるまで、形態的に類似した在来種カリゴザラ *Ferrissia nipponica* (Kuroda in S. Uchida, 1949) と混同されてきた。



撮影：川瀬基弘（市外撮影）



## ヒロマキミズマイマイ

ヒロマキガイ科

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： -

*Menetus dilatatus*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻径1.5~2.5mm程度の扁平な左巻きの平巻き型で、体層上部は角張り、殻口は垂三角形に広がる。殻は薄く黄白色~黄褐色の半透明でわずかに光沢がある。殻表は微細な成長脈と螺条脈が交わり格子状になるが、付着物に覆われることがある。

<市内分布> 市橋に記録がある。

<特記事項> 本種やその卵が付着した観賞用水草の販売店や購入者を經由して、投棄されたものが野生化した可能性が指摘されている。本種が野外の生物群集に与える影響は未知である。



撮影：川瀬基弘

## ノハラノイシノシタ

イシノシタ科

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B

*Lucilla singleyana*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 殻高1mm、殻径2.2mmくらいの微小種。ヒメコハクガイに似るが、ノハラノイシノシタの方が光沢は強く、臍孔が浅いことで区別できる。ヨーロッパ各国や日本への移入が報告されている。

<市内分布> 茜部、加納東、芥見、金華、厚見、鷺山、三輪南、則武、長森東・北、長良東、徹明、島、日野、白山、本郷、網代、藍川に記録がある。

<特記事項> 神戸市ではノハラノイシノシタが広く移入分布し、ヒメコハクガイと置き換わっている可能性が指摘されている。



撮影：市原 俊

## ミジンマイマイ

ミジンマイマイ科

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B

*Vallonia pulchellula*

<原産地等> 不詳 <変更コード> -

<種の概要> 殻高約1mm、殻径約2mmの平巻き状。殻は白~淡橙色の半透明で細かい縦肋が密にある。殻口は肥厚し反転する。臍孔は広い。国内移入種の可能性が高いが、アジア、ヨーロッパに分布する近似種との分類学的検討が十分に行われていない。

<市内分布> 芥見、島、三里、日置江、本郷に記録がある。市内の分布は局所的である。

<特記事項> 本種が野外の生物群集に与える影響は未知である。



撮影：川瀬基弘

## ノハラナメクジ

ノコウラナメクジ科

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B

*Deroceras laeve*

<原産地等> ヨーロッパ(国外外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体長35~50mm。大きいものでは60mm程度まで成長する。体色は蒼白~灰褐色で、暗色の小斑点が現れる。小斑はやや大きく明瞭。呼吸孔の縁は外套膜よりわずかに蒼白である。楯は短く裁断される。

<市内分布> 鷺山、三輪北、常磐、長良西、網代に記録がある。市の中部に限局的に分布する。



撮影：岐阜市

## コハクオナジマイマイ

ナンバンマイマイ科

岐阜市2023： 侵入ランク B  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク B

*Bradybaena pellucida*

<原産地等> 西日本(国内外来種) <変更コード> -

<種の概要> 本種は、オナジマイマイに似るが、生貝では殻頂から殻層部にかけて軟体部背面が黄色をしているのが殻を通して見えることから容易に区別できる。またオナジマイマイよりも殻が若干薄い。

<市内分布> 芥見、金華、三輪南、三輪北、長良、長良東、日置江、日野、藍川に記録がある。分布は市の北東部にやや偏る。

<特記事項> 本種はもともと九州から四国、岡山県といった西日本に分布していた。しかし、国内外来種として東京都、埼玉県、茨城県、千葉県、神奈川県、兵庫県、静岡県にも分布を広げている。



撮影：川瀬基弘

## タイリクシジミ

シジミ科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： -

*Corbicula fluminalis*

<原産地等> 中東から東アジア(国外外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 殻長15～18mm、殻高16～20mm程度。バチ型の輪郭で、殻表の成長脈はやや粗い。殻表の色彩は黄緑色～黒褐色で光沢がある。

<市内分布> 合渡に記録がある。

<特記事項> 進入経路として、外国産の食用種として市場で販売された個体が原因と考えられる。



撮影：川瀬基弘（市外撮影）

## ホソマキカワニナ

カワニナ科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： -

*Semisulcospira arenicola*

<原産地等> 琵琶湖水系(国内外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 殻高20～28mm程度。殻底肋3本、殻表は基本的に平滑、殻頂に近いほど縦肋が目立つ。殻表は黄褐色～緑褐色でやや光沢がある。

<市内分布> 市橋に記録がある。



撮影：川瀬基弘

## サザナミカワニナ

カワニナ科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク C

*Semisulcospira davisi*

<原産地等> 琵琶湖水系(国内外来種) <変更コード> -

<種の概要> タテヒダカワニナに似るが、顕著な縦肋上に顆粒がよく発達している。顆粒数は5～8個。殻底肋は2～3本。殻高は30～40mm程度。個体変異が著しい種である。琵琶湖水系の固有種(特産種)であり、岐阜市には自然分布していない。

<市内分布> 芥見、岩、京町、金華、三輪南、常磐、長森東・南、長良西、方県、網代に記録がある。

<特記事項> ホタル養殖のためのエサ資源として、人為的に琵琶湖水系から市内各地に大量投入された。それらが、一部の地域で生き残っているか或いは繁殖している可能性もある。



撮影：市原 俊

## タテヒダカワニナ

カワニナ科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク C

*Semisulcospira decipiens*

<原産地等> 琵琶湖水系(国内外来種) <変更コード> -

<種の概要> 体層から全体的に細長く、縦肋が顕著で襞状になる。殻底肋は2～3本。殻高は30mm程度。琵琶湖水系の固有種(特産種)であり、岐阜市には自然分布していない。琵琶湖水系特産のサザミカワニナやカゴメカワニナときわめて近縁である。

<市内分布> 茜部、加納東、芥見、岩、京町、金華、厚見、黒野、三輪南、市橋、常磐、方県、網代、藍川に記録がある。

<特記事項> ホタル養殖のためのエサ資源として、人為的に琵琶湖水系から市内各地に大量投入された。それらが、一部の地域で生き残っているか或いは繁殖している可能性もある。



撮影：川瀬基弘

## カゴメカワニナ

カワニナ科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： 侵入ランク C

*Semisulcospira reticulata*

<原産地等> 琵琶湖水系(国内外来種) <変更コード> -

<種の概要> サザミカワニナに似るが、顆粒はそれに比べて弱い。殻底肋は2～3本。殻高は40mm程度。個体変異が著しくイボカワニナと区別できない場合がある。琵琶湖水系の固有種(特産種)であり、岐阜市には自然分布していない。

<市内分布> 芥見、岩、京町、金華、三輪北、常磐、方県、網代、藍川に記録がある。

<特記事項> ホタル養殖のためのエサ資源として、人為的に琵琶湖水系から市内各地に大量投入された。それらが、一部の地域で生き残っているか或いは繁殖している可能性もある。



撮影：市原 俊

## ヒメマルマメタニシ

エゾマメタニシ科

岐阜市2023： 侵入ランク C  
岐阜市2015（前回）： -

*Gabbia kiusiuensis*

<原産地等> 兵庫県以西の本州、四国、九州(国内外来種) <変更コード> 2

<種の概要> 殻高5～7mm程度の小型種。殻は長卵形で、螺塔の高さや縫合の深さには多少の変異がある。各層は平滑で光沢がありやや膨れる。蓋は石灰質で厚い。

<市内分布> 合渡、七郷に記録がある。

<特記事項> もともと生息地が局限される稀少な種で、生態に関する知見はきわめて少ない。前回、絶滅危惧Ⅱ類に位置づけたが、岐阜県と愛知県の分布状況や棲息地における個体群密度などから、岐阜市の個体群は国内外来種であると判断した。



撮影：川瀬基弘

## (9) 甲殻類（十脚類）

岐阜市内で生息記録がある甲殻類（十脚類）は9種であり、今回は、そのうちの2種（22.2%）を選定しました。

カテゴリー別にみると、侵入侵入ランクAはアメリカザリガニ、カワリヌマエビ属、侵入侵入ランクB、侵入侵入ランクCに該当する種はありませんでした。岐阜市版ブルーリスト2023に新たに掲載された種は、カワリヌマエビ属1種で、2015年以降の調査で新たに侵入が確認された種です。

ブルーリスト掲載種のうち、外来生物法（環境省,2005）にて指定される特定外来生物は、アメリカザリガニ1種であり、市内に広く定着しています。

和名及び学名、各カテゴリー内での配列は「岐阜県の動物 哺乳類・爬虫類・両生類・十脚類」（向井ほか，2021）を参考にしました。なお、各種の概要等の参考とした文献については、巻末の「参考・引用文献」に記載しました。

選定種一覧（甲殻類（十脚類））

カテゴリー区分	種名	種数
侵入侵入ランクA	アメリカザリガニ、カワリヌマエビ属	2種
侵入侵入ランクB	該当なし	0種
侵入侵入ランクC	該当なし	0種
合計		2種

## アメリカザリガニ

アメリカザリガニ科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：侵入ランク A  
総合対策外来種（緊急）

*Procambarus clarkii*

<原産地等> 北アメリカ(国外外来種) <変更コード> 1

<種の概要> 体長15cm程度。大きなはさみと赤い体色で、日本産の他の淡水エビ類と見間違えることはない。若い個体は褐色ではさみも小さい。動物質・植物質ともに食べる。

<市内分布> 河川、水路、ため池に広く分布する。

<特記事項> ウシガエルの養殖に用いる餌として、昭和初期に日本へと持ち込まれた。水草をはさみで切断したり、水生昆虫を捕食することで、水田およびため池に残る希少動植物に著しい影響を与える。



撮影：寺町 茂

## カワリヌマエビ属

ヌマエビ科

岐阜市2023：侵入ランク A  
岐阜市2015（前回）：-

*Neocaridina* sp.

<原産地等> 中国、韓国、台湾など東アジア <変更コード> 2

<種の概要> 体長30mm程度。体色は淡褐色～淡緑色など様々。雌は長径1mm程度の大型の卵をもつ。在来種のミナミヌマエビに似るが、額角が短く、その先端は触角柄部を超えないことで区別できる。

<市内分布> 芥見、藍川、岩、岩野田北、方県、七郷で記録がある。

<特記事項> 釣り餌として韓国・中国から輸入されているほか、観賞用として販売されており、複数産地からの複数種が侵入している可能性が高い。



撮影：寺町 茂